

mitsubishi

三菱マルチメディアディスプレイ /
三菱カーナビゲーションシステム

形名

DH-MZ10 / NR-MZ10 シリーズ

取扱説明書



ごあいさつ

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくために、また安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」・「取付要領書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

「取扱説明書」はお読みになった後、「保証書」・「お客様相談窓口一覧表」と共にいつでも見られるところに大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ご覧ください。

本製品を譲られるときは、次に所有される方のために本製品に、本取扱説明書を付けてお譲りください。

もくじ

はじめに

あらかじめ知っておいていただきたいことについての説明を行います。

ご使用前に	5
お客さまへ安全上のご注意	8
本書のみかた	12

基本操作	13
本機について	13
タッチ操作のしかた	16
トップメニューについて	17

AUDIO

オーディオ機能に関する操作の説明を行います。

オーディオ機能について	21
基本操作	21
ディスクの取り扱いについて	24
音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) について	26

ラジオ / 交通情報	30
ラジオを聴く	30
交通情報を聴く	34

DISC	35
音楽 CD を聴く	35
ディスクの音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) を聴く	38
混在ディスクを聴く	42

iPod/USB	45
接続する	45
iPod の曲を聴く	47
USB デバイスの曲を聴く	53

TV

テレビ機能に関する操作の説明を行います。
※一部機種で別売となります。

はじめに	59
テレビ機能について	59

地上デジタル TV	62
チューナー本体について	62
テレビを見る	65
放送局を探す	75
好みの放送局を登録する	78
情報を確認する	81
その他の操作	83

ワンセグ	86
テレビを見る	86
放送局を探す	89
番組内容と番組表を見る	90
音声や字幕を切り換える	91

NAVI

ナビゲーション機能に関する操作の説明を行います。
※一部機種で別売となります。

基本操作 95

ナビゲーション機能について	95
ナビ画面について	98
地図画面を選択する	104
案内表示について	106
地図を操作する	108
設定 / 検索メニューからの操作	110
文字入力のかた	112

目的地の設定 115

自宅・よく行く地点を目的地に設定する ...	115
探した場所を目的地に設定する	116
場所を探す	118
探索条件設定画面について	127

ルートの確認・変更 128

ルートの確認	128
ルートの変更	131

登録地の設定 139

自宅を登録する	139
よく行く地点を登録する	140
登録地を設定する	141
登録地を変更する	143

各種情報を調べる 148

高速道路情報について	148
車両位置情報を確認する	151
FM 文字情報を見る	153
バージョンを確認する	158

VICS 機能 160

VICS について	160
交通情報を調べる	163
VICS による自動処理	165
VICS 局を選ぶ	166

CAMERA/AUX

別売のバックカメラ機能や AUX 機能に関する操作の説明を行います。
※バックカメラは、一部同梱機種があります。

CAMERA 168

バックカメラを使う	168
-----------------	-----

AUX 170

AUX を使う	170
---------------	-----

設定

本機の設定 172

設定を変更する	172
メニューのデザインを変更する	179

TV の設定 181

設定を変更する	181
---------------	-----

ナビの設定 185

設定を変更する	185
システム補正	191
メモリを初期化する	193
車両取付確認	194

その他

困ったときは	196
地上デジタル TV 放送のチャンネル一覧表 ...	205
用語索引	208
保証とアフターサービス	213
仕様	214

はじめに

あらかじめ知っておいていただきたいことについての説明を行います。

ご使用前に	5
免責事項について.....	5
ご使用上の注意.....	5
共通.....	5
テレビ機能.....	6
iPod/iPhone 再生機能 (オプション).....	7
走行中の操作制限について.....	7
お手入れのしかた.....	7
商標について.....	7
お客さまへ安全上のご注意	8
取付・配線時などのご注意.....	10
本書のみかた	12

基本操作	13
本機について	13
本体パネルについて.....	13
SD カードについて.....	14
取り扱い上のご注意.....	14
保管上のご注意.....	14
SD カードを挿入する.....	14
起動する.....	15
タッチ操作のしかた	16
～にタッチするとき.....	16
リストから項目を探すとき.....	16
トップメニューについて	17
表示内容について.....	17
トップメニューを切り換える.....	18
ソースを切り換える.....	18

ご使用前に

免責事項について

- ・火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・お客さままたは第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報（登録地など）や録音した音楽データが変化・消失した場合、その内容の補償はできません。大切な情報は万一来備えてメモなどを取っておくことをおすすめいたします。
- ・本製品に入力した個人情報（登録地の住所や電話番号など）は本機を取り外してもメモリーに残っている場合があります。他人に譲り渡す、または処分などされる際は、プライバシー保護のため個人情報の取り扱い、管理（消去など）は、必ずお客さまの責任において行ってください。当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・表示される地図はデータ作成時点の関連で現状と異なる場合がありますので、ご了承ください。また、地図データ不備による損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品には交通規制データが収録されていますが交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。なお、交通規制データ不備による交通事故や交通違反の損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・地図データの不備などで返品・返金・交換・改造などはできかねます。地図データがお客さまの特定の目的に適合しない場合があります。地図データの内容は予告なく変更される場合があります。地図データは誤字・脱字・位置ずれなどがある場合があります。

- ・ルート案内や右左折などの音声案内時、実際の標識や交通規制と異なる案内をする場合があります。必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。
- ・仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。そのため取扱説明書の内容と異なる場合がありますが返品・返金・交換・改造などはできかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本取扱説明書では数種類の機種内容を共用で説明しています。機種によっては記載されていても使用できない機能や別売の機器が必要な場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・取扱説明書で使用している画像やイラストは開発中のものです。実際のものと異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品に添付の保証書は当該製品を業務用の車両（バス・タクシー・商用車など）へ使用した場合、適用対象にはなりません。
- ・本製品に記憶されたお客さまの登録情報など、またすべての情報の変化、消失した場合の損害や不利益について、アフターサービスも含め、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- ・本製品は国内専用です。海外では使用できません。

ご使用上の注意

■ 共通

- ・操作するために、エンジンをかけたまま車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所に停車しないでください。排気ガスにより、ガス中毒になる恐れがあります。
- ・安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。また、運転者が画面を見るときは必要最小限の時間にとどめてください。画面に気を取られて思わぬ事故につながる恐れがあります。

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 分解や改造をしないでください。故障や発煙、発火の原因になります。
- 緊急を要する施設（病院・消防署・警察署など）の検索や施設までの案内については、本製品への依存を避け該当施設へ直接問い合わせてください。
- 操作するときは、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンをかけずに本製品を使用し続けた場合、車両のバッテリーが消耗しエンジン始動ができない恐れがあります。必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
- 以下のようなときは、液晶画面特有の現象ですので故障ではありません。
 - 画面に小さな黒点、輝点（赤、青、緑）がある。
 - 寒冷時など、画面の動きが遅い。
 - 画面を見る角度によって、色あいや明るさに違いがある。
- 液晶画面の性質上、見る角度によって画質が異なります。はじめてお使いのときは画質の調整を行ってください。
- 市販の液晶保護フィルムなどを画面に貼るとタッチパネル操作に支障がでる恐れがあります。
- 鋭利なもの（ペン先・つめの先など）でタッチパネル操作を行うと画面に傷が付く場合や損傷して誤動作する場合があります。
- 手袋などを着けたままタッチパネル操作を行うと誤動作の原因となります。
- 画面の汚れを取るときは、やわらかい布で拭き取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。画面を傷つける恐れがあります。

■ テレビ機能

本書は、当社製の専用地上デジタルTVチューナーおよびワンセグチューナー内蔵ナビゲーションユニットのテレビ機能について説明しています。※一部機種で別売となります。
→「テレビ機能について」(P59)

共通

- 本製品は、BS デジタル放送、110度CS デジタル放送には対応しておりません。
- 本製品は双方向データ放送には対応しておりません。
- 走行状態により受信異常が発生したときや、移動中に電波の受信状態が悪くなったときには、次のような現象が起きる場合があります。
 - 映像や音声にノイズが発生する。
 - 映像や音声途切れる。
- パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させたときには、テレビの受信状態が悪くなることがあります。
- 本製品で設定されているデータには、個人情報を含むものがあります。本製品を譲渡または廃棄される場合には、「設定情報初期化」をすることをおすすめします。
- 他の機器に接続するときは、接続する機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。

専用地上デジタルTVチューナー

- 本製品はワンセグのデータ放送、および字幕放送には対応しておりません。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、Rovi Corporation およびその他の著作権権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、Rovi Corporation の許可が必要で、また、Rovi Corporation の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解や改造することも禁じられています。
- 本製品は Rovi Corporation が保有する日本特許第 1925090 号の特許技術のライセンス供与により製造されたものであり、この製品での使用は一部のプログラム配信に限定されています。

- 本製品はデータ放送 BML ブラウザとして、株式会社 ACCESS の **NetFront[®] DTV Profile** を搭載しています。
- 本製品には、microSD メモリーカードスロットが搭載されています。
- 本製品の一部に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

■ iPod/iPhone 再生機能 (オプション)

- 本機は、iPod/iPhone の音楽や映像の再生に対応しておりますが、いかなるバージョンであっても動作を保証するものではありません。
- iPod/iPhone の機種、バージョンによって動作が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

走行中の操作制限について

走行中は一部操作が制限されます。走行中は運転者の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。

お手入れのしかた

- 本機が汚れたときはやわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた水にやわらかい布を浸し硬く絞ってからご使用ください。ベンジンやシンナー、化学ぞうきんは使用しないでください。表面が変質します。

商標について

- 「ナビ」、「NAVI」は商標です。
- 製品名などの固有名称は各社の商標または登録商標です。
- ACCESS、NetFront は株式会社 ACCESS の日本またはその他の国における商標または登録商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



soundia HD は、当社の出願中の商標です。



SDHC ロゴは商標です。



microSD ロゴは商標です。



VICS ロゴは、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

Made for
iPod iPhone

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、iPod または iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

iPod は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。



iPod 3GS
16GB 32GB



iPod touch
1st generation
8GB 16GB 32GB



iPhone 3G
8GB 16GB



iPod nano
3rd generation
(video)
4GB 8GB



iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB



iPod classic
80GB



iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB 64GB



iPod nano
2nd generation
(aluminum)
2GB 4GB 8GB



iPod classic
120GB 160GB (2009)



iPod
5th generation
(video)
60GB 80GB



iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB



iPod
5th generation
(video)
30GB



iPod classic
160GB (2007)



iPod nano
1st generation
1GB 2GB 4GB

お客さまへ安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告



禁止

- **運転者は運転中に、画面を注視しない。**前方不注意となり事故の原因となります。道路交通法により、運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。
- **運転者は走行中に複雑な操作をしない。**
運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない。**
カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- **画面が映らない、音がでないなどの故障状態で使用しない。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **本機は DC12V マイナス⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車でのご使用はしない。**火災や故障の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。**発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- **ディスク挿入口やカード挿入口に異物を入れない。**
火災や感電、故障の原因となります。

警告



必ず行う

- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行する。
本機では交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。
必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- 運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけて使用する。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う。
カメラの死角になっている人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- バックする際はゆっくりした速度で運転する。
カメラの画像は目視と距離感が異なるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な匂いがするなど異常が起これば、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店が弊社代理店に相談する。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



分解禁止

- 本機を分解したり、改造しない。故障、火災、感電の原因となります。



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線やフロントパネルに触れない。
落雷により感電の原因となります。

注意



禁止

- 本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。
通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、発火や故障の原因となることがあります。
- カメラ本体に無理に力を加えたり、高圧洗車は行わないでください。
カメラが外れたり、角度がずれて故障や事故の原因となることがあります。



注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なります。注意してご使用ください。
事故の原因となることがあります。



指に注意

- ディスク挿入口やカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。

■ 取付・配線時などのご注意

警告



禁止

- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けない。交通事故やけがの原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機を取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しない原因となり危険です。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと制動不能や発火、事故の原因となります。



注意

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触しないよう注意して行う。誤った穴開けをすると火災の原因となります。



必ず行う

- 取り付け作業前には、バッテリーのマイナス⊖端子を外す。ショート事故による感電やけがの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ウィンカーなどの電装品が元通り、正常に動作することを確認する。正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。
- 必ず、パーキングブレーキ線を接続する。(安全機能)
走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっています。

⚠ 注意



禁止

- 本機のシャーシ上部を強く押さないでください。
本機のシャーシ上部が変形すると、ディスクの挿入や排出ができなくなります。



注意

- 車体やねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。
コード類が車体の高温部に接触すると被膜が破れショートし、火災、感電の原因となることがあります。



必ず行う

- 落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
機器の故障、けがなどの原因になることがあります。付属のネジなどでしっかりと固定してください。
- 本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。
- 取付要領書で指定された通りに接続してください。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動する原因となることがあります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 他の機器と接続する場合は、各機器の取扱説明書も併せてよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本製品を廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本書のみかた

本書で使用している表記と意味は以下のようになっています。

基本操作

ナビゲーション機能について

ナビゲーションとは

GPS (Global Positioning System)

ナビゲーション機能を確認する

目的地を設定する

目的地を入力して目的地を設定する

目的地を入力して目的地を設定する

次のページにつづく

※このページは「本書のみかた」を説明するためのものです。
実際のページ、説明内容とは異なります。

① 編見出し

主に機器別に機能を分けて分類しています。

② 章見出し

編分類の中で主な機能を分類し、各章の先頭に記載しています。
また、右端のインデックスでも確認することができます。

③ 大見出し

章分類の中で主な操作や機能を分類しています。

④ 中見出し

大見出しの中で分けられた操作や機能をこまかく分類しています。

⑤ 小見出し

中見出しの中で分けられた操作や機能をさらにこまかく分類しています。

⑥ 操作手順

操作手順を示す番号です。この番号の順序に従い操作してください。

⑦ **○○○○** キーまたは [○○○] キー

パネルでの操作キーを示します。

⑧ **○○○** または [○○○]

画面上に表示されるタッチスイッチを示します。

⑨ (P○○○)

参照するページを示します。関連する説明などが記載されています。

⑩ 次のページにつづく

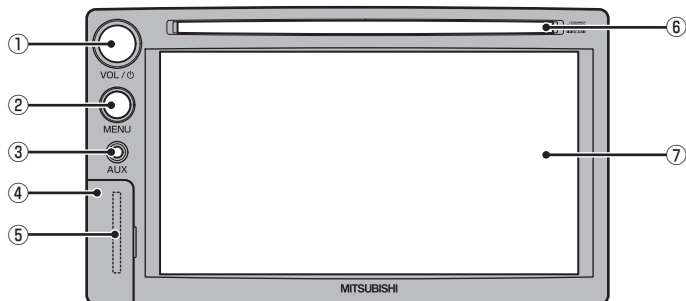
操作の説明に続きがある場合に記載しています。

基本操作

本機について

本体パネルについて

本体パネルの各部の名称と働きについて説明します。



① VOL キー

オーディオ機能の ON/OFF が行えます。
→ 「オーディオを ON/OFF する」(P21)
左に回すと音量が小さくなり、右に回すと音量が大きくなります。
→ 「音量を調節する」(P22)

② MENU キー

ソースを切り換えるためのトップメニューを表示します。
→ 「トップメニューについて」(P17)

③ AUX ジャック

別売のケーブルを接続することで、他の機器の映像や音声を本機に入力し、再生することができます。
→ 「ケーブルを接続する」(P170)

④ カバー

中に SD カード挿入口があります。

⑤ SD カード挿入口

ナビゲーション機能のための地図データが納められた SD カードを挿入します。別売の上位バージョンの SD カードと本体の SD カードを交換することでナビ機能のバージョンアップを行うことができます。
→ 「バージョンアップ方法」(P158)

⑥ ディスク挿入口

本機で再生可能なディスクを挿入すると、再生を開始します。
→ 「ディスクを挿入する」(P22)

⑦ ディスプレイ

このディスプレイに表示されるタッチスクリーンにタッチすることで、ほとんどの操作が行えます。
→ 「タッチ操作のしかた」(P16)

注意

- ・ナビゲーションユニットが装着されていない機種は、SD カードを挿入できません。
- ・すでにナビゲーションユニットが装着されている場合もしくは、別売のナビゲーションユニットを装着された場合は、はじめに本体に SD カードを挿入する必要があります。
→ 「SD カードを挿入する」(P14)

SD カードについて

本機はナビゲーション機能で使用する地図データ用 SD カードにのみ対応しております。

警告



必ず行う

- 事故防止のため、SD カードは乳幼児の手の届かないところに保管する。
万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

注意

- 本機は SD カードによる音楽ファイルの再生には対応しておりません。
- 地図データ用 SD カードを本機以外で使用しないでください。故障の原因となります。もしくはデータが破壊され、使用できなくなる場合があります。

■ 取り扱い上のご注意

- SD カードの端子に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなる場合があります。SD カードを持つときは、端子を触らずに持つようにしてください。
- SD カードに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでに SD カードが挿入された状態で他の SD カードを無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- SD カード以外のものを挿入しないでください。SD カード以外のものを挿入すると、破損もしくは取り出せなくなります。

■ 保管上のご注意

本機から取り出したときは、直射日光の当たらない場所に保管してください。

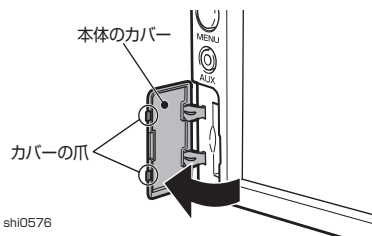
■ SD カードを挿入する

ナビゲーション機能のための地図データが納められた SD カードを挿入します。すでにナビゲーションユニットが装着されている場合もしくは、別売のナビゲーションユニットを装着された場合は、はじめに本体に SD カードを挿入する必要があります。

注意

- 駐停車禁止外の安全な場所に停車して、エンジンを切ってから行ってください。
- SD カード挿入口に異物を入れないでください。ケガや発煙、発火の原因になります。
- イグニッションキーを“ACC”または“ON”した状態で、SD カードを抜き差ししないでください。誤動作や SD カード破損の原因となります。

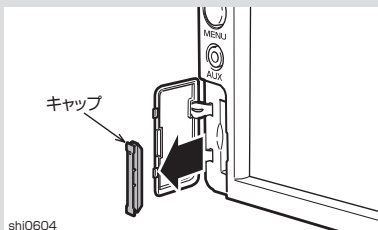
1 本体のカバーを開ける



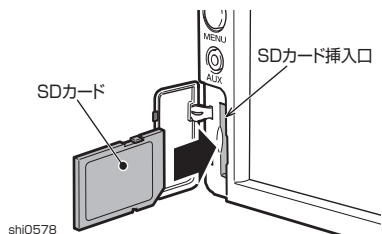
車両側のパネルに傷が付かないように、またカバーの爪が折れないように注意してください。

お知らせ

- 別売のナビゲーションユニットを装着された場合は、この後、キャップを外す必要があります。



2 SDカード挿入口にSDカードを差し込む



shi0578

3 本体のカバーを戻す

この後、車のイグニッションキーを“ACC”または“ON”にするとナビゲーション機能の使用が可能となります。

起動する

本システムを起動します。

1 車のイグニッションキーを“ACC”または“ON”にする

ナビゲーションユニット装着時



ナビゲーションユニット非装着時



オープニング画面が表示され、しばらくするとオーディオ画面やナビゲーション画面など、前回最後に使用した機能の画面（ラスト画面）に切り換わります。

アドバイス

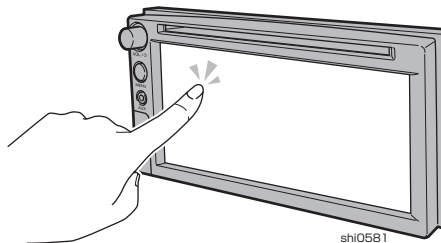
- イグニッションキーを“ACC”または“ON”した直後は、ナビゲーション機能の場合、SDカードからのデータ読み込みのため、地図画面表示後すぐに使えない機能があります。読み込み完了までしばらくお待ちください。

タッチ操作のしかた

本システムでは、ディスプレイに直接タッチして操作するタッチパネルを採用しています。

～にタッチするとき

画面にタッチして“決定”する操作について、本書では「～にタッチする」と記載しています。



また、タッチして実行するメニューは「タッチスイッチ」と記載しています。

注意

- ディスプレイの表面は傷が付きやすいので、手で強く押さえたり、かたい布などでこすったりしないでください。
- 画面が汚れたときは、メガネ拭きなどの柔らかく乾いた布で軽く拭きとってください。

リストから項目を探るとき

▽, ▲ にタッチすると1つずつリストを選ぶことができます。

▽, ▲ にタッチすると1ページごとに表示を送ることができます。



探している項目が表示されたら直接その項目にタッチします。

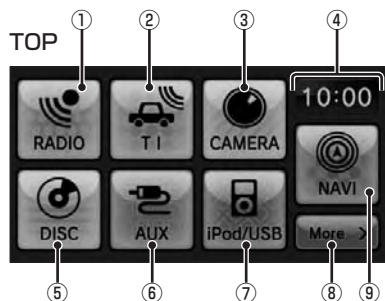
トップメニューについて

[MENU] キーを押して表示するトップメニューからソースを選ぶことで、さまざまな機能を使うことができます。

アドバイス

- メニューのデザインを変更することができます。→「メニューのデザインを変更する」(P179)

表示内容について



2nd TOP



- ① **RADIO** (P30)
ラジオ画面を表示します。
- ② **TI** (P34)
タッチすると、交通情報画面を表示します。
- ③ **CAMERA** (P168)
バックカメラが接続されている場合、バックカメラの映像を表示します。
- ④ **時計**
24 時間制で現在時刻を表示します。
- ⑤ **DISC**
音楽 CD が本機に挿入されていれば、CD 画面を表示します。(P35)
音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) が記録されたディスクが本機に挿入されていれば、DISC 画面を表示します。(P38)
- ⑥ **AUX** (P170)
外部機器が本機に接続されていれば、AUX 画面を表示します。
- ⑦ **iPod/USB**
iPod が本機に接続されていれば、iPod 画面を表示します。(P47)
USB デバイスが本機に接続されていれば、USB 画面を表示します。(P53)
- ⑧ **More** (P18)
トップメニュー (2nd TOP) を表示します。
- ⑨ **NAVI** (P92)
ナビゲーションユニットが本機に装着されている場合、ナビゲーション機能の画面を表示します。
- ⑩ **TV** (P58)
当社製の地上デジタル TV チューナーまたはワンセグチューナーが接続されている場合、テレビ映像を表示します。
- ⑪ **設定** (P172)
本機の種類設定が行える設定画面を表示します。
- ⑫ **Back** (P18)
トップメニュー (TOP) を表示します。

トップメニューを切り換える

トップメニューは2ページあります。
他のページを見る方法を説明します。

1 More にタッチする

TOP



2nd TOP



トップメニュー (2nd TOP) を表示します。

2 Back にタッチする

トップメニュー (TOP) に戻ります。

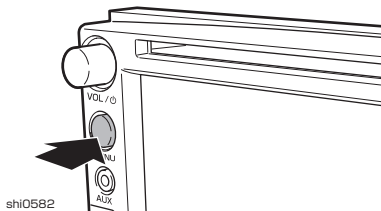
ソースを切り換える

トップメニューを表示し、ソースの選択が行えます。

お知らせ

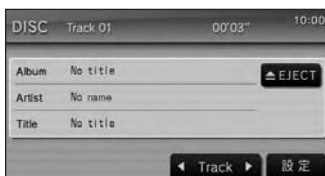
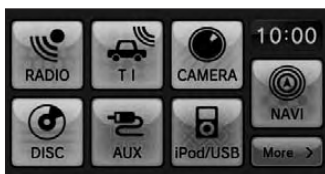
- 本書では、ラジオやテレビ、ナビゲーションなどの機能の総称を「ソース」と記載しています。

1 MENU キーを押す



トップメニューを表示します。

2 いずれかの“ソース”にタッチする



選んだソースの画面を表示します。

アドバイス

- 本機に音楽 CD または音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) のディスクを挿入していない場合は [DISC] がグレー表示となり選択できません。
- 接続されていない機器については選択できません。
- 機種の違いや、オプション機器の接続有無でメニュー内容が異なります。

AUDIO

オーディオ機能に関する操作の説明を行います。

オーディオ機能について	21	DISC	35
基本操作	21	音楽 CD を聴く	35
オーディオを ON/OFF する.....	21	再生モードを変更する.....	35
音量を調節する.....	22	再生モードを解除する.....	35
ディスクを挿入する / 取り出す.....	22	表示内容について.....	36
ディスクを挿入する.....	22	再生情報画面について.....	36
ディスクを取り出す.....	23	サブメニューについて.....	37
ディスクの取り扱いについて	24	ディスクの音楽ファイル	
取り扱い上のご注意.....	24	(MP3/WMA/AAC) を聴く	38
お手入れについて.....	24	リストを表示する.....	38
保管上のご注意.....	24	表示内容について.....	39
ディスク再生の環境について.....	24	再生情報画面について.....	39
著作権について.....	24	リストについて.....	40
再生できるディスクの種類	25	サブメニューについて.....	41
再生できないディスク.....	25	再生モードを変更する.....	41
CD 規格外ディスクについて.....	25	再生モードを解除する.....	41
音楽ファイル		混在ディスクを聴く	42
(MP3/WMA/AAC) について	26	表示内容について.....	43
フォルダの構成について.....	26	再生情報画面について	
MP3 とは.....	27	([音楽 CD] にタッチしたとき).....	43
再生できる MP3 ファイルの規格について... 27		再生情報画面について	
WMA とは.....	28	([圧縮 AUDIO] にタッチしたとき)... 44	
再生できる WMA ファイルの規格について... 28			
AAC とは.....	29		
再生できる AAC ファイルの規格について... 29			
ラジオ / 交通情報	30		
ラジオを聴く	30		
好みの放送局を登録する.....	30		
表示内容について.....	31		
再生情報画面について.....	31		
サブメニューについて.....	32		
受信状態の良い放送局を探す.....	32		
シークを開始する.....	32		
スキャンを開始する.....	33		
オートセレクトを開始する.....	33		
交通情報を聴く	34		
交通情報を OFF にする.....	34		
表示内容について.....	34		

iPod/USB 45

接続する.....45

iPod を接続する45

 iPod を外す45

USB デバイスを接続する.....46

 USB デバイスを外す46

iPod の曲を聴く47

iPod のビデオを見る.....47

表示内容について.....48

 再生情報画面について.....48

 MUSIC メニューについて.....49

 ビデオ再生情報画面について.....49

 VIDEO メニューについて.....50

 サブメニューについて.....50

再生モードを変更する.....51

リストで曲を探す.....51

 再生情報の画面を表示する.....52

USB デバイスの曲を聴く.....53

表示内容について.....54

 再生情報画面について.....54

 リストについて.....55

 サブメニューについて.....56

リストを表示する.....56

再生モードを変更する.....57

 再生モードを解除する.....57

オーディオ機能について

基本操作

本機では音楽 CD(CD-DA/CD-TEXT) および音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) が記録されたディスクを再生することができます。

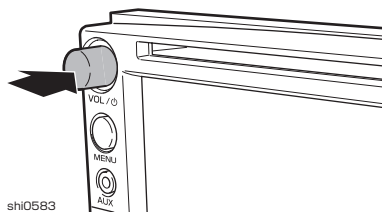
お知らせ

- 本書のオーディオ機能およびそれに関連する機能で使用している画像について、タイトル情報のアルバム名やタイトル名などは説明用に作成したものです。実際に存在するタイトル情報とは一切関係ありません。

オーディオを ON/OFF する

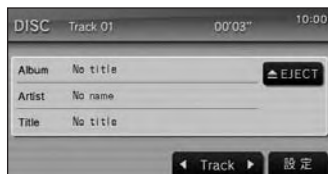
オーディオ機能の ON/OFF が行えます。

1 オーディオ機能が ON のとき、**VOL** キーを押す



オーディオ機能が OFF になります。

2 オーディオ機能が OFF のとき、**VOL** キーを押す



オーディオ機能が ON になります。直前に使用していたオーディオソースの画面に戻ります。

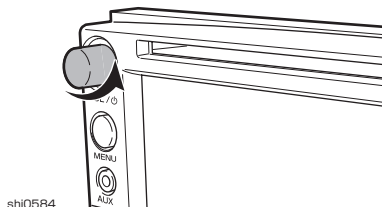
アドバイス

- [システム設定]の「オーディオ OFF 設定」を変更することで、オーディオ OFF 時の画面を変更することができます。→「本機の設定」(P172)
- ナビ画面、設定画面時に ON/OFF しても画面はそのままとなります。

音量を調節する

オーディオ機能の音量を調節します。

1 オーディオ再生中に **VOL** キーを左に回す

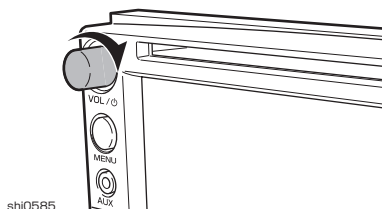


shi0584



音量が小さくなります。

2 **VOL** キーを右に回す



shi0585

音量が大きくなります。

ディスクを挿入する / 取り出す

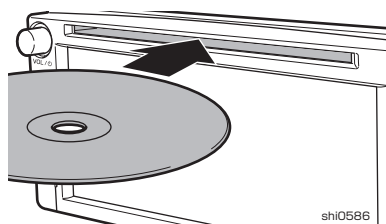
本機にディスクを挿入する方法を説明します。

注意

- ディスク交換は、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してから行ってください。
- ディスク挿入口に手や指、異物を入れないでください。ケガや発煙、発火の原因になります。

■ ディスクを挿入する

1 ディスク挿入口に、レーベル面を上にしてディスクを差し込む

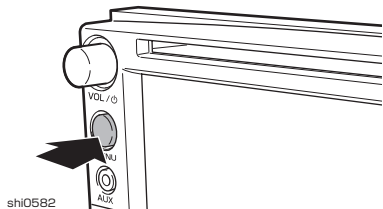


shi0586

ある程度差し込むと自動的に引き込まれます。

■ ディスクを取り出す

1 MENU キーを押す



shi0582

2 [DISC] にタッチする



再生情報画面を表示します。

3 ▲ EJECT にタッチする



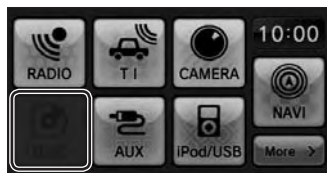
本機からディスクが排出され、ディスクを抜きとると、[DISC] を選択する前のオーディオソース画面を表示します。

ディスクを強制的に取り出す

通常は、ディスクローディングが正常に完了すれば、「ディスクを取り出す」の方法で挿入されているディスクを取り出すことができますが、万が一ディスクローディングが失敗して、再生情報画面が表示できなかった場合は、次の方法でディスクを強制的に取り出すことができます。

1 MENU キーを押す

2 [DISC] をタッチし続ける



本機からディスクが強制的に排出されます。

ディスクの取り扱いについて

ディスクの取り扱いについてお守りいただきたいこと、注意していただきたいことを説明します。

■ 取り扱い上のご注意

- ディスクの信号面に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなる場合があります。ディスクを持つときは、信号面に触らないように、両側を挟むように持つか中央の穴と端を挟んで持つようにしてください。
- ディスクに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでにディスクが挿入された状態で他のディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの傷や故障の原因となります。

■ お手入れについて

- ディスクの信号面は定期的にクリーニングしてください。クリーニングする場合はやわらかい布で回転せずに内側から外側へ軽く拭いてください。
- 新しいディスクにはディスクの外周や中心の穴にバリが残っている場合がありますので確認してください。バリが残っている状態で使用すると誤動作の原因となりますのでバリを取り除いてください。

■ 保管上のご注意

- 使用しないときは必ずケースに入れ、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 長時間使用しない場合は、必ず本機から取り出してください。

■ ディスク再生の環境について

真冬の車内など極度の低温状態でヒーターを入れてすぐご使用になると、ディスクや内部の光学部分に露（水滴）が付き正常に動作しない場合があります。このような場合は、ディスクを取り出してしばらくお待ちになってからご使用ください。

■ 著作権について

私的使用以外の目的でディスクを無断で複製や放送、公開演奏やレンタルする行為は法律により禁じられています。

再生できるディスクの種類

以下のマークはディスクのレーベル面やパッケージ、ジャケットなどに記載されています。


種類 / マーク	サイズ	最大再生時間
CD-DA 	12cm	74分
CD-TEXT 	12cm	74分
CD-R 	12cm	—
CD-RW 	12cm	—

再生できないディスク

- ・「再生できるディスクの種類」に記載のないディスクの再生は保証いたしかねます。
- ・8cm ディスクは使用できません。
- ・異形のディスク（ハート形など）は故障の原因となるため、使用しないでください。また、一部が透明なディスクは再生できません。
- ・ファイナライズしていないディスクは再生できません。
- ・レコーダーやPC（パソコン）によって正しいフォーマットで記録したディスクでも、アプリケーションソフトの設定や環境もしくはディスクの特性や傷、汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機で再生できない場合があります。
- ・ディスクによっては、一部機能が使用できない場合や再生できない場合があります。
- ・ヒビの入ったディスクや反ったディスクは使用しないでください。
- ・ディスクにシールを貼っている場合、はがれかかっているもの、のりあとが付着しているものは使用できません。
- ・ディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったものは使用できません。

CD 規格外ディスクについて

本機では音楽 CD をお楽しみいただけますが、CD の規格について以下の点についてご注意ください。

- ・ディスクレーベル面に  の入ったものなどの JIS 規格に合致したディスクをご使用ください。
- ・CD 規格外ディスクを使用された場合には再生の保証をいたしかねます。また再生できた場合であっても音質の保証はいたしかねます。
- ・CD 規格外ディスクを再生した場合、次の症状が発生することがあります。
 - 再生時に雑音が混入する。
 - 音飛びする。
 - ディスクを認識しない。
 - 1 曲目を再生しない。
 - 頭出しの時間が通常より長い。
 - 曲の途中から再生する。
 - 部分的に再生できない箇所がある。
 - 再生の途中でフリーズする。
 - 誤表示する。

音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) について

本機では CD-ROM や CD-R/RW、USB デバイス^{*1} に記録された MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイルを再生することができます。

※1 ご使用になるには別売の iPod/USB 接続ケーブルが必要です。

使用できるファイルやメディアについては制限がありますので MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイルをディスクに書き込む前に以下の内容をよくお読みください。また、お手持ちの CD-R/RW ドライブやライティングソフトの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使用ください。MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイル内にタイトル情報などのデータが記録されている場合は、ディスプレイに表示できます。

注意

- 音楽 CD から書き込んだ (コピーした) ディスクやファイルを無償・有償にかかわらず他人に配るなどの行為、インターネットなどのサーバーへアップロードする行為は違法ですので決して行わないでください。
- MP3/WMA/AAC 形式以外のファイルに拡張子「.mp3」「.wma」「.m4a」を付けしないでください。そのようなファイルが書き込まれたディスクを再生すると誤認識して再生する可能性がある為、大きな雑音がでてスピーカーの破損や思わぬ事故につながる恐れがあります。

アドバイス

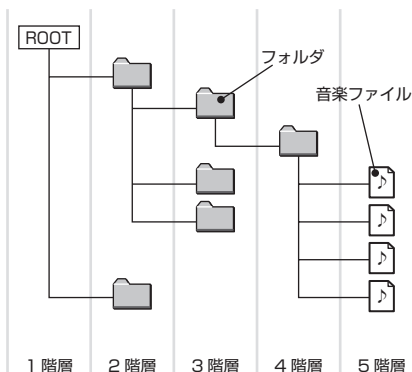
- ディスク書き込みに使用したレコーダーやレコーディングソフトの状態によっては正しく再生できない場合があります。その場合はご使用になった機器・ソフトの取扱説明書を参照してください。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子「.mp3」「.wma」「.m4a」を付けてからディスクに書き込んでください。

アドバイス

- 2GB を超えるサイズのファイルは再生することができません。
- MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイルを混在したディスクも再生することができます。

フォルダの構成について

フォルダは 8 階層まで認識することができます。ジャンル→アーティスト→アルバム→トラック (MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイル) といった階層を作成して曲を管理することができます。



最大階層数	8 階層 (Root を含む)	
最大ファイル数 ^{*1}	ディスク : 255 ファイル (ディスク内合計)	USB デバイス : 65535 ファイル (USB デバイス内合計)
最大フォルダ数	ディスク : 100 フォルダ	USB デバイス : 700 フォルダ

※1 MP3/WMA/AAC ファイル以外は含まず。ただし、同じフォルダに多数の楽曲を格納している場合は最大曲数以下の場合でも認識しない場合があります。その場合は複数のフォルダに分けて格納してください。

お知らせ

- 本機で表示されるフォルダおよび音楽ファイルの順番は PC で表示される順番と異なる場合があります。

MP3 とは

MP3 とは「MPEG-1 Audio Layer 3」の略称。MPEG とは「Motion Picture Experts Group」の略称でビデオ CD などに採用されている映像圧縮規格です。MP3 は MPEG の音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式の 1 つで、人間の耳で聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音进行处理することにより、高音質で小さなデータ容量のファイルを作ることができます。音楽 CD の音質をほとんど損なうことなく約 1/10 のデータ容量に圧縮することができる為、約 10 枚分の音楽 CD を 1 枚の CD-R/RW へ書き込むことが可能になります。

■ 再生できる MP3 ファイルの規格について

再生できる MP3 ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容
規格	MPEG-1 AUDIO LAYER3 MPEG-2 AUDIO LAYER3
サンプリング周波数 [kHz]	MPEG-1 : 32/44.1/48 MPEG-2 : 16/22.05/24
ビットレート [kbps]	MPEG-1 : 32 ~ 320 MPEG-2 : 32 ~ 160
VBR(可変ビットレート)	対応
マルチセッション	対応
チャンネルモード	ステレオ / ジョイントステレオ / デュアルチャンネル / モノラル
拡張子	mp3
ID3Tag	Ver.1.0、Ver.1.1、Ver.2.2、Ver.2.3、Ver.2.4
ソースプレートに表示できる最大文字数	ファイル名とフォルダ名を合わせて、半角 36 文字 (全角 18 文字)
リストに表示できる最大文字数	アルバム名 : 半角 34 文字 (全角 17 文字) アーティスト名 : 半角 34 文字 (全角 17 文字) タイトル名 : 半角 34 文字 (全角 17 文字)
	フォルダリスト表示時 半角 28 文字 (全角 14 文字) ※ 第 2 階層 (Root を第 1 階層とする) において。 ※ 階層の表示により、表示文字数は変化します。 1 階層下がるごとに半角 2 文字 (全角 1 文字) 減少します。
	トラックリスト表示時 ファイル名 : 半角 33 文字 (全角 16 文字)

注意

- 上記規格以外で書き込まれた MP3 ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

WMA とは

WMA とは、Windows Media Audio の略称で、Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも高い圧縮率で音声データを圧縮する方式です。

※ Microsoft、Windows Media、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

注意

- WMA は著作権保護機能 (DRM) をサポートしており、本オーディオシステムでは著作権で保護された WMA ファイルを再生することはできません。

■ 再生できる WMA ファイルの規格について

再生できる WMA ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容
規格	Windows Media Audio Version7、8、9.0 standard
サンプリング周波数 [kHz]	32/44.1/48
ビットレート [kbps]	32 ~ 192
VBR(可変ビットレート)	対応
マルチセッション	対応
チャンネルモード	ステレオ / モノラル
拡張子	wma
WMA Tag	タイトル名、アーティスト名、アルバム名
ソースプレートに表示できる最大文字数	ファイル名とフォルダ名を合わせて、半角 36 文字 (全角 18 文字)
リストに表示できる最大文字数	アルバム名 : 半角 34 文字 (全角 17 文字) アーティスト名 : 半角 34 文字 (全角 17 文字) タイトル名 : 半角 34 文字 (全角 17 文字)
	フォルダリスト表示時 半角 28 文字 (全角 14 文字) ※ 第 2 階層 (Root を第 1 階層とする) において。 ※ 階層の表示により、表示文字数は変化します。 1 階層下がるごとに半角 2 文字 (全角 1 文字) 減少します。
	トラックリスト表示時 ファイル名: 半角 33 文字 (全角 16 文字)

注意

- 上記規格以外で書き込まれた WMA ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- 「Pro」「Lossless」「Voice」には対応しておりません。

AAC とは

AAC とは Advanced Audio Coding の略称で、映像の圧縮規格「MPEG-2」や「MPEG-4」で使われている音声圧縮方式です。MP3 よりも約 1.4 倍圧縮効率がが高く、音質はほぼ同じです。

注意

- AAC は著作権保護機能 (DRM) をサポートしており、本オーディオシステムでは著作権で保護された AAC ファイルを再生することはできません。

■ 再生できる AAC ファイルの規格について

再生できる AAC ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容
規格	MPEG-4:AAC-LC (Low Complexity)
サンプリング周波数 [kHz]	11.025/16/22.05/24/32/44.1/48
ビットレート [kbps]	16 ~ 320
VBR(可変ビットレート)	対応
マルチセッション	対応
チャンネルモード	ステレオ / モノラル
拡張子	m4a
ソースプレートに表示できる最大文字数	ファイル名とフォルダ名を合わせて、半角 36 文字 (全角 18 文字)
リストに表示できる最大文字数	アルバム名 : 半角 34 文字 (全角 17 文字) アーティスト名 : 半角 34 文字 (全角 17 文字) タイトル名 : 半角 34 文字 (全角 17 文字)
	フォルダリスト表示時 半角 28 文字 (全角 14 文字) ※ 第 2 階層 (Root を第 1 階層とする) において、 ※ 階層の表示により、表示文字数は変化します。 1 階層下がるごとに半角 2 文字 (全角 1 文字) 減少します。
	トラックリスト表示時 ファイル名: 半角 33 文字 (全角 16 文字)

注意

- 上記規格以外で書き込まれた AAC ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- AAC のエンコーダは iTunes を推奨します。他のエンコーダをご使用になる場合、正常に再生できない場合があります。
※ iTunes は Apple Inc. の商標です。

ラジオ / 交通情報

ラジオを聴く

AM 放送や FM 放送のラジオの聴きかたについて説明します。

- 1 **MENU** キーを押す
トップメニューを表示します。
- 2 **RADIO** にタッチする
ラジオの再生情報画面を表示します。
- 3 聴きたい“放送の種類”にタッチする



- 4 **◀Tune▶** にタッチして選局する



選局した周波数の音声が流れます。

好みの放送局を登録する

お好みの放送局を AM に 6 局、FM1 に 6 局、FM2 に 6 局まで記憶することができます。

- 1 ラジオ再生情報画面で
◀Tune▶ にタッチし、登録したい“放送局”を探す
- 2 登録したい“プリセットスイッチ”に「ピッ!」と鳴るまでタッチする



プリセットスイッチ

タッチしたプリセット CH 番号のスイッチに選局した放送局を登録します。

■ 再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名、プリセット CH 番号、受信中の周波数を表示します。

② **AM**、**FM1**、**FM2**

AM 放送、FM 放送を切り換えるときに使用します。

それぞれ各 6 局までお好みの放送局を登録することができます。

③ **プリセットスイッチ**

お好みの放送局を登録することができます。希望のプリセット CH 番号のスイッチを「ピッ!」と鳴るまでタッチし続けると、現在受信中の放送局を登録することができます。

→ 「好みの放送局を登録する」(P30)

④ **◀Tune▶**

周波数を変更するときに使用します。「ピッ!」と鳴るまでタッチし続けると自動選局(シーク)を開始します。
→ 「シークを開始する」(P32)

⑤ **設定**

タッチすると、サブメニューを表示します。
→ 「サブメニューについて」(P32)
[SCAN]、[AUTO-SELECT] が選べます。

■ サブメニューについて

ラジオの再生情報画面で [設定] にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。



SCAN (SCAN 解除)	受信できる放送局をまとめて探します。放送局を受信すると10秒間だけ音声を流し次の放送局を探します。 → 「スキャンを開始する」 (P33) また、スキャンをやめるときは再度サブメニューを表示し、[SCAN 解除] にタッチします。 → 「スキャンを解除する」 (P33)
AUTO-SELECT	受信できる放送局を探し、受信できた放送局は自動的にプリセットスイッチに登録します。 → 「オートセレクトを開始する」 (P33)
AUTO-SELECT 解除	オートセレクトをやめるとき使用します。 → 「オートセレクトを解除する」 (P33)
戻る	サブメニューを閉じます。

受信状態の良い放送局を探す

旅行先など受信周波数の異なる地域に移動したときに受信できる放送局を探すときに便利です。

ここでは、ラジオの再生情報画面からの操作方法を説明します。

■ シークを開始する

受信できる放送局を1つずつ探します。

1 ラジオの再生情報画面で「ピッ!」と鳴るまで ◀ Tune ▶ にタッチする



受信できる放送局が見つかると、音声が流れます。

■ スキャンを開始する

受信できる放送局をまとめて探します。

1 ラジオの再生情報画面で

設定 にタッチする

サブメニューを表示します。

2 **SCAN** にタッチする



スキャン中の表示



放送局を受信すると 10 秒間だけ音声を流し次の放送局を探します。

スキャンを解除する

1 スキャン中に **設定** にタッチする

再び、サブメニューを表示します。

2 **SCAN 解除** にタッチする



スキャンを解除します。

■ オートセレクトを開始する

受信できる放送局を探し、受信できた放送局は自動的にプリセットスイッチに登録します。

アドバイス

- ・滞在する地域の放送局を一時的に登録するためあります。
(AMの6局とFM1、FM2の各6局)
- ・オートセレクトを解除すれば、元の状態に戻ります。

1 ラジオの再生情報画面で

設定 にタッチする

サブメニューを表示します。

2 **AUTO-SELECT** にタッチする



オートセレクト中の表示



受信できる放送局を探し始めます。受信できた放送局は自動的にプリセットスイッチに登録します。オートセレクト終了後は一番受信状態がよかったCHを選択します。

オートセレクトを解除する

オートセレクトを解除すると、登録したプリセットスイッチは元の状態に戻ります。

1 オートセレクト中に **設定** にタッチする

再び、サブメニューを表示します。

2 **AUTO-SELECT 解除** にタッチする



オートセレクトを解除します。プリセットスイッチが元の状態に戻ります。

交通情報を聴く

交通情報 (TI: トラフィックインフォメーション) の聴きかたについて説明します。

1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 TI にタッチする

交通情報の再生情報画面を表示します。

3 聴きたい“周波数”にタッチする



選んだ周波数の交通情報が流れます。

交通情報を OFF にする

1 交通情報の再生情報画面で

交通情報 OFF にタッチする

交通情報を終了し、交通情報を聴く前のオーディオソースの再生を再開します。

アドバイス

- 交通情報を聴く前がオーディオ OFF だった場合は、オーディオ OFF となります。

表示内容について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名、受信中の周波数を表示します。

② 1620, 1629

交通情報の周波数、1620kHz もしくは 1629kHz を選ぶときにタッチします。

③ 交通情報 OFF

タッチすると、交通情報を終了し、交通情報を聴く前のオーディオソースの再生を再開します。

音楽 CD を聴く

音楽 CD(CD-DA/CD-TEXT) の聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。

→「ディスクを挿入する」(P22)

お知らせ

- 音楽 CD を本機に挿入した状態で操作してください。

1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 DISC にタッチする

音楽 CD の再生情報画面を表示します。

3 ◀Track▶ にタッチして曲を選ぶ



選んだ曲を再生します。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生が行えます。ここでは、音楽 CD の再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽 CD の再生情報画面で

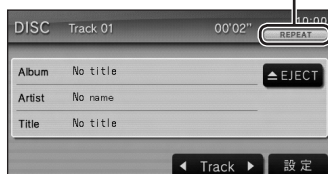
設定 にタッチする

サブメニューを表示します。

2 変更したい“モード”にタッチする



再生モード表示



選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 再生モードの内容について、詳しくは「サブメニューについて」(P37)をご覧ください。

再生モードを解除する

リピート、スキャン、ランダムいずれかのモードが再生中の場合に、それらのモードを解除します。

1 いずれかのモード再生中に

設定 にタッチする

再び、サブメニューを表示します。

2 解除 にタッチする

再生モードを解除します。

■ 再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名、再生中のトラック番号、再生時間を表示します。

② アルバム名

CD-DA は「No title」と表示します。
CD-TEXT の場合、タイトル情報があれば、アルバム名を表示します。

③ アーティスト名

CD-DA は「No name」と表示します。
CD-TEXT の場合、タイトル情報があれば、アーティスト名を表示します。

④ タイトル名 (曲名)

CD-DA は「No title」と表示します。
CD-TEXT の場合、タイトル情報があれば、曲名を表示します。

⑤ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。
リピート再生やスキャン再生、ランダム再生のモードを再生中に表示します。
→「再生モードを変更する」(P35)

⑥ ▲EJECT

タッチすると、挿入されているディスクを排出します。
→「ディスクを取り出す」(P23)

⑦ ◀Track▶

曲を選ぶときに使用します。タッチし続けると早送り、早戻しが行えます。

⑧ 設定

タッチすると、サブメニューを表示します。
→「サブメニューについて」(P37)
[REPEAT]、[SCAN]、[RANDOM]、[解除] が選べます。

■ サブメニューについて

音楽 CD の再生情報画面で [設定] にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。

サブメニューでは、リピート再生やスキャン再生、ランダム再生などの設定が行えます。

→ 「再生モードを変更する」(P35)



REPEAT	再生中の曲を繰り返して再生します。
SCAN	ディスク内のすべての曲が対象で、始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
RANDOM	ディスク内の曲を順不同に再生します。
解除	リピート、スキャン、ランダムのいずれかのモードが再生中の場合に、それらのモードを解除します。 → 「再生モードを解除する」 (P35)
戻る	サブメニューを閉じます。

ディスクの音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) を聴く

ディスク内の音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) の聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P22)

お知らせ

- 音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) のディスクを本機に挿入した状態で操作してください。

1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 DISC にタッチする

音楽ファイルの再生情報画面を表示します。

3 ◀Folder▶ にタッチしてフォルダを選ぶ



4 ▶Track▶ にタッチして曲を選ぶ



選んだ曲を再生します。

リストを表示する

リストを表示すると、フォルダの階層を確認しながら曲を探することができます。

ここでは、音楽ファイルの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽ファイルの再生情報画面で

リスト表示 にタッチする



リストを表示します。

2 戻る にタッチする

音楽ファイルの再生情報画面を戻ります。

アドバイス

- ・ [▲],[▼] にタッチしてフォルダやトラックを選ぶことができます。

■ 再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名、再生中のトラック番号 / フォルダ番号、再生時間などを表示します。

② アルバム名

タイトル情報があれば、アルバム名を表示します。

③ アーティスト名

タイトル情報があれば、アーティスト名を表示します。

④ タイトル名 (曲名)

タイトル情報があれば、曲名を表示します。

⑤ ◀ Folder ▶

フォルダを選ぶときに使用します。タッチすると、前後のフォルダへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑥ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

⑦ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。リピート再生やスキャン再生などのモードを再生中に表示します。
→ 「再生モードを変更する」(P41)

⑧ ▲ EJECT

タッチすると、挿入されているディスクを排出します。
→ 「ディスクを取り出す」(P23)

⑨ リスト表示

タッチすると、フォルダリストを表示します。
→ 「リストについて」(P40)

⑩ ▶ Track ▶

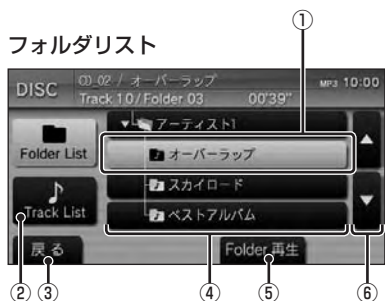
曲を選ぶときに使用します。タッチし続けると早送り、早戻しが行えます。

⑪ 設定

タッチすると、サブメニューを表示します。
→ 「サブメニューについて」(P41)
[REPEAT]、[SCAN]、[RANDOM]、[解除] などが選べます。

■ リストについて

リストには以下の2種類のリストがあります。



トラックリスト



① 選択中のフォルダ

② Track List

タッチすると、トラックリストを表示します。
選択中のフォルダ内の直下にトラックが存在したときに選択できます。

③ 戻る

タッチすると、再生情報画面に戻ります。
→「再生情報画面について」(P39)

④ フォルダー一覧

ディスク内のフォルダー一覧を表示します。
(フォルダ名を表示します。)
タッチすると、直下のフォルダの表示 / 非表示を切り換えることができます。フォルダの直下にトラックが存在する場合は、フォルダアイコンに「♪」を表示します。

⑤ Folder 再生

タッチすると、選択中のフォルダの1曲目を再生します。選択中のフォルダ内の直下にトラックが存在したときに選択できます。

⑥ ▲, ▼

タッチすると、フォルダやトラックが選択できます。

⑦ Folder List

タッチすると、フォルダリストを表示します。ディスク内にフォルダが存在したときに選択できます。

⑧ トラック一覧

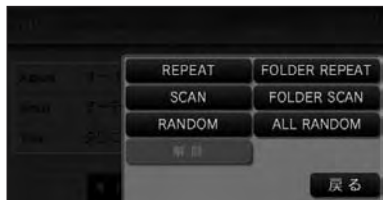
Rootまたはフォルダ内のトラック一覧を表示します。(ファイル名を表示します。)

■ サブメニューについて

音楽ファイルの再生情報画面で[設定]にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。

サブメニューでは、リピート再生やフォルダリピート再生、スキャン再生、フォルダスキャン再生、ランダム再生、オールランダム再生などの設定が行えます。

→「再生モードを変更する」(P41)



REPEAT	再生中の曲を繰り返して再生します。
FOLDER REPEAT	再生中の曲があるフォルダを繰り返して再生します。
SCAN	再生中の曲があるフォルダ内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
FOLDER SCAN	ディスク内の全フォルダの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
RANDOM	再生中の曲があるフォルダ内の曲を順不同に再生します。
ALL RANDOM	ディスク内の曲すべてを順不同に再生します。
解除	リピートやランダムなど、いずれかのモードが再生中の場合にそれらのモードを解除します。 →「再生モードを解除する」(P41)
戻る	サブメニューを閉じます。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

ここでは、音楽ファイルの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽ファイルの再生情報画面で

設定 にタッチする

サブメニューを表示します。

2 変更したい“モード”にタッチする



再生モード表示



選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 再生モードの内容について、詳しくは「サブメニューについて」(P41)をご覧ください。

■ 再生モードを解除する

リピートやランダム、スキャンなどのモードが再生中の場合にそれらのモードを解除します。

1 いずれかのモード再生中に

設定 にタッチする

再び、サブメニューを表示します。

2 解除 にタッチする



再生モードを解除します。

混在ディスクを聴く

音楽 CD(CD-DA/CD-TEXT) と音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) の両方が記録された混在ディスクの聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P22)

お知らせ

- 混在ディスクを本機に挿入した状態で操作してください。

アドバイス

- [音楽 CD] にタッチした場合は、「音楽 CD を聴く」(P35) を参照してください。
- [圧縮 AUDIO] にタッチした場合は、「ディスクの音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) を聴く」(P38) を参照してください。

1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 DISC にタッチする

混在ディスクの再生情報画面を表示します。

3 音楽 CD または 圧縮 AUDIO にタッチする



以降の操作は、音楽 CD または音楽ファイルの聴きかたと同様に行います。

■ 再生情報画面について ([音楽 CD] にタッチしたとき)



① ソースプレート

現在選ばれているソース名、再生中のトラック番号、再生時間を表示します。

② アルバム名

CD-DA は「No title」と表示します。
CD-TEXT の場合、タイトル情報があれば、アルバム名を表示します。

③ アーティスト名

CD-DA は「No name」と表示します。
CD-TEXT の場合、タイトル情報があれば、アーティスト名を表示します。

④ タイトル名 (曲名)

CD-DA は「No title」と表示します。
CD-TEXT の場合、タイトル情報があれば、曲名を表示します。

⑤ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。
リピート再生やスキャン再生、ランダム再生のモードを再生中に表示します。
→「再生モードを変更する」(P35)

⑥ ▲EJECT

タッチすると、挿入されているディスクを排出します。
→「ディスクを取り出す」(P23)

⑦ ◀Track▶

曲を選ぶときに使用します。タッチし続けると早送り、早戻しが行えます。

⑧ 設定

タッチすると、サブメニューを表示します。
→「サブメニューについて」(P37)
[REPEAT]、[SCAN]、[RANDOM]、[解除] が選べます。

■ 再生情報画面について ([圧縮 AUDIO] にタッチしたとき)



① ソースプレート

現在選ばれているソース名、再生中のトラック番号 / フォルダ番号、再生時間などを表示します。

② アルバム名

タイトル情報があれば、アルバム名を表示します。

③ アーティスト名

タイトル情報があれば、アーティスト名を表示します。

④ タイトル名 (曲名)

タイトル情報があれば、曲名を表示します。

⑤ ◀ Folder ▶

フォルダを選ぶときに使用します。タッチすると、前後のフォルダへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑥ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

⑦ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。リピート再生やスキャン再生などのモードを再生中に表示します。
→ 「再生モードを変更する」(P41)

⑧ ▲ EJECT

タッチすると、挿入されているディスクを排出します。
→ 「ディスクを取り出す」(P23)

⑨ リスト表示

タッチすると、フォルダリストを表示します。
→ 「リストについて」(P40)

⑩ ◀ Track ▶

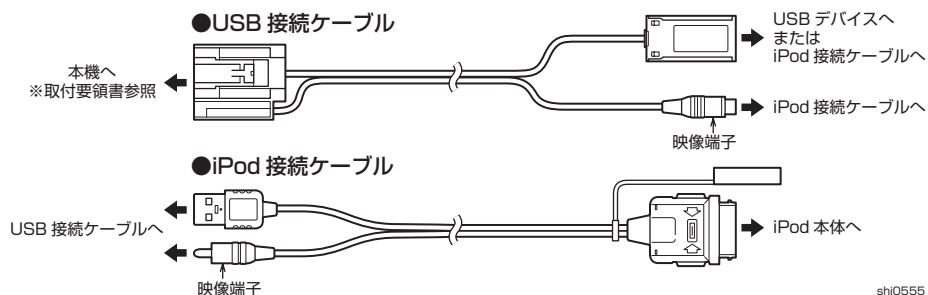
曲を選ぶときに使用します。タッチし続けると早送り、早戻しが行えます。

⑪ 設定

タッチすると、サブメニューを表示します。
→ 「サブメニューについて」(P41)
[REPEAT]、[SCAN]、[RANDOM]、[解除] などが選べます。

iPod/USB

iPod/USB 接続ケーブルについて

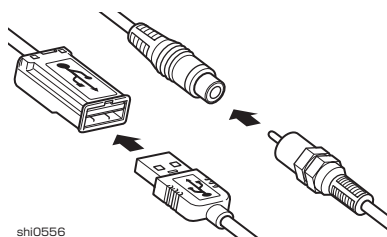


接続する

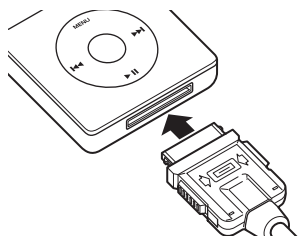
別売の iPod/USB 接続ケーブルと iPod および USB デバイスの接続方法を説明します。

iPod を接続する

- 1 USB 接続ケーブルの入力端子に iPod 接続ケーブルの出力端子を接続する



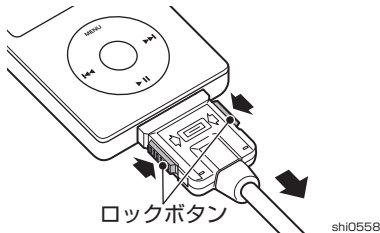
- 2 iPod 本体に iPod 接続ケーブルの Dock コネクターを接続する



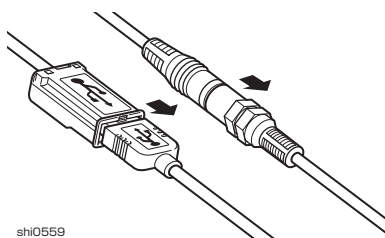
■ iPod を外す

- 1 iPod 本体から iPod 接続ケーブルの Dock コネクターを外す

Dock コネクターの左右ロックボタンを押しながら外してください。

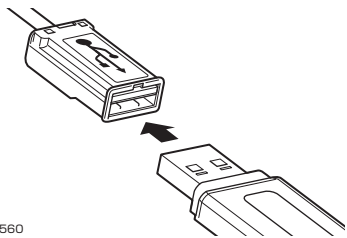


- 2 iPod 接続ケーブルを USB 接続ケーブルから外す



USB デバイスを接続する

1 USB 接続ケーブルの USB ジャックに USB デバイスを接続する

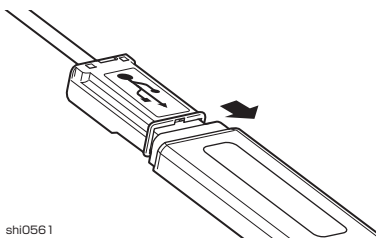


shi0560

USB 接続ケーブルの映像端子は、使用しません。

■ USB デバイスを外す

1 USB ジャックから USB デバイスを外す



shi0561

注意

- Dock コネクタや USB のコネクタ方向に注意してください。コネクタ方向を間違えた状態で無理に接続すると、接続ケーブルのコネクタや iPod 本体、USB デバイスの破損の原因となります。

iPod の曲を聴く

別売の iPod/USB 接続ケーブルを本機に接続することで、iPod の映像や音声を本機に入力し、再生することができます。

お知らせ

- iPod/iPhone の世代や機種、ソフトウェアバージョンにより本機で再生できない場合があります。また、本書で説明する操作方法通りに再生できない場合があります。詳しくは、当社ホームページをご覧ください。
URL : <http://www.mitsubishielectric.co.jp/carele/carnavi/>
- 最新のソフトウェアバージョンにした iPod/iPhone を使用してください。
- iPod/iPhone を本機に接続した状態で操作してください。

注意

- iPod/iPhone 本体を車内に放置しないでください。

1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 iPod/USB にタッチする

iPod の再生情報画面を表示します。

3 ◀Track▶ にタッチして曲を選ぶ



選んだ曲を再生します。

iPod のビデオを見る

iPod 内のビデオの見かたについて説明します。

お知らせ

- ビデオ再生機能のない iPod では本機能をご使用になれません。
- iPod 側の出力設定は、「TV 画面：ワイドスクリーン」「画面に合わせる：OFF」としておくことをおすすめします。詳細は iPod のユーザーガイドをご覧ください。

1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 iPod/USB にタッチする

iPod の再生情報画面を表示します。

3 iPod MENU → VIDEO にタッチする

4 “カテゴリー” にタッチする



5 再生したい“トラック”にタッチする



選んだトラックのビデオを再生します。

アドバイス

- 手順 4 で [ビデオプレイリスト] にタッチした場合は、再生したいプレイリストを選ぶ必要があります。その後、手順 5 に続きます。

■ 再生情報画面について



- ① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名、再生中のトラック番号、再生時間を表示します。
- ② **アートワーク**
iPod 内にアートワーク情報があれば、画像を表示します。
- ③ **◀Track▶**
曲を選ぶときに使用します。タッチし続けると早送り、早戻しが行えます。
- ④ **iPod MENU**
MUSIC メニューを表示します。
→「MUSIC メニューについて」(P49)
- ⑤ **再生モード表示**
現在の再生モードを表示します。
リピート再生やシャッフル再生などのモードを再生中に表示します。
→「再生モードを変更する」(P51)
- ⑥ **アルバム名**
タイトル情報があれば、アルバム名を表示します。
- ⑦ **アーティスト名**
タイトル情報があれば、アーティスト名を表示します。
- ⑧ **タイトル名(曲名)**
タイトル情報があれば、曲名を表示します。
- ⑨ **設定**
タッチすると、サブメニューを表示します。
→「サブメニューについて」(P50)
リピート再生やシャッフル再生、オーディオブックの再生スピードなどの設定が行えます。

■ MUSIC メニューについて

iPod の再生情報画面で [iPod MENU] にタッチすると表示します。

MUSIC メニューからさまざまなカテゴリーのリストを表示することができます。

カテゴリーメニュー



カテゴリーメニュー	各カテゴリーのリストを表示します。 → 「リストで曲を探す」(P51)
戻る	再生情報画面に戻ります。 → 「再生情報画面について」(P48)
VIDEO	VIDEO メニューを表示します。 → 「VIDEO メニューについて」(P50)

■ ビデオ再生情報画面について

ビデオ再生中に画面にタッチすると表示するビデオ再生情報画面について説明します。



iPod MENU	VIDEO メニューを表示します。 → 「VIDEO メニューについて」(P50)
◀Track▶	ビデオを選ぶときに使用します。 タッチし続けると早送り、早戻しが行えます。
設定	タッチすると、リピート再生やシャッフル再生、オーディオブックの再生スピードなどの設定が行えるサブメニューを表示します。 → 「サブメニューについて」(P50)

■ VIDEO メニューについて

iPod のビデオ再生情報画面で [iPod MENU] にタッチすると表示します。
VIDEO メニューからさまざまなカテゴリーのリストを表示することができます。

お知らせ

- VIDEO メニューのカテゴリーメニューは iPod から情報を取得しています。そのため、iPod の世代や機種、ソフトウェアバージョンにより表示内容が異なります。

カテゴリーメニュー



MUSIC	MUSIC メニューを表示します。 →「MUSIC メニューについて」 (P49)
戻る	ビデオ再生情報画面に戻ります。 →「ビデオ再生情報画面について」 (P49)
カテゴリーメニュー	各カテゴリーのリストを表示します。 →「リストで曲を探す」(P51)

■ サブメニューについて

iPod の再生情報画面やビデオ再生情報画面で [設定] にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。

サブメニューでは、リピート再生やシャッフル再生、オーディオブックの再生スピードなどの設定が行えます。

→「再生モードを変更する」(P51)



REPEAT	[REPEAT] にタッチすると、現在再生中の曲またはビデオを繰り返して再生します。 (シングルリピート再生) [OFF] にタッチするとシングルリピート再生を解除します。「REPEAT」が [OFF] のとき、再生中の階層内にある曲を繰り返して再生します。
SHUFFLE	[SONGS] にタッチすると、再生中の階層内にある曲を順不同に再生します。 (シャッフル再生) [ALBUMS] にタッチすると、再生中の階層内にあるすべてのアルバムを順不同に再生します。 (アルバムシャッフル再生) ※アルバム内の曲順は変わりません。
AUDIO BOOK	iPod がオーディオブックとして認識できる曲の再生スピードを設定することができます。
戻る	サブメニューを閉じます。

アドバイス

- シングルリピート中は、シャッフル再生やアルバムシャッフル再生を行ってもシングルリピートを継続します。

再生モードを変更する

リピート再生やシャッフル再生、オーディオブックの再生スピードなどの設定が行えます。ここでは、iPodの再生情報画面からの操作を説明します。

1 iPodの再生情報画面で

設定 にタッチする

サブメニューを表示します。

2 変更したい“モード”にタッチする



再生モード表示



選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 再生モードの内容について、詳しくは「サブメニューについて」(P50)をご覧ください。

リストで曲を探す

MUSIC メニュー (P49) や VIDEO メニュー (P50) でカテゴリにタッチするとそのカテゴリのリストを表示します。リストにタッチしていくことで、アルバム名や曲名を確認しながら聴きたい曲を探すことができます。ここでは、iPodの再生情報画面からの操作を説明します。

1 iPodの再生情報画面で

iPod MENU にタッチする

MUSIC メニューを表示します。

2 “カテゴリ”にタッチする



選んだカテゴリのリストを表示します。

3 リストから再生したい“項目”にタッチする



選んだ項目内のリストを表示します。手順3の操作を繰り返し、曲を探します。リストから再生したい曲にタッチすると、再生を開始します。

アドバイス

- 手順2で選んだカテゴリによって、手順3で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、iPodに記録されているタイトル情報を表示します。

■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生している曲の再生情報画面を表示することができます。

1 リスト表示画面で

再生中 にタッチする



USB デバイスの曲を聴く

別売の iPod/USB 接続ケーブルを本機に接続することで、USB メモリーなどの USB デバイ스에記録された音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) を本機で再生することができます。

お知らせ

- USB デバイスの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- USB メモリーのファイルシステムは、FAT もしくは FAT32 としてください。
- 音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) が記録された USB デバイス を本機に接続した状態で操作してください。

注意

- USB デバイスを車内に放置しないでください。
- ハードディスクやカードリーダー、メモリーリーダーは機器およびデータが破損することがあるため、使用しないでください。誤って接続した場合は車のイグニッションキーを“OFF” にしてから取り外してください。
- データ破損の恐れがあるためファイルのバックアップをお勧めします。
- USB デバイスの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証は致しかねます。

1 **MENU** キーを押す
トップメニューを表示します。

2 **iPod/USB** にタッチする
USB デバイスの再生情報画面を表示します。

3 **◀ Folder ▶** にタッチして
フォルダを選ぶ



4 **◀ Track ▶** にタッチして曲を選ぶ



選んだ曲を再生します。

■ 再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名、再生中のトラック番号 / フォルダ番号、再生時間などを表示します。

② アルバム名

タイトル情報があれば、アルバム名を表示します。

③ アーティスト名

タイトル情報があれば、アーティスト名を表示します。

④ タイトル名 (曲名)

タイトル情報があれば、曲名を表示します。

⑤ ◀Folder▶

フォルダを選ぶときに使用します。タッチすると、前後のフォルダへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑥ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

⑦ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。リピート再生やスキャン再生などのモードを再生中に表示します。
→「再生モードを変更する」(P57)

⑧ リスト表示

タッチすると、フォルダリストを表示します。
→「リストについて」(P55)

⑨ ◀Track▶

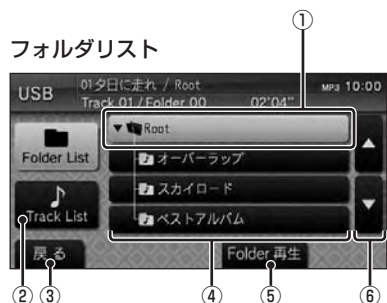
曲を選ぶときに使用します。タッチし続けると早送り、早戻しが行えます。

⑩ 設定

タッチすると、サブメニューを表示します。
→「サブメニューについて」(P56)
[REPEAT]、[SCAN]、[RANDOM]、[解除]などが選べます。

■ リストについて

リストにはフォルダの一覧を表示するフォルダリストとトラックの一覧を表示するトラックリストがあります。



トラックリスト



① 選択中のフォルダ

② **Track List**

タッチすると、トラックリストを表示します。
選択中のフォルダ内の直下にトラックが存在したときに選択できます。

③ **戻る**

タッチすると、再生情報画面に戻ります。
→「再生情報画面について」(P54)

④ フォルダー一覧

USB デバイス内のフォルダー一覧を表示します。(フォルダ名を表示します。)
タッチすると、直下のフォルダの表示 / 非表示を切り換えることができます。
フォルダの直下にトラックが存在する場合は、フォルダアイコンに「♪」を表示します。

⑤ **Folder 再生**

タッチすると、選択中のフォルダの 1 曲目を再生します。
選択中のフォルダ内の直下にトラックが存在したときに選択できます。

⑥ ▲, ▼

タッチすると、フォルダやトラックが選択できます。

⑦ **Folder List**

タッチすると、フォルダリストを表示します。
USB デバイス内にフォルダが存在したときに選択できます。

⑧ **トラック一覧**

Root またはフォルダ内のトラック一覧を表示します。
(ファイル名を表示します。)

■ サブメニューについて

USB デバイスの再生情報画面で [設定] にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。

サブメニューでは、リピート再生やフォルダリピート再生、スキャン再生、フォルダスキャン再生、ランダム再生、オールランダム再生などの設定が行えます。

→ 「再生モードを変更する」(P57)



REPEAT	再生中の曲を繰り返して再生します。
FOLDER REPEAT	再生中の曲があるフォルダを繰り返して再生します。
SCAN	再生中の曲があるフォルダ内のすべての曲が対象で、始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
FOLDER SCAN	USB デバイス内の全フォルダの 1 曲目を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
RANDOM	再生中の曲があるフォルダ内の曲を順不同に再生します。
ALL RANDOM	USB デバイス内の曲すべてを順不同に再生します。
解除	リピートやランダムなど、いずれかのモードが再生中の場合にそれらのモードを解除します。 → 「再生モードを解除する」(P57)

リストを表示する

リストを表示すると、フォルダの階層を確認しながら曲を探ることができます。ここでは、USB デバイスの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 USB デバイスの再生情報画面で リスト表示 にタッチする



リストを表示します。

2 戻る にタッチする

USB デバイスの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [▲],[▼] にタッチしてフォルダやトラックを選ぶことができます。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

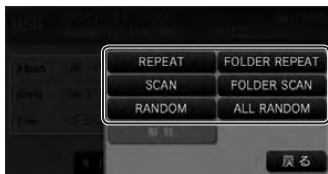
ここでは、USB デバイスの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 USB デバイスの再生情報画面で

設定 にタッチする

サブメニューを表示します。

2 変更したい“モード”にタッチする



再生モード表示



選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 再生モードの内容について、詳しくは「サブメニューについて」(P56)をご覧ください。

再生モードを解除する

リピートやランダム、スキャンなどのモードが再生中の場合にそれらのモードを解除します。

1 いずれかのモード再生中に

設定 にタッチする

再び、サブメニューを表示します。

2 解除 にタッチする



再生モードを解除します。

TV

テレビ機能に関する操作の説明を行います。

※一部機種で別売となります。

はじめに	59	好みの放送局を登録する	78
テレビ機能について.....	59	ホーム CH スキャンを行う.....	78
操作の説明について.....	59	初期ホーム CH スキャン.....	78
受信について.....	59	再ホーム CH スキャン.....	79
各用語について.....	60	ドライブ CH スキャンを行う.....	79
起動する.....	61	初期ドライブ CH スキャン.....	79
		再ドライブ CH スキャンを行う.....	80
地上デジタル TV	62	情報を確認する	81
チューナー本体について.....	62	メールを確認する.....	81
miniB-CAS カードについて.....	62	IC カードを確認する.....	81
miniB-CAS カード取扱上の注意点.....	63	設定一覧を確認する.....	82
miniB-CAS カードについての		ソフトウェアバージョンを確認する.....	82
お問い合わせ先.....	63	その他の操作	83
miniB-CAS カードを入れる.....	63	リモコン番号を変更する.....	83
miniB-CAS カードを抜く.....	64	フルセグとワンセグを切り換える.....	83
		自動ワンセグ切り換えについて.....	84
テレビを見る	65	映像や音声、データを切り換える.....	85
はじめてテレビを見るとき.....	65		
放送局を選ぶ.....	66	ワンセグ	86
表示内容について.....	67	テレビを見る	86
操作パネルについて.....	67	はじめてテレビを見るとき.....	86
ロングバナーについて.....	68	地域設定をやり直す.....	86
走行制限の表示について.....	69	ドライブ CH スキャンを行う.....	86
CH モードを切り換える.....	70	表示内容について.....	87
番組の内容を見る.....	71	CH モードを切り換える.....	88
記号について.....	71	放送局を選ぶ.....	88
データ放送.....	72	放送局を探す	89
データ放送を見る.....	72	受信状態の良い放送局を探す.....	89
データ放送を閉じる.....	72	チャンネルリストで探す.....	89
データ放送用操作パネルを移動する.....	73	番組内容と番組表を見る	90
データ放送用操作パネルについて.....	74	番組の内容を見る.....	90
		番組表を見る.....	90
放送局を探す	75	音声や字幕を切り換える	91
番組表で探す.....	75	音声を切り換える.....	91
現在放送中の番組から探す.....	75	字幕を切り換える.....	91
番組表を取得するには.....	75		
番組表の内容を確認する.....	76		
チャンネルリストから探す.....	76		
系列局を探す.....	77		
受信状態の良い放送局を探す.....	77		

はじめに

テレビ機能について

本機に当社製の専用地上デジタル TV チューナーまたはワンセグチューナー内蔵ナビゲーションユニットが接続されている場合に、本書で説明するテレビ機能をご利用になれます。

操作の説明について

接続する機器によって説明する章が異なりますので、以下の表をご覧ください。説明している章をあらかじめ確認してください。

接続機器	参照する章
① 専用地上デジタル TV チューナー	→ 「地上デジタル TV」 (P62)
② ワンセグチューナー内蔵ナビゲーションユニット	→ 「ワンセグ」 (P86)
③ ワンセグチューナー非内蔵ナビゲーションユニット	テレビ機能はご利用になれません。
④ 地上デジタル TV チューナーを AUX 接続している	地上デジタル TV チューナー同梱の取扱説明書をご覧ください。
⑤ 何も接続されていない	テレビ機能はご利用になれません。

お知らせ

- ① + ② または ① + ③ の組み合わせの場合は、「地上デジタル TV」 (P62) をご覧ください。

受信について

走行にともない、受信状態が変わる場合や障害物などの影響により最適な受信状態を維持できない場合があります。

注意

- テレビをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

- 電車の架線や高圧線、信号機やネオンなどの近くでは、画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 直進性の強い電波のため、建物や山などの障害物があると、受信状態が悪くなることがあります。
- ラジオ放送やアマチュア無線用の送信アンテナ・鉄塔の近くでは画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。
- PPV 番組 (有料番組) に対応していません。
- 地上デジタル TV 放送は放送方式の特性上、従来のアナログ放送に比べチャンネルの切り換え時間が長くなります。

各用語について

本書で説明するテレビ機能の用語について説明します。

放送モードとは

本書では、「フルセグ」と「ワンセグ」の総称を「放送モード」と表記しています。

フルセグとは

家庭用の地上デジタルTV放送のことで、ハイビジョン放送(HDTV)がご覧いただけます。1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち12個のセグメントを使用しています。本書では「フルセグ」と表現しています。

本書では、フルセグのみの機能については

フルセグのみと表記しています。

ワンセグとは

携帯電話やカーナビなどの移動端末向け地上デジタルTV放送のことで

1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち1つのセグメントを使用していることから、「1セグ=ワンセグ」と呼ばれています。

本書では、ワンセグのみの機能については

ワンセグのみと表記しています。

CHモードとは

各用途に応じて、放送局を登録する「ホームCH」、「ドライブCH」、「エリアCH」の総称を本書では「CHモード」と表記しています。

ホームCHとは

お住まいの地域(長期的に滞在する地域)の放送局を登録するためにあります。

ドライブCHとは

旅行先など(一時的に滞在する地域)で放送局を登録するためにあります。

エリアCHとは

位置情報を取得し、そのエリア内で見ることができる放送局を自動的に登録しています。必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

お知らせ

- エリアCHは専用地上デジタルTVチューナーを本機に接続した場合のみの機能となります。
- AUX接続で本機に接続した場合はエリアCHを利用できません。

3桁チャンネル番号とは

マルチ編成でそれぞれの番組を区別するためにリモコン番号と組み合わせられた番号のことです。フルセグでは011番から、ワンセグでは611番から始まります。

リモコン番号とは

放送局ごとに決められているリモコンのボタンの番号です。本機では、画面に表示します。

物理チャンネル番号とは

リモコン番号とは異なり、実際に送信されているテレビのチャンネル番号(13ch～62chまで)のことを言います。

マルチ編成とは

1つのチャンネルで複数のテレビ番組を放送できるサービスです。

EPGとは

Electronic Program Guideの略で、テレビに番組表を表示させるシステムのことで

起動する

テレビ機能を起動します。

1 **MENU** キーを押す

トップメニューを表示します。

2 **TV** を押す



テレビ機能が起動し、テレビ映像を表示します。

アドバイス

- はじめてお使いの場合は、地域設定とホーム CH スキャンを行う画面を表示します。

地上デジタル TV

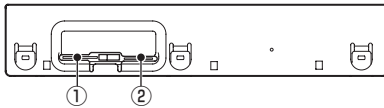
お知らせ

- 専用地上デジタル TV チューナーを接続されていた場合に、本章「地上デジタル TV」で説明するテレビ機能をご利用になれます。
- ワンセグチューナー内蔵ナビゲーションユニットを装着されていた場合は、「ワンセグ」(P86)をご覧ください。
- 地上デジタル TV チューナーを AUX により接続されていた場合は、地上デジタル TV チューナー同梱の取扱説明書をご覧ください。
- 本書では、フルセグのみの機能については **フルセグのみ**、ワンセグのみの機能については **ワンセグのみ** と表記しています。

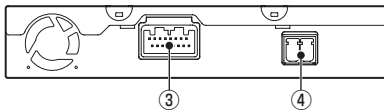
チューナー本体について

チューナー本体の各部の名称を説明します。

カード挿入面



端子面



- ① **miniB-CAS カード挿入口 (P63)**
miniB-CAS カードをここに挿入します。
※ 付属の miniB-CAS カード以外のものを入れないでください。
- ② **microSD カード挿入口**
本機のバージョンアップなどで使用します。
- ③ **電源端子**
電源コードを接続します。
- ④ **ANT 端子**
アンテナケーブルを接続します。

miniB-CAS カードについて

本機には、miniB-CAS カードを付属しています。付属の miniB-CAS カードは地上デジタル TV 放送を視聴していただくためにお客さまへ貸与された大切なカードです。番組の著作権保護のため、miniB-CAS カードを本機に挿入しないと地上デジタル TV 放送を見ることができません。

お知らせ

- miniB-CAS カードの使用許諾契約約款を必ずお読みください。
- 破損や紛失などの場合はただちに B-CAS(株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ)のカスタマーセンターへご連絡ください。
- お客さまの責任で破損・紛失した場合は、再発行費用が請求されます。

■ miniB-CAS カード取扱上の注意点

- ・ダッシュボードの上など、高温になるところに放置しないでください。
- ・折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- ・重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- ・カードのIC面には手を触れないでください。
- ・分解・加工はしないでください。

■ miniB-CAS カードについて のお問い合わせ先

株式会社ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ
カスタマーセンター

電話：0570-000-250
045-680-2868
(IP 電話からの場合)

受付時間：10:00～20:00
(年中無休)

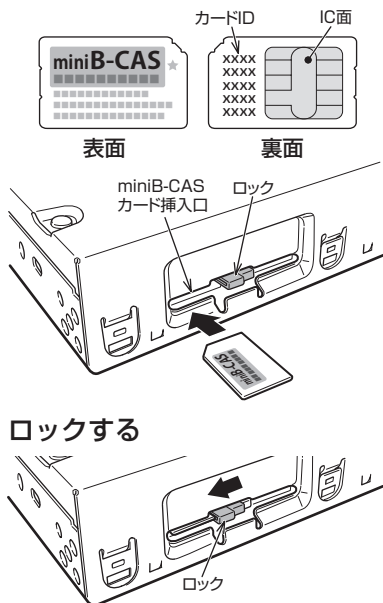
ホームページアドレス：
<http://www.b-cas.co.jp>

■ miniB-CAS カードを入れる

1 イグニッションキーを“OFF”にする

2 miniB-CAS カードを挿入する

miniB-CAS カードの表面を上にして「カチッ」と音がするまでゆっくりと差し込んでください。



3 ロックする

注意

- ・ロックをスライドさせる際に手・指のけがに注意してください。

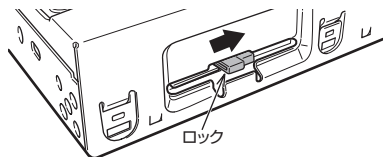
アドバイス

- ・miniB-CAS カードの抜き差しは、必ずイグニッションキーを“OFF”にし本機の電源を切った状態で行ってください。
- ・本機専用の miniB-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
- ・挿入の向きを確認してください。挿入方向を間違えると miniB-CAS カードが機能しません。
- ・画面に miniB-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

■ miniB-CAS カードを抜く

1 イグニッションキーを“OFF”にする

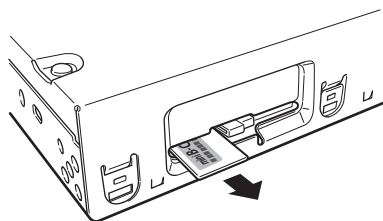
2 ロックを外す



注意

- ロックをスライドさせる際に手・指のけがに注意してください。

3 miniB-CAS カードを「カチッ」と音がするまで押す



カードが飛び出し抜き取れる状態になります。ゆっくりと抜いてください。

アドバイス

- 使用中は miniB-CAS カードを抜き差ししないでください。
- カードには IC(集積回路)が組み込まれているため、画面に miniB-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。カードを抜く必要がある場合は必ずイグニッションキーを“OFF”にし本機の電源を切った状態で行ってください。

テレビを見る

専用地上デジタルTVチューナーでは、フルセグ放送およびワンセグ放送をご覧になります。

はじめてテレビを見るとき

(ホームCHスキャン)

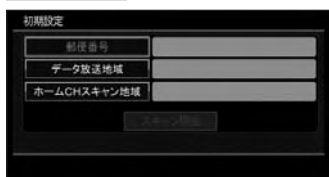
はじめてテレビを見るときは、最初に地域設定とホームCHスキャンを行う必要があります。設定した地域で受信できる放送局を調べ、ホームCHの「リモコン番号」に登録する操作です。

1 **イグニッションキーを“ACC”**
または“ON”にする

2 **MENU** キーを押す

3 **TV** にタッチする

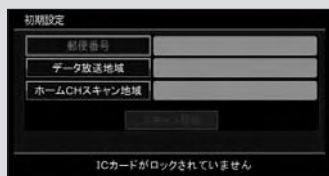
4 **郵便番号** にタッチする



注意

- 本機の miniB-CAS カード用ロックが外れていると、「ICカードがロックされていません」と表示します。ロックは必ず行ってください。

→「miniB-CAS カードを入れる」(P63)



5 “郵便番号”を入力する



6 **入力完了** にタッチする

通常は、郵便番号に対応した都道府県名が自動入力されます。手順11へ進みます。(対応する都道府県名があった場合のみ)

アドバイス

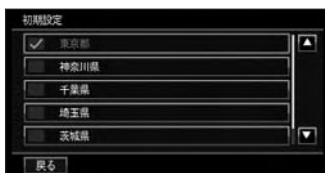
- 入力ミスなどで一文字戻す場合は[後退]にタッチします。
- 郵便番号を設定すると居住地域を自動設定します。

7 **データ放送地域** にタッチする

8 設定したい“地方”にタッチする



9 設定したい“都道府県”にタッチする



10 **ホームCHスキャン地域** にタッチする

この後、手順8～9と同様に“地方”と“都道府県”を設定します。

次のページにつづく

11 スキャン開始 にタッチする



ホーム CH スキャンを開始します。

アドバイス

- 受信状態によりしばらく時間がかかります。
- スキャン中に [中止] にタッチすると、中止します。
- スキャン中に中止した場合は、ホーム CH へ登録される放送局が少なくなる場合があります。

12 完了 にタッチする

受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

アドバイス

- ホーム CH には最大 12 局まで登録することができます。
- 登録している放送局のリモコン番号を変更するには、変更したい“リモコン番号”にタッチします。その後、登録したい“リモコン番号”にタッチします。すでに登録済みのリモコン番号に登録すると、上書き登録します。
- [キャンセル] にタッチした場合はホーム CH に登録されません。
- 放送局を削除するには、削除したい放送局にタッチします。その後、[削除] にタッチします。

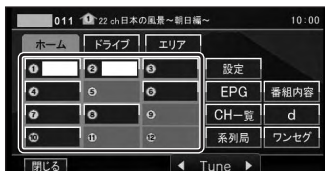
放送局を選ぶ

初期設定のスキャンで登録した放送局を選びます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 見たい放送局の“リモコン番号”にタッチする



選んだ放送局の番組を表示します。

アドバイス

- “Tune”の◀, ▶ にタッチすると、登録した放送局をリモコン番号の順に、または逆順に選局できます。
- CHモードが[ホーム]のとき、“Tune”の◀, ▶ にタッチし続けると、受信可能な放送局の自動選局を開始します。→「受信状態の良い放送局を探す」(P77)
- CHモードが[ドライブ]のとき、“Tune”の▶ にタッチし続けると、初期ドライブ CH スキャン (P79) を行い、◀ にタッチし続けると再ドライブ CH スキャン (P80) を行います。

表示内容について

画面にタッチして表示するテレビの操作画面について説明します。

■ 操作パネルについて



① ノーマルバーナー

受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号および番組名を表示します。

② CHモード

ホーム にタッチすると、ホームCHスキャン(P78)で登録した放送局を選べる操作画面を表示します。

ドライブ にタッチすると、ドライブCHスキャン(P79)で登録した放送局を選べる操作画面を表示します。

エリア にタッチすると、エリアCH(P70)で登録した放送局を選べる操作画面を表示します。(当社製のナビゲーションユニット接続時のみ)

③ リモコン番号 (P66,83)

タッチすると、登録された放送局を表示します。

④ 閉じる

操作パネルを消しテレビ映像のみにします

⑤ 設定 (P81,181,184)

各種設定を行います。

⑥ EPG (P75)

電子番組表 (EPG) を表示します。

⑦ 番組内容 (P71,85)

現在選局中の番組の内容を表示します。

⑧ CH一覧 (P76)

ホームCHスキャン(P78)やドライブCHスキャン(P79)、エリアCH(P70)で登録した放送局のリストを表示します。

⑨ d (P72)

データ放送用操作パネルを表示します。

⑩ ワンセグ/フルセグ (P83)

フルセグとワンセグを切り換えます。タッチし続けることで、自動ワンセグ切り換え(P84)の設定ができます。

⑪ 系列局 (P77)

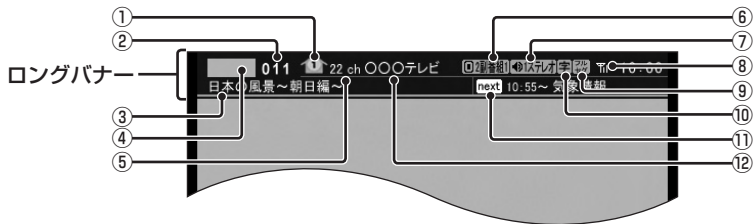
系列局の放送局を表示します。タッチし続けることで系列局サーチを開始します。

⑫ ◀Tune▶ (P66,77,79,80)

リモコン番号の順に放送局を選べます。タッチし続けると受信状態の良い放送局を探します。

■ ロングバナーについて

チャンネルリスト (P76) から選局した後などに表示するロングバナーについて説明します。ノーマルバナー (P67) よりも詳しい情報を表示します。



① CH モード (P70)

ホーム CH やドライブ CH、エリア CH の CH モードを切り換えます。

リモコン番号 (P66)

マーク中の番号は、リモコン番号を表示します。「リモコン番号」をタッチすることで選択できます。「リモコン番号」の割り当てを変更することができます。(P83)

② 3 桁チャンネル番号

複数の番組が放送されているとき、それぞれの番組を区別するためにリモコン番号と組み合わせられた番号を表示します。フルセグでは、011 番から、ワンセグは 611 番から始まります。

③ 番組名

現在放送中の番組名を表示します。

④ ログマーク

放送局のロゴマークまたは放送局名 (省略名) を表示します。




⑤ 物理チャンネル番号

リモコン番号とは異なる、実際に送信されているテレビのチャンネル番号 (13ch ～ 62ch まで) です。

⑥ 映像情報 (P85)

複数の映像があるときに表示します。



⑦ 音声モード

放送中の音声モードを表示します。ステレオなら 、モノラルなら 、サラウンドなら  と表示します。

⑧ 受信強度

受信中の放送局の受信強度を表示します。

⑨ 放送モード (P83)

フルセグを見ているときは 、ワンセグを見ているときは  を表示します。放送モードは切り換えることができます。

⑩ 字幕情報 (P181)

字幕放送中の番組で表示します。「視聴設定」の [字幕 / 音声] で切り換えることができます。

⑪ 次の番組名

次に放送される番組名を表示します。

⑫ 放送局名

放送局名を表示します。

■ 走行制限の表示について

当社製ナビゲーションユニットに接続すると、走行中は操作が制限され、映像は表示されません。



① ソースプレート

現在選ばれている受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号、放送局名および番組名を表示します。

[MENU] キー→ [TV] にタッチした直後にも表示します。

② **ワンセグ/フルセグ** (P83)

フルセグとワンセグを切り換えます。

③ **系列局サーチ** (P77)

系列局サーチを開始します。再度、タッチすると中止します。

④ **ドライブCHスキャン** (P79)

タッチすると、ドライブCHスキャンを行うことができます。

お知らせ

- 走行中は操作が制限され、映像は表示されません。
- 走行中はホームCHスキャンを行うことができません。

CHモードを切り換える

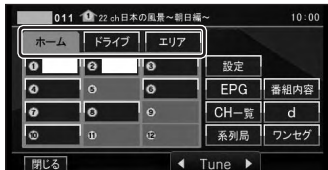
ホーム CH、ドライブ CH、エリア CH を切り換えます。

1 画面にタッチする

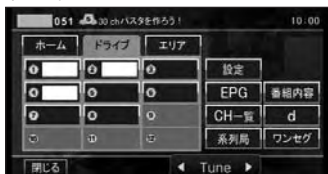
テレビの操作画面を表示します。

2 切り換えたい“CHモード”にタッチする

ホーム CH



ドライブ CH






CHモードが切り換わります。

アドバイス

- AUX 接続でナビゲーションユニットに接続した場合はエリア CH を利用できません。

CHモードについて

ホーム CH 	お住まいの地域（長期的に滞在する地域）の放送局を登録しています。あらかじめ「ホーム CH スキャン」を行う必要があります。 →「はじめてテレビを見るとき（ホーム CH スキャン）」(P.65)
ドライブ CH 	旅行先など（一時的に滞在する地域）で放送局を登録しています。あらかじめ「ドライブ CH スキャン」を行う必要があります。 →「ドライブ CH スキャンを行う」(P.79)
エリア CH 	位置情報を取得し、そのエリア内で見ることができる放送局を自動的に登録しています。必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

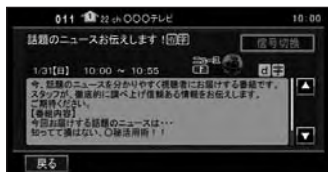
番組の内容を見る

現在選局中の番組の内容を表示します。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 「番組内容」にタッチする



選局中の番組の内容を表示します。

アドバイス

- 放送局の都合により、番組が変更になる場合があります。この場合実際の内容と番組内容が異なることがあります。
- 番組内容を表示中に [信号切換] にタッチすると映像、音声、データ放送の切り換えを行うことができます。
→「映像や音声、データを切り換える」(P85)
- [戻る] にタッチすることで閉じることができます。

■ 記号について

番組内容の画面では記号で番組情報を示しています。

番組属性例

MV	マルチ番組
☐	二重音声
サ	サラウンド
d	データ放送あり
字	字幕あり

ジャンル

以下のマークを表示します。

ニュース 報道	スポーツ
情報 ワイドショー	ドラマ
音楽	バラエティ
映画	アニメ 特撮
ドキュメンタリ 教養	劇場 公演
趣味 教育	福祉
その他	

データ放送

地上デジタル TV 放送では、放送内容に合わせた情報や天気予報などのデータが提供されており、お好みの情報を見ることができます。

アドバイス

- あらかじめ地域設定を行う必要があります。→「はじめてテレビを見るとき(ホーム CH スキャン)」(P65)
- 番組によってはデータ放送がされていない場合があります。
- 番組によっては自動的にデータ放送に切り換わる場合があります。
- 本機はワンセグのデータ放送に対応していません。
- 本機は双方向データサービスに対応していません。

データ放送を見る

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [d] にタッチする

データ放送用操作パネルを表示します。

3 データ放送用操作パネルの [d] にタッチする



データ放送画面を表示します。この後、データ放送用操作パネルでメニューを選択し、操作します。[閉じる]にタッチすると、データ放送用操作パネルを閉じます。

データ放送を閉じる

1 データ放送表示中に画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [d] にタッチする

データ放送用操作パネルを表示します。

3 データ放送用操作パネルの [d] にタッチする



データ放送画面を閉じます。

■ データ放送用操作パネルを移動する

データ放送時のメニューなどが、データ放送用操作パネルで隠れてしまったときに移動することができます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 **d** にタッチする

データ放送用操作パネルを表示します。

3 データ放送用操作パネル以外の部分にタッチする



データ放送用操作パネルが移動します。

アドバイス

- タッチする場所により以下のように移動します。

画面の下側にタッチしたとき



画面の右側にタッチしたとき



画面の左側にタッチしたとき

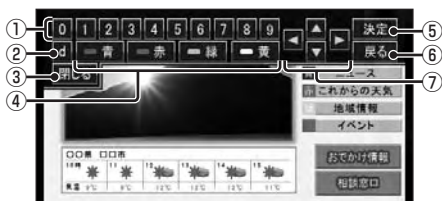


画面の上側にタッチしたとき



- 移動させることができるのは、データ放送用操作パネルのみです。

■ データ放送用操作パネルについて



- ① **0** ~ **9**
タッチすると、数字が割り当てられた項目を選べます。番組によって動作が異なります。
- ② **d**
データ放送画面の表示または非表示を切り換えます。
- ③ **閉じる**
データ放送用操作パネルを閉じます。
- ④ **青**, **赤**, **緑**, **黄**
割り当てられた色の項目を表示します。
- ⑤ **決定**
選んだ項目を決定します。
- ⑥ **戻る**
データ放送のコンテンツ内で 1 つ前の画面に戻ります。番組によって動作が異なります。
- ⑦ **カーソル**
データ放送の項目を選びます。
番組によって動作が異なります。

放送局を探す

いろいろな方法で放送局・番組を探します。

番組表で探す

電子番組表 (EPG) を表示し、見たい番組を探することができます。

■ 現在放送中の番組から探す

現在放送中の番組をリストで確認できます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 EPG にタッチする

現在放送中の番組のリストを表示します。

3 見たい“番組”にタッチする



▼
選択した番組の放送局を選局します。

4 戻る にタッチする

番組表を閉じ、選択した番組を表示します。

アドバイス

- 本機が番組データを取得できていないときには取得できたものから順に表示するため、すべて表示するまでしばらく時間がかかることがあります。

■ 番組表を取得するには

番組表を手動で取得することができます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 EPG にタッチする

3 更新 にタッチする

▼
番組表の取得を開始します。

アドバイス

- 番組データをすべて取得するにはしばらく時間がかかります。
- 取得中に再度 [更新中止] にタッチすると更新を中止します。

■ 番組表の内容を確認する

現在放送中の番組、または8日分の詳細な番組内容を確認することができます。

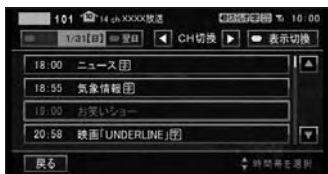
1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

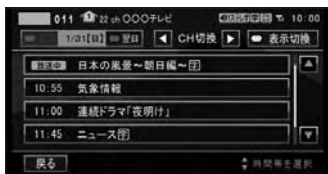
2 EPG にタッチする

3 表示切換 にタッチする

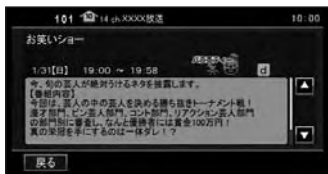
4 “CH 切換” の ◀, ▶ にタッチし、見たい“放送局”を選ぶ



5 前日 または 翌日 にタッチし、見たい日付を選ぶ



6 見たい“番組”にタッチする



番組の詳細な内容を表示します。

アドバイス

- データ取得中は空欄になります。
- 通常番組データは視聴中の放送局からしか取得できません。本機が番組データを取得できていないときには取得できたものから順に表示しますので、すべて表示するまでしばらくかかることがあります。

チャンネルリストから探す

ホーム CH スキャン (P78) やドライブ CH スキャン (P79)、エリア CH (P70) で登録した放送局のリストを表示してリモコン番号の確認や選局が行えます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 CH 一覧 にタッチする

現在見ているホーム CH またはドライブ CH の一覧を表示します。

3 フルセグ、ワンセグ または データ にタッチする



4 見たい“放送局”にタッチする

▼
選択した放送局を選局します。

5 戻る にタッチする

チャンネルリストを閉じ、選択した放送局の番組を表示します。

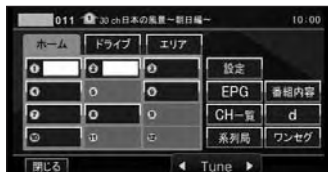
系列局を探す

移動中に受信ができなくなったとき、同じ系列局の放送局に切り換えて、引き続き見ることができます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [系列局] にタッチする



系列局の放送局に切り換わります。

アドバイス

- [系列局] にタッチし続けると系列局サーチを開始します。系列局が見つかったと切り換わります。中止する場合は [中止] にタッチします。また、受信状態によりしばらく時間がかかる場合があります。
- 系列局がない場合や、サーチを行っても見つからない場合があります。また、系列局があった場合でも放送局の都合により同じ番組にならないことがあります。
- 現在見ている番組の放送局がチャンネルリストにない場合は切り換わりません。

受信状態の良い放送局を探す

現在受信可能な放送局を探します。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [ホーム] にタッチする

3 ◀Tune▶ にタッチし続ける



サーチを開始し、受信できる放送局が見つかったと表示します。

アドバイス

- 放送局が見つかるまでサーチを行います。中止する場合は [中止] にタッチします。
- 電波状況によってはサーチを行っても放送局が見つからない場合があります。
- ホーム CH またはエリア CH のときのみ操作が可能です。(エリア CH はエリア CH に対応しているナビと接続している場合のみです。)

好みの放送局を登録する

受信可能な放送局を探し、ホーム CH やドライブ CH に放送局を登録します。

ホーム CH スキャンを行う

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）が変わったときや新しい放送局が開局されたときなどに行います。

■ 初期ホーム CH スキャン

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）が変わったときなどに行います。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [設定] にタッチする

3 [初期設定] にタッチする

4 [ホーム CH スキャン] にタッチする

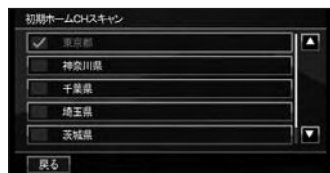
5 [初期ホーム CH スキャン] にタッチする

6 [居住地域] にタッチする

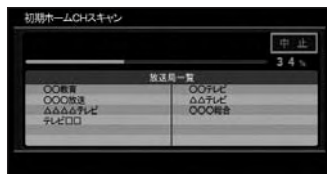
7 “地方” にタッチする



8 “都道府県” にタッチする

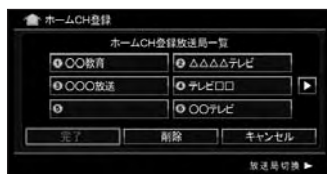


9 [スキャン開始] にタッチする



初期ホーム CH スキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

10 [完了] にタッチする



受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

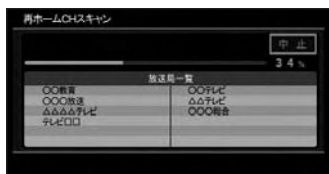
アドバイス

- ホーム CH には最大 12 局まで登録することができます。
- 登録している放送局のリモコン番号を変更するには、変更したい“リモコン番号”にタッチします。その後、登録したい“リモコン番号”にタッチします。すでに登録済みのリモコン番号に登録すると、上書き登録します。
- [キャンセル] にタッチした場合はホーム CH に登録されません。
- 放送局を削除するには、削除したい放送局をタッチします。その後、[削除] にタッチします。

■ 再ホーム CH スキャン

新しい放送局が開局されたときなどに行います。

- 1 **画面にタッチする**
テレビの操作画面を表示します。
- 2 **設定** にタッチする
- 3 **初期設定** にタッチする
- 4 **ホーム CH スキャン** にタッチする
- 5 **再ホーム CH スキャン** にタッチする
- 6 **スキャン開始** にタッチする



再ホーム CH スキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

- 7 **表示された内容を確認し、次へ** にタッチする
以降の操作は、「初期ホーム CH スキャン」(P78) の手順 10 以降と同じです。

ドライブ CH スキャンを行う

旅行先など（一時的に滞在する地域）で受信可能な放送局を探し、ドライブ CH のリモコン番号に登録します。

■ 初期ドライブ CH スキャン

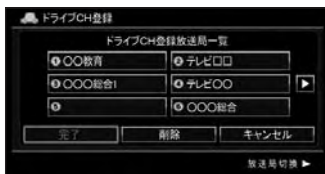
現在のドライブ CH を消して、新たにドライブ CH を登録しなおします。

- 1 **画面にタッチする**
テレビの操作画面を表示します。
- 2 **ドライブ** にタッチする
ドライブ CH に切り換えます。
- 3 **◀Tune▶** の **▶** にタッチし続ける



初期ドライブ CH スキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

- 4 **完了** にタッチする

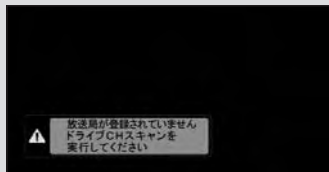


受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

次のページにつづく

アドバイス

- はじめてドライブ CH スキャンを行う場合は、以下の画面を表示します。この画面のときに「Tune」の▶️をタッチし続けてください。



- ドライブ CH は最大 12 局まで登録することができます。
- 登録している放送局のリモコン番号を変更するには、変更したい「リモコン番号」にタッチします。その後、登録したい「リモコン番号」にタッチします。すでに登録済みのリモコン番号に登録すると、上書き登録します。
- [キャンセル] にタッチした場合はドライブ CH に登録されません。
- 放送局を削除するには、削除したい放送局をタッチします。その後、[削除] にタッチします。

■ 再ドライブ CH スキャンを行う

初期ドライブ CH スキャンで登録したチャンネルを消さずに新たに受信できる放送局があったとき追加で登録をします。

アドバイス

- 再ドライブ CH スキャンで登録する放送局の合計が 13 局以上になったときは、追加できない放送局があります。その場合は初期ドライブ CH スキャンを行ってください。

→ 「初期ドライブ CH スキャン」(P79)

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 「ドライブ」にタッチする

ドライブ CH に切り換えます。

3 ◀️Tune▶️ の ◀️ をタッチし続ける



再ドライブ CH スキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

4 表示された内容を確認し、次へにタッチする

以降の操作は、「初期ドライブ CH スキャン」(P79) の手順 4 以降と同じです。

情報を確認する

本機に関する各種情報を確認することができます。

メールを確認する

放送局から送られる放送メールや本機からお知らせする内部メールを確認することができます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 **設定** にタッチする

設定メニューを表示します。

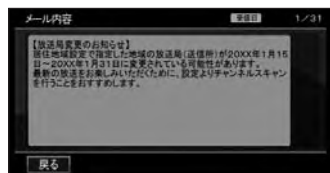
3 **情報確認** にタッチする

4 **メール** にタッチする



メール一覧を表示します。

5 読みたい“メール”にタッチする



選んだメールの内容を表示します。

アドバイス

- [戻る]にタッチするとメール一覧に戻ります。
- メール の保存件数は放送メールと内部メールを合わせて14通までです。14通を超えた場合、既読メールの受信日が古いものから削除されます。すべて未読だった場合でも受信日が古いものから削除されます。

ICカードを確認する

本機に入られている miniB-CAS カードの情報を確認することができます。

1 画面にタッチする

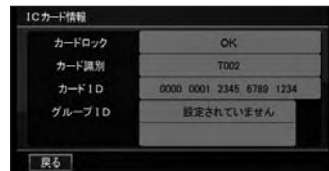
テレビの操作画面を表示します。

2 **設定** にタッチする

設定メニューを表示します。

3 **情報確認** にタッチする

4 **ICカード** にタッチする



miniB-CAS カードの情報を表示します。

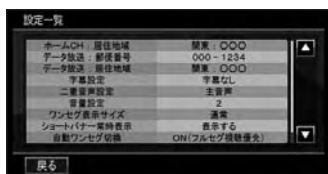
注意

- 「カードロック」が「ICカードがロックされていません」と表示されていた場合は、本機の miniB-CAS カード用ロックが外れています。ロックは必ず行ってください。
→「miniB-CAS カードを入れる」(P63)

設定一覧を確認する

本機の各種設定状況を確認することができます。

- 1 **画面にタッチする**
テレビの操作画面を表示します。
- 2 **設定** にタッチする
設定メニューを表示します。
- 3 **情報確認** にタッチする
- 4 **設定一覧** にタッチする



設定一覧を表示します。

ソフトウェアバージョンを確認する

本機のソフトウェアバージョンを確認することができます。

- 1 **画面にタッチする**
テレビの操作画面を表示します。
- 2 **設定** にタッチする
設定メニューを表示します。
- 3 **情報確認** にタッチする
- 4 **S/Wバージョン** にタッチする



本機のソフトウェアバージョンを表示します。

その他の操作

リモコン番号を変更する

登録しているリモコン番号 (P60) を変更することができます。

- 1 画面にタッチする
テレビの操作画面を表示します。
- 2 変更したい“リモコン番号”
にタッチする
- 3 変更先の“リモコン番号”
をタッチし続ける



変更先のリモコン番号への登録が完了します。

お知らせ

- 同じ放送局を複数の“リモコン番号”に登録することはできません。変更前のリモコン番号は登録が解除されます。

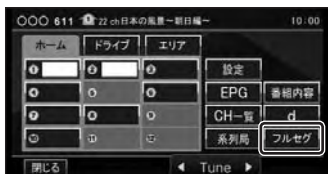
フルセグとワンセグを切り換える

フルセグとワンセグの切り換えについて説明します。

- 1 画面にタッチする
テレビの操作画面を表示します。
- 2 [ワンセグ / フルセグ] にタッチする



ワンセグ



[ワンセグ / フルセグ] をタッチするたびにフルセグ→ワンセグ→フルセグと切り換わります。

■ 自動ワンセグ切り換えについて

フルセグからワンセグへの自動切り換えの設定を変更します。

アドバイス

- 工場出荷時、フルセグを優先的に視聴する設定になっています。ワンセグ優先にしたい場合や、手動切り換えのみの設定にしたい場合にこの設定を行います。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [ワンセグ/フルセグ]にタッチし続ける



[ワンセグ/フルセグ]にタッチし続けるたびに「ON(フルセグ視聴優先)」→「ON(ワンセグ視聴優先)」→「OFF」と切り換わります。

ON(フルセグ 視聴優先)	フルセグの受信状態が著しく悪くなったときに自動でワンセグに切り換えます。可能な限り高画質な状態で視聴したい方にお勧めします。
ON(ワンセグ 視聴優先)	フルセグの受信状態が少しでも悪くなると自動でワンセグに切り換えます。安定した受信状態で視聴したい方にお勧めします。
OFF	自動切り換えを行いません。 [ワンセグ/フルセグ]にタッチする操作でのみ切り換えます。

アドバイス

- 「受信機設定」の[自動選局]でも設定を変更することができます。
→「TVの設定」(P181)
- 地上デジタルTV放送では、1つの放送局が複数の番組を送信することが可能です。また一部の番組では、フルセグとは異なるワンセグ独自サービスを行っています。
このような場合、自動ワンセグ切換をON(フルセグ視聴優先/ワンセグ視聴優先)に設定していると、ワンセグに切り換わったとき、番組内容が異なることがあります。同じ番組を続けて見たい場合は、自動ワンセグ切換をOFFに設定してお使いください。

映像や音声、データを切り換える

現在見ている番組で、複数の映像や音声、データ放送の情報があるときに切り換えることができます。

1 画面にタッチする

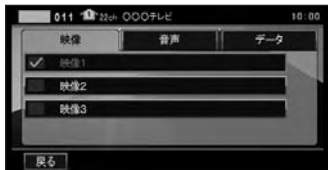
テレビの操作画面を表示します。

2 「番組内容」にタッチする

番組の内容を表示します。

3 「信号切換」にタッチする

4 「映像」、「音声」または「データ」にタッチする



5 切り換えたい「情報」にタッチする



選択した設定にチェックマークがつき情報が切り換わります。

映像について

1つのチャンネルでアングルの違う映像などが複数あるときに切り換えることができます。

音声について

1つのチャンネルで同時に「主音声」、「副音声」に分けた2種類の言語を放送しているとき(ニヶ国語放送)に切り換えることができます。また、二重音声放送の場合は、[視聴設定]→[字幕/音声]の「二重音声設定」で切り換えることができます。

→「TVの設定」(P181)

データについて

複数のデータ放送があるときに切り換えることができます。

ワンセグ

テレビを見る

ワンセグチューナー内蔵ナビゲーションユニットのワンセグ機能について説明します。

お知らせ

- ワンセグチューナー内蔵ナビゲーションユニットを装着されていた場合に、本章「ワンセグ」で説明するテレビ機能をご利用になれます。
- 専用地上デジタルTVチューナーを接続されていた場合は、「地上デジタルTV」(P62)をご覧ください。
- 地上デジタルTVチューナーをAUXにより接続されていた場合は、地上デジタルTVチューナー同梱の取扱説明書をご覧ください。

はじめてテレビを見るとき

(ホームCHスキャン)

はじめてテレビを見るときは、最初に地域設定を行う必要があります。設定した地域で受信できる放送局を調べ、ホームCHのリモコン番号に登録する操作です。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 地域設定 にタッチする

3 お住まいの“地域”にタッチする



自動でホームCHスキャンを開始します。スキャンを中止したいときは、[中止]にタッチします。スキャンが完了すると、ホームCHのリモコン番号に各放送局を登録します。

■ 地域設定をやり直す

地域設定をやり直すには、再度[地域設定]にタッチしてください。

ドライブCHスキャンを行う

旅行先など(一時的に滞在する地域)で受信可能な放送局を探し、ドライブCHのリモコン番号に登録します。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

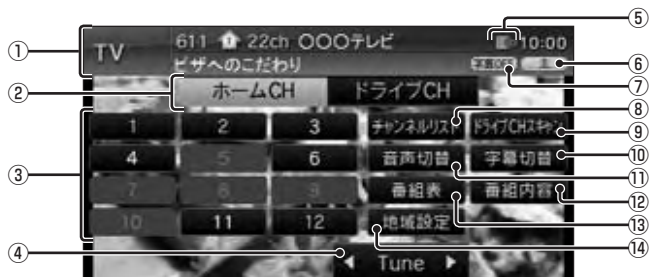
2 ドライブCHスキャン にタッチする



ドライブCHスキャンを開始します。スキャンを中止したいときは[中止]にタッチします。スキャンが完了すると受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

表示内容について

画面にタッチして表示するテレビの操作画面について説明します。



① ソースプレート

現在選ばれているソース名、受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号、放送局名および番組名を表示します。

② CHモード (P88)

ホームCH、ドライブCHのCHモードを切り換えます。



③ リモコン番号

登録された放送局を表示します。(P88)
ホームCHスキャン(P86)やドライブCHスキャン(P86)を行うと自動登録します。

④ ◀Tune▶ (P88,89)

リモコン番号の順に放送局を選べます。
タッチし続けると受信状態の良い放送局を探します。

⑤ 電波の状態

: 電波あり
: 電波なし

⑥ 音声情報

現在設定されている音声を表示します。

⑦ 字幕情報

現在設定されている字幕設定を表示します。

⑧ チャンネルリスト (P89)

ホームCHスキャン(P86)やドライブCHスキャン(P86)で登録した放送局のリストを表示します。

⑨ ドライブCHスキャン (P86)

受信可能な放送局を探し、ドライブCHのリモコン番号に登録します。

⑩ 字幕切替 (P91)

字幕放送がある番組でタッチすると、表示、非表示を切り換えます。

⑪ 音声切替 (P91)

二ヶ国語放送や複数の音声がある番組で主音声や副音声に切り換えます。

⑫ 番組内容 (P90)

現在選局中の番組の内容を表示します。

⑬ 番組表 (P90)

電子番組表(EPG)を表示します。

⑭ 地域設定 (P86)

お住まいの地域を設定し、ホームCHスキャンを行います。

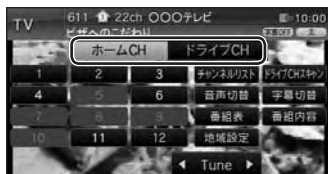
CHモードを切り換える

ホーム CH、ドライブ CH を切り換えます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 切り換えたい“CHモード”にタッチする



CHモードが切り換わります。

アドバイス

- [ドライブ CH] を選ぶ場合はあらかじめ「ドライブ CH スキャン」を行う必要があります。
→「ドライブ CH スキャンを行う」(P86)

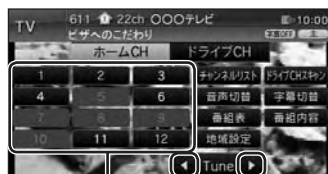
放送局を選ぶ

ホーム CH スキャンが完了していれば、お好みの放送局を選ぶことができます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 見たい放送局の“リモコン番号”にタッチする



リモコン番号

選んだ放送局の番組を表示します。

アドバイス

- “Tune”の◀, ▶にタッチすると、登録した放送局をリモコン番号の順に、または逆順に選局できます。
- “Tune”の◀, ▶にタッチし続けると、受信可能な放送局の自動選局を開始します。→「受信状態の良い放送局を探す」(P89)

放送局を探す

放送局の探し方を説明します。

受信状態の良い放送局を探す

現在受信可能な放送局を探します。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 ◀Tune▶ にタッチし続ける



シークを開始し、受信できる放送局が見つかり则表示します。

アドバイス

- 放送局が見つかるまでシークを行います。中止する場合は [中止] にタッチします。
- 電波状況によってはシークを行っても放送局が見つからない場合があります。

チャンネルリストで探す

ホーム CH スキャン (P86) やドライブ CH スキャン (P86) で登録した放送局のリストを表示してリモコン番号の確認や選局が行えます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 チャンネルリスト にタッチする

チャンネルリストを表示します。

3 ▲ または ▼ にタッチし、見たい“放送局”を選ぶ



4 決定 にタッチする



選んだ放送局を表示します。

番組内容と番組表を見る

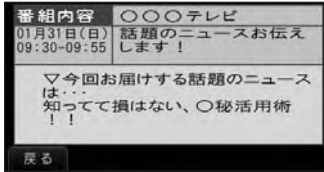
番組の内容を見る

現在選局中の番組の内容を表示します。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 番組内容 にタッチする



選局中の番組の内容を表示します。

アドバイス

- 放送局の都合により、番組が変更になる場合があります。この場合実際の内容と番組内容が異なることがあります。

番組表を見る

電子番組表 (EPG) を表示します。

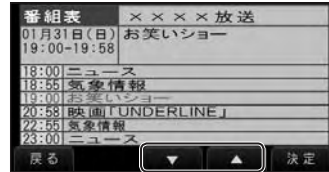
1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

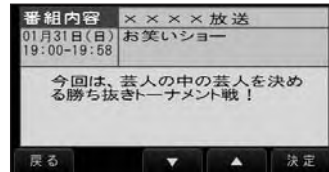
2 番組表 にタッチする

番組表を表示します。

3 ▲ または ▼ にタッチし、番組を選ぶ



4 決定 にタッチする



番組の内容を表示します。

アドバイス

- 通常番組データは視聴中の放送局からしか取得できません。本機が番組データを取得できていないときには取得できたものから順に表示しますので、すべて表示するまでしばらくかかることがあります。

音声や字幕を切り換える

複数の音声や字幕のある番組で行えます。

音声を切り換える

二ヶ国語放送や複数の音声がある番組で主音声や副音声に切り換えます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [音声切換] にタッチする



[音声切換] にタッチするたびに「主＋副」
→「主」→「副」と切り換わります。

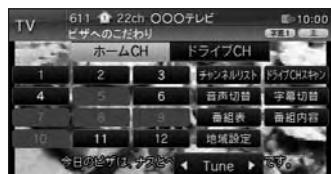
字幕を切り換える

字幕放送がある番組で表示、非表示を切り換えます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [字幕切換] にタッチする



[字幕切換] にタッチするたびに「字幕 OFF」
→「字幕 1」→「字幕 2」と切り換わります。

NAVI

ナビゲーション機能に関する操作の説明を行います。

※一部機種で別売となります。

基本操作	95	案内表示について	106
ナビゲーション機能について	95	交差点案内図.....	106
ナビゲーションとは.....	95	都市高速入口イラストマップ.....	106
GPS(Global Positioning System).....	95	料金所案内図.....	106
マップマッチング.....	95	レーン情報表示.....	107
GPS アンテナについて.....	95	3D リアルジャンクション.....	107
地図データについて.....	95	地図を操作する	108
測位について.....	95	スケールの切り換え.....	108
測位が正確にできない場合.....	95	フリーズーム機能.....	108
誤差について.....	95	地図をスクロールする.....	108
3次元測位について.....	96	スクロールの微調整.....	109
2次元測位について.....	96	スクロール方面名称表示について... ..	109
非測位について.....	96	設定 / 検索メニューからの操作	110
ルートの探索方法について.....	96	目的地に設定する.....	110
ルートの案内について.....	97	経由地に設定する.....	110
ナビゲーションを操作するときの注意.....	97	登録地に設定する.....	111
ナビ画面について	98	周辺の施設を探す.....	111
地図表示内容について.....	98	文字入力のしかた	112
現在地画面.....	98	入力できる文字の種類.....	113
スクロール画面.....	99	ひらがな.....	113
起動する.....	100	カタカナ.....	113
NAVI メニューを表示する.....	100	アルファベット.....	113
行き先.....	100	数字.....	113
ルート編集.....	101	記号.....	113
情報・設定.....	101	繰り返しタッチについて.....	114
設定 / 検索メニューを表示する.....	102	ひらがな.....	114
サブメニューを表示する.....	102	カタカナ.....	114
現在地画面を表示する.....	103	アルファベット.....	114
地図画面を選択する	104		
地図の種類について.....	104		
スタンダード.....	104		
高速略図.....	104		
地図の基準向きについて.....	105		
北基準.....	105		
自車基準.....	105		

目的地の設定 115

自宅・よく行く地点を目的地に設定する...	115
探した場所を目的地に設定する	116
検索方法選択画面について	117
場所を探す	118
施設ジャンルから探す	118
検索結果を並び換える	119
検索結果を絞り込む	120
駐車場のある施設について	120
住所から探す	121
番地を直接入力する	121
施設名称を入力して探す	122
周辺の施設を探す	123
電話番号から探す	124
自宅・よく行く地点を呼び出す	124
登録地を呼び出す	125
検索履歴を利用する	125
検索履歴を消去する	126
探索条件設定画面について	127

ルートの確認・変更 128

ルートの確認	128
次に曲がる交差点を確認する	128
ルートを確認する	128
確認方法の種類	128
全ルートを確認する	129
地図上のアイコン種類	129
目的地・経由地の位置を確認する	129
詳細情報を確認する	130
デモ走行を見る	130
終了するには	130
ルートの変更	131
探索条件を変更する	131
経由地がない場合	131
経由地がある場合	132
探索条件の種類について	132

経由地の設定・変更	133
経由地を設定する	133
経由地を追加する	133
経由地を変更する	134
検索方法選択画面について	134
経由地を消去する	135
経由地を並び替える	135
5つのルートから選ぶ	136
迂回ルートを探索する	137
サブメニューからの操作	137
別ルートを探索する	137
サブメニューからの操作	137
ルートを消去する	137
VICS 規制を回避する	138

登録地の設定 139

自宅を登録する	139
よく行く地点を登録する	140
登録地を設定する	141
現在地を登録する	141
探した場所を登録する	141
登録地を変更する	143
登録地情報を変更する	143
登録地情報画面について	143
名称	143
サウンド	144
進入方位・距離	144
電話	145
場所	145
地点マーク	145
リストの順序を変更する	146
順序の種類について	146
登録地を消去する	146
1件消去する	146
選択して消去する	147
全件消去する	147

各種情報を調べる	148
高速道路情報について	148
表示内容について.....	148
IC 料金表示について.....	149
表示するには.....	149
各エリアの情報を確認する.....	150
JCT を選択した場合.....	150
車両位置情報を確認する	151
表示内容について.....	151
表示するには.....	152
天空図の表示を切り換える.....	152
FM 文字情報を見る	153
表示するには.....	153
プリセット済の場合.....	154
番組を表示する.....	154
緊急情報の受信について.....	155
放送局を変更する.....	155
プリセット選局で変更する.....	155
サーチで変更する.....	156
マニュアルで変更する.....	156
放送局を登録する.....	157
バージョンを確認する	158
表示するには.....	158
バージョンアップ方法.....	158

VICS 機能	160
VICS について	160
VICS のメディアと特徴.....	160
VICS 情報のレベル.....	160
レベル 1 (文字).....	160
レベル 2 (簡易図形).....	160
レベル 3 (地図).....	160
表示内容について.....	161
VICS 記号について.....	162
VICS センターへのお問い合わせ.....	162
(財)VICs センター.....	162
交通情報を調べる	163
現在地周辺を調べる.....	163
スクロール地点周辺を調べる.....	164
高速道路を調べる.....	164
文字・図形情報を見る.....	164
VICS による自動処理	165
ルート自動更新.....	165
緊急情報の割り込み表示.....	165
再表示するには.....	165
VICS 局を選ぶ	166
自動選局.....	166
県指定.....	166
周波数指定.....	166

基本操作

ナビゲーション機能について

ナビゲーションユニットが本機に装着されている場合に、本書で説明するナビゲーション機能をご利用になれます。

ナビゲーションとは

ナビゲーションとは、自車の位置を測定して、設定した目的地までのルートを案内するシステムのことで、地図上に表示される自車の位置は、「GPS」と「マップマッチング」という機能で測定されます。

■ GPS(Global Positioning System)

GPS 衛星を利用して位置を検出するシステムを「GPS」といいます。この GPS 衛星の電波を受信して約 30 ～ 200m の誤差で自車の位置を測位します。

- 自車の位置を測位するには、見晴らしのよい場所で 2 分程度かかります。本機を最初に使用するときや、長時間使用しなかったときは、自車の位置を測位するまでに 5 分程度かかります。
- GPS 衛星はアメリカ合衆国の国防総省が管理しており、故意に位置精度を落とすことがあります。このとき、自車の位置が正しく表示されないことがあります。

■ マップマッチング

自車の走行軌跡データと地図データ上の道路形状を比較して、走行中の道を推測して地図に表示する機能を「マップマッチング」といいます。

注意

- ナビゲーションで表示される地図や交通規制は地図データ作成時の各種情報に基づいて作成されていますので、実際の道路や交通規制と異なる場合があります。実際の道路や交通規制に従って走行してください。

GPS アンテナについて

自車の位置は、GPS 衛星からの微弱な電波を「GPS アンテナ」で受信して測位しています。

アドバイス

- GPS 衛星からの電波がさえぎられると、自車の位置が正しく表示されないことがありますので以下のことをお守りください。
- ウィンドウガラスに鏡面タイプやカーボン含有のフィルムを貼らないでください。
 - GPS アンテナの上や周辺にものを置いたり、ETC アンテナを取り付けたりしないでください。
 - 携帯電話や PHS、パソコンなどを GPS アンテナの近くで使用しないでください。

地図データについて

地図データは誤字・脱字・位置ずれなどある場合があります。

測位について

■ 測位が正確にできない場合

トンネルの中やビル内の駐車場、高層ビルで囲まれているような場所、山や樹木で囲まれているような場所、高速道路や電車の高架下などは GPS 衛星から電波を受信できないことがあります。この場合、測位はジャイロセンサーと車速センサーによる自立航法になりますので、正確な自車位置の測位ができなくなる場合があります。

■ 誤差について

GPS 衛星から電波を受信できないとき、誤差が生じやすくなり、自車位置が正しく表示されないことがあります。

しばらく走行して GPS 衛星から電波を受信できるようになると、現在地のずれは自動的に修正されます。

自車位置が正しく表示されない原因

- ・ 高速道路と一般道路が近くにあるとき
- ・ 碁盤目状の道路を走行しているとき
- ・ 勾配の急な山岳路を走行しているとき
- ・ 直線路を長い間走行した後、右左折したとき
- ・ エンジンスイッチ ON 直後
- ・ 渋滞中や駐車場などの低速走行しているとき（車種によっては低速走行時に車速信号を出力していないため）
- ・ タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- ・ ターンテーブルなどで旋回したとき
- ・ 角度が小さい Y 字路を走行しているとき
- ・ フェリーなどで車両運搬移動した後
- ・ 立体駐車場やらせん状の道路を走行しているとき
- ・ 広い道路で蛇行運転しているとき
- ・ 応急用タイヤなどに交換したとき
- ・ 雪道や砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき

■ 3次元測位について

4 個以上の GPS 衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できる場合、緯度、経度、標高の 3 次元の位置を計算します。

→「車両位置情報を確認する」(P151)

■ 2次元測位について

3 個以上の GPS 衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できる状態で 3 次元測位に至らない場合、標高が前回と変わらないと想定して緯度、経度の 2 次元の位置を計算します。この場合 3 次元測位よりも位置精度は低下します。

→「車両位置情報を確認する」(P151)

■ 非測位について

GPS 衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できない場合非測位となります。

→「車両位置情報を確認する」(P151)

ルートの探索方法について

- ・ ルート案内で表示されるルートは目的地までの参考ルートであって必ずしも最短ルートではありません。また渋滞情報を考慮したルート案内とはなっていません。
- ・ すべての道路がルート案内の対象道路ではありません。
- ・ 探索条件で有料優先を選択した場合でも、一般道路を通ったほうがよいと判断される場合は、有料道路を通らないルートを表示することがあります。また、自車位置が有料道路上にある場合や目的地が有料道路上にある場合は、一般優先で探索を選択していても、有料道路を通るルートを表示することがあります。
- ・ フェリーを使うルートは通常の道路より推奨しにくく設定してあります。このためフェリーを使ったほうが早く目的地に到着する場合でも、フェリーを使わないルートを表示することがあります。
- ・ 有料道路のインターチェンジ、パーキングエリア、サービスエリアを目的地や経由地にする場合は施設検索および高速略図から選択し、地図をスクロールさせずに設定してください。
- ・ 同じ場所を目的地や経由地に設定した場合でも前回作成したルートと同じにならない場合があります。
- ・ 通行できない歩道や階段などを含むルートを表示する場合があります。
- ・ 目的地まで道がない場合や細い道しかない場合は目的地から離れた場所までのルートを表示する場合があります。
- ・ 道路形状によっては施設に横付けする探索を行うため遠回りのルートを表示する場合があります。
- ・ 長期通行規制などがあった場合、規制情報を考慮したルートを探る場合があります。
- ・ 冬季通行止めなどは一部対応していないものや期間が実際と異なる場合があります。

ルートの案内について

- ルート探索をして自車がルート上のときは目的地または次に通過する経由地までの距離を表示します。
- ルート探索をして自車がルート外の場合は目的地や経由地までの距離と到着予想時刻がグレーで表示され、ルートから外れた場所から目的地または経由地までのルートの距離を表示します。
- 走行中は、道路の表示量が制限されるため表示されない道路があります。(細街路など)
- 目的地への到着予想時刻表示は、当社地図データに格納されている所要時間データを元に走行情報を学習して算出しています。
- 交差点で曲がるのに交差点名称の案内や音声案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をする場合があります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点などで曲がったときなどに、外れる前のルートに対する音声案内をする場合があります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。

ナビゲーションを操作するときの注意

- ルート案内中は、必ず実際の交通規制に従ってください。交通事故の原因になる恐れがあります。
- ルートはSDカード内の地図データを使って探索します。実際の工事規制や一方通行などの通行規制と異なることがあります。必ず、実際の交通規制に従ってください。
- 時間規制などの交通情報はルート探索した時刻のものが反映されます。運転の際は必ず実際の交通規制に従ってください。
- 自車が移動した距離は、スピードセンサー(タイヤの回転数に比例)で測定しています。新品または規格外のタイヤを装着しているときやタイヤの空気圧が適正でないときは、誤差が生じやすくなり、自車の位置が正しく表示されないことがあります。
- ルートは、目的地周辺までの参考ルートです。最短ルート、渋滞していないルートではありません。
- 走行中は道路の表示量が制限され、表示されない道路があります。
- 目的地までの距離が極端に近い、または遠いときはルートが探索できないことがあります。
- ルートを外れて走行しても、自動的にルートを再探索します。
- 到着予想時刻は、道路状況や運転のしかたによって変化します。
- 走行中は一部操作に制限がかかります。走行中の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。

ナビ画面について

ナビの地図画面や各メニュー画面の表示内容について説明します。

アドバイス

- 各メニューの項目はナビの設定や走行状態により変化し、表示されない項目もあります。
- 本書のナビ画像は説明用に一部ランドマークを非表示にしています。

地図表示内容について

地図画面には現在地画面とスクロール画面 (P99) があります。

■ 現在地画面

[現在地] にタッチしたときに表示される現在地画面の表示内容について説明します。



① 方位アイコン

タッチで地図切換画面を表示します。
→「地図画面を選択する」(P104)

② スケールアイコン

表示されている地図のスケールを示します。
タッチでスケールを変更します。
→「スケールの切り換え」(P108)

③ VICS アイコン

VICS の提供時刻を表示します。

④ 交差点案内アイコン

次に曲がる交差点までの距離および曲がる方向を示します。タッチで交差点案内図を表示します。
→「次に曲がる交差点を確認する」(P128)

⑤ NAVIメニュー

タッチで NAVI メニューを表示します。
→「NAVIメニューを表示する」(P100)

⑥ 目的地 / 経由地情報

目的地または経由地の到着予想時刻、方向および距離を示します。自車が経路から外れるとグレーで表示されます。そのときの時刻と距離は、経路外となった場所から目的地または経由地までの到着予想時刻と距離になります。

⑦ 時計

24 時間制で現在時刻を表示します。

⑧ ルート案内マーク

ガイドされる道路が矢印で表示されます。
[表示の設定] の「探索ルート」で [線] に変更することもできます。
→「ナビの設定」(P185)

⑨ 自車位置マーク

矢印が車の位置を示し、矢印の向きが進行方向を示します。

⑩

タッチで「サブメニュー」を表示します。
→「サブメニューを表示する」(P102)

■ スクロール画面

地図スクロール(P108)を行ったときに表示されるスクロール画面の表示内容について説明します。



① 自転車位置までの距離

＋マークから自転車位置までの距離を表示します。

② 11 マーク

設定された経由地 (P133) を 11 マークで示します。

経由地は5つまで設定でき、通過する順に 1, 2, 3, 4, 5 と表示します。

③ 十 マーク

スクロールした場所の中心地点に表示されます。実行可のときはオレンジ色で表示し、実行不可のときは白色で表示します。

④ 戻る

タッチで1つ前に戻ります。

⑤ マーク

設定された目的地 (P115) を ⑤ マークで示します。

⑥ 現在地

タッチで現在地画面 (P98) を表示します。

⑦ 微調整

タッチで 十 マーク位置を微調整できます。
→「スクロールの微調整」(P109)

⑧ ランドマーク

商標や観光地などをマークで示します。

⑨ 決定

タッチで「設定 / 検索メニュー」(P102) を表示します。
目的地や経由地、登録地の設定が行えます。

アドバイス

- 道幅の狭い一部の道路 (細街路) は走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。
- ⑧ランドマークは [表示の設定] の「ランドマーク」を [表示しない] に設定すると地図画面から表示を消すことができます。→「ナビの設定」(P185)
- ⑧ランドマークは [表示の設定] の「ランドマーク選択」を設定することで種類ごとに表示有無を変更できます。→「ランドマークの表示を個別に設定する」(P190)

起動する

ナビゲーション機能を起動します。

1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 NAVI にタッチする

ナビゲーション機能が起動します。

NAVI メニューを表示する

目的地の設定やルート編集、情報の表示、各種設定がこのメニュー画面から行えます。

1 現在地画面で NAVI メニューにタッチする



「NAVI メニュー」を表示します。

■ 行き先

「NAVI メニュー」で [行き先] にタッチすると表示します。目的地を設定するときや場所を探すときに使用します。



ルート編集	設定済みのルートを編集や削除するときに使用します。 →「ルート編集」(P101)
情報・設定	各種情報の確認やナビの設定を行うときに使用します。 →「情報・設定」(P101)
ジャンル	コンビニやガソリンスタンドなど、分類ごとに場所を探すことができます。 →「施設ジャンルから探す」(P118)
よく行く地点	よく行く地点を登録することができます。→「よく行く地点を登録する」(P140) また、登録したよく行く地点を目的地に設定することができます。→「自宅・よく行く地点を呼び出す」(P124)
住所	住所から目的地を設定することができます。 →「住所から探す」(P121)
施設名称	名称を入力して施設を探し、目的地に設定することができます。 →「施設名称を入力して探す」(P122)
周辺施設	現在地や目的地、ルート周辺の施設を探すことができます。 →「周辺の施設を探す」(P123)
電話番号	電話番号を入力して施設を探し、目的地に設定することができます。→「電話番号から探す」(P124)
登録地	あらかじめ登録された地点を目的地に設定することができます。 →「登録地を呼び出す」(P125)
検索履歴	検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがある地点などは、検索履歴として残り、再度目的地に設定することができます。 →「検索履歴を利用する」(P125)
現在地	現在地画面 (P98) を表示します。
自宅	自宅を登録することができます。 →「自宅を登録する」(P139) また、登録した自宅を目的地に設定することができます。 →「自宅・よく行く地点を目的地に設定する」(P115)

■ ルート編集

「NAVIメニュー」で [ルート編集] にタッチすると表示します。

設定済みのルート編集や消去するときに使います。



■ 情報・設定

「NAVIメニュー」で [情報・設定] にタッチすると表示します。

各種情報の確認やナビの設定を行うときに使います。



行き先	目的地を設定するときや場所を探すときに使用します。 → 「行き先」(P100)
情報・設定	各種情報の確認やナビの設定を行うときに使用します。 → 「情報・設定」(P101)
ルート編集	経由地の設定(P133)や探索条件の変更(P131)などが行えます。
迂回ルート	距離を指定して前方を迂回するルートを設定することができます。 → 「迂回ルートを探索する」(P137)
デモ開始	作成したルートを仮想的に走行させ確認することができます。 → 「デモ走行を見る」(P130) デモ走行中は「デモ終了」となり、タッチするとデモ走行を終了します。
ルート消去	作成した目的地や経由地を削除することができます。 → 「ルートを消去する」(P137)
別ルート	現在のルートとは別のルートを探し、選ぶことができます。 → 「別ルートを探索する」(P137)
現在地	現在地画面(P98)を表示します。

行き先	目的地を設定するときや場所を探すときに使用します。 → 「行き先」(P100)
ルート編集	設定済みのルートを編集や削除するときに使用します。 → 「ルート編集」(P101)
FM文字情報	FM多重放送による文字情報を確認することができます。 → 「FM文字情報を見る」(P153)
NAVI設定	ナビに関する環境を設定/変更することができます。 → 「ナビの設定」(P185)
車両位置情報	標高や方位、GPS衛星の受信数、緯度/経度を確認することができます。 → 「車両位置情報を確認する」(P151)
バージョン情報	地図データのバージョンを確認することができます。 → 「バージョンを確認する」(P158)
現在地	現在地画面(P98)を表示します。

設定 / 検索メニューを表示する

スクロール (P108) した **+** 地点を目的地に設定したり登録地に設定したりすることができます。

アドバイス

- 検索結果で表示される地図画面からも [決定] にタッチすることで、「設定 / 検索メニュー」を表示することができます。

1 スクロール画面で、**決定** にタッチする



「設定 / 検索メニュー」が表示され、**+** マークから **+** マークに変わります。

ここへ行く	+ 地点を目的地に設定することができます。→「目的地に設定する」(P110)
ここへ寄る	+ 地点を経由地に設定することができます。→「経由地に設定する」(P110)
登録する	+ 地点を登録することができます。→「登録地に設定する」(P111)
周辺施設を探す	+ 地点周辺の施設を探ることができます。→「周辺の施設を探す」(P111)
戻る	1 つ前に戻ります。
現在地	現在地画面 (P98) を表示します。

アドバイス

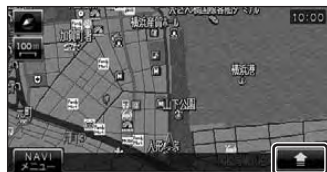
- 目的地 / 登録地を設定する際、**+** 地点に有料道路や高速道路、トンネルがある場合、どの位置に設定するか選択します。([高速道路]、[有料道路]、[一般道路] または [トンネル] を選択する画面を表示します。)



サブメニューを表示する

ここでは、現在地画面 (P98) から表示するサブメニューの表示方法を説明します。

1 現在地画面で **+** にタッチする



サブメニューを表示します。

アドバイス

- 本書ではサブメニュータッチスイッチを **+** と記載しています。
- +** が表示されている画面であれば、タッチすることでその機能ごとのサブメニューを表示することができます。

現在地画面を表示する

「スクロール画面」(P99) や「NAVIメニュー」(P100)、「設定 / 検索メニュー」(P102) などから現在地画面 (P98) を表示することができます。

1 現在地 にタッチする



現在地画面を表示します。

アドバイス

- ・ [現在地] のタッチスイッチが表示されている場合は、どの画面からでも現在地画面を表示することができます。

地図画面を選択する

地図の種類や基準向きを切り換えることができます。

1 “方位アイコン” にタッチする

方位アイコン



2 “種類” または “基準向き” のいずれかにタッチする

種類



基準向き



地図の種類または基準向きが切り換わります。

アドバイス

- 地図の種類と基準向きは別々に選択することができます。

地図の種類について

切り換えることのできる地図の種類について説明します。

■ スタンダード

標準的な地図を 1 画面に表示します。



■ 高速路図

現在地を起点とした高速出入り口やサービスエリアの一覧を表示します。



アドバイス

- 高速路図では、さまざまな情報を確認することができます。
→ 「高速道路情報について」(P148)
- 高速路図を選択するには高速道路を走行する必要があります。
- 1 画面 (全面) に表示することはできません。
- 各エリアまでの距離、料金および情報を調べることができます。

地図の基準向きについて

切り換えることのできる地図の基準向きについて説明します。

■ 北基準

北を上とした地図を表示します。



■ 自車基準

自車の進行方向を上とした地図を表示します。



案内表示について

本機では状況に応じて、さまざまな案内を表示します。

交差点案内図

ルート走行中、案内ポイントに近づいたときに音声と共に表示します。

交差点までの距離や交差点名、方面名称を表示します。



手動で表示する場合は、“交差点案内アイコン”にタッチしてください。



交差点案内アイコン

都市高速入口イラストマップ

ルート走行中、都市高速道路に進入する際に表示します。

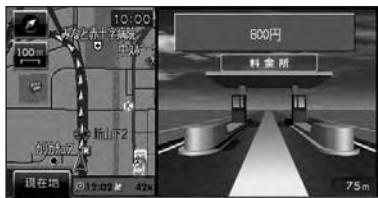


注意

- 自車位置マークは表示されません。
- 同じ入口でも進入方向によっては表示されない場合があります。

料金所案内図

走行中に料金所に近づくと表示します。



注意

- 自車位置マークは表示されません。
- すべての料金所を案内するわけではありません。
- 各種割引料金金は計算されません。

レーン情報表示

走行中に前方の交差点にレーン情報が存在すると表示します。

レーン情報



アドバイス

- 高速略図表示中は表示されません。
- ルート走行中の場合はおすすめレーンが黄色で表示され、ルートに沿って走行できるレーンは水色で表示します。
- 音声による案内も行われます。
- 矢印で指し示した交差点のレーン情報を表示しています。
- すべてのレーンを案内するわけではありません。
- 実際のレーン状況と異なる場合があります。

3D リアルジャンクション

高速道路の分岐点が近づくと、3Dの静止画面で実際の分岐のしかたや行き先、ジャンクション名などをリアルに表示します。



注意

- 自車位置マークは表示されません。
- 実際のジャンクションの形状と異なる場合があります。

地図を操作する

スケールの切り換えや、地図スクロールなどの操作のしかたについて説明します。

スケールの切り換え

広い範囲や詳しい範囲を見ることができます。

1 “スケールアイコン” にタッチする

スケールアイコン



スケール変更バー



スケール変更バーを表示します。

2 [詳細] にタッチする

タッチするたびに詳細に表示します。

3 [広域] にタッチする

タッチするたびに広域に表示します。

■ フリーズーム機能

フリーズーム機能とは通常の縮尺変更でのスケール間を更に4段階で表示する機能です。この機能を使うと徐々にスケールを変更します。

1 “スケールアイコン” にタッチする

スケール変更バーを表示します。

2 [詳細] にタッチし続ける

徐々に詳細な地図へと変化します。

3 [広域] にタッチし続ける

徐々に広域な地図へと変化します。

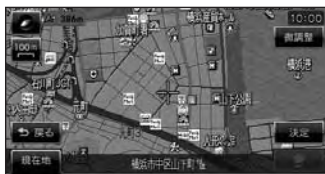
地図をスクロールする

現在地画面から別の場所に移動し、地図を確認したいときに使用します。

アドバイス

- スクロール中、地図の一部が表示されなくなる場合がありますが故障ではありません。

1 見たい場所にタッチする



+ マークを探している場所に合わせます。

アドバイス

- [戻る]にタッチすると現在地画面(P98)に戻ることができます。
- 押し続けることで連続的にスクロールすることができます。
- [決定]にタッチすると「設定 / 検索メニュー」を表示し、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「設定 / 検索メニューからの操作」(P110)

■ スクロールの微調整

スクロール位置の微調整を行います。

1 スクロール後、**微調整**にタッチする

2 方向にタッチする



数回タッチし、微調整を行います。

3 **微調整切**にタッチする

微調整を終了します。

■ スクロール方面名称表示について

スクロールすると4方向に隣接する行政区域名を表示します。



表示される名称はスケールによって異なります。

1km スケール以下	市区町村名
2～10km スケール	都道府県名

アドバイス

- ・ [表示の設定] の「スクロール方面名称」で [表示する] に設定しておく必要があります。→ 「ナビの設定」(P185)

設定 / 検索メニューからの操作

「設定 / 検索メニュー」を表示すると目的地や経由地、登録地などの設定が行えます。

目的地に設定する

スクロール画面 (P99) の **+** 地点を目的地に設定します。

アドバイス

- すでにルートが設定されている場合は、そのルートが消去して **+** 地点を新しい目的地として設定します。

1 「設定 / 検索メニュー」を表示する (P102)

2 **ここへ行く** にタッチする



探索条件設定画面 (P127) を表示します。

3 **案内開始** にタッチする



目的地までのルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

経由地に設定する

スクロール画面 (P99) の **+** 地点を経由地に設定します。

アドバイス

- 目的地を設定している必要があります。

1 「設定 / 検索メニュー」を表示する (P102)

2 **ここへ寄る** にタッチする



探索条件設定画面 (P127) を表示します。

3 **案内開始** にタッチする



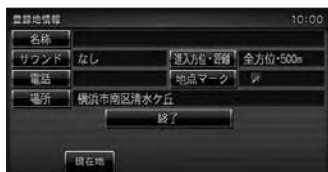
目的地、経由地までのルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

登録地に設定する

スクロール画面 (P99) の **+** 地点を登録地に設定します。

1 「設定 / 検索メニュー」を
表示する (P102)

2 「登録する」 にタッチする



探した場所に **+** マークが表示され、登録地情報画面 (P143) を表示します。

3 「終了」 にタッチする

地点の登録が完了します。

アドバイス

- ここで表示される登録地情報を変更することができます。
→ 「登録地情報を変更する」 (P143)

周辺の施設を探す

スクロール画面 (P99) の **+** 地点周辺の施設を探します。

ここでは、例として **+** 地点周辺のガソリンスタンドを探します。

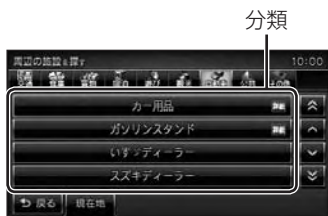
1 「設定 / 検索メニュー」を
表示する (P102)

2 「周辺施設を探す」 にタッチする

3 “ジャンル” の **自動車**
にタッチする



4 “分類” の **ガソリンスタンド**
にタッチする



リストに [詳細] と表示されていない分類を選んだ場合は、手順6に進みます。

5 いずれかの“詳細な分類”
にタッチする



6 探している“施設” にタッチする



選んだ施設周辺の地図と情報を表示します。

文字入力のかた

文字入力キーボードの各メニューについて説明します。



① 入力文字表示部

入力した文字を表示します。
“白色の文字”は現在入力中(繰り返しタッチ中)の文字です。
“オレンジ色の文字”は確定前の文字で[変換]で漢字に変換できます。
“黒色の文字”は、確定済みで変換はできません。

② カーソル

【】で表示され、【】の左側に文字が入力されます。

③ 入力キーボード

タッチで表示されている文字を入力できます。
同じ文字を繰り返しタッチすることで、“あ→い→う→え→お→あ・・・”などのように入力できます。
→「繰り返しタッチについて」(P114)

④ 戻る

タッチで1つ前に戻ります。

⑤ 現在地

タッチで現在地画面(P98)を表示します。

⑥ 文字切換

タッチで入力キーボードに表示される文字の種類が切り換わりします。
→「入力できる文字の種類」(P113)

⑦ ◀, ▶

タッチで【】の位置を移動します。
また、▶は繰り返しタッチ中の状態を解除します。

⑧ 小文字/大文字

小文字に変換可能な文字を入力したときに有効となります。タッチで入力した文字を大文字→小文字、小文字→大文字と切り換えます。(入力キーボードを小文字にすることはできません。)

⑨ 変換

タッチで確定前の文字を変換します。
変換する範囲は背景が黒くなり、◀, ▶で変換範囲を変更することもできます。

⑩ 無変換

確定前の文字を変換せずに確定します。

⑪ 半角/全角

タッチで入力キーボードに表示される文字が半角→全角→半角と切り換わりします。

⑫ 入力完了

入力された文字をすべて確定し、文字入力モードを終了します。

⑬ 削除

入力中の文字を一文字削除します。
タッチし続けるとまとめて削除することができます。

アドバイス

- 機能や文字の種類によって、表示されないタッチスイッチや別のタッチスイッチになることがあります。詳しくは各機能の説明を参照してください。

入力できる文字の種類

入力キーボードはさまざまな文字が入力できるように用意されています。

文字入力は、各機能の操作の途中で必要になったときに表示します。

ただし、機能によって入力できる文字を制限することがあります。(「電話番号から探す」(P124)では数字のみ)

[文字切換]にタッチすると、入力キーボードに表示される文字の種類が切り換わります。

ひらがな



カタカナ



アルファベット



数字



記号



アドバイス

- “きごう”と入力して[変換]にタッチすることでも、一部の記号が入力できます。

繰り返しタッチについて

入力キーボードの同じ文字を繰り返しタッチすることで別の文字に切り換えることができます。

「ひらがな」、「カタカナ」、「アルファベット」でこの操作が必要になります。切り換わる文字は以下のようになります。

■ ひらがな

あ	あ ▶ い ▶ う ▶ え ▶ お ▶ あ ▶ い ▶ う ▶ え ▶ お ▶ あ ▶
か	か ▶ き ▶ く ▶ け ▶ こ ▶ か ▶
さ	さ ▶ し ▶ す ▶ せ ▶ そ ▶ さ ▶
た	た ▶ ち ▶ つ ▶ て ▶ と ▶ っ ▶ た ▶
な	な ▶ に ▶ ぬ ▶ ね ▶ の ▶ な ▶
は	は ▶ ひ ▶ ふ ▶ へ ▶ ほ ▶ は ▶
ま	ま ▶ み ▶ む ▶ め ▶ も ▶ ま ▶
や	や ▶ ゆ ▶ よ ▶ や ▶ ゅ ▶ ょ ▶ や ▶
ら	ら ▶ り ▶ る ▶ れ ▶ ろ ▶ ら ▶
わ	わ ▶ を ▶ ん ▶ わ ▶ ー ▶ わ ▶
。。	。 ▶ 。 ▶ 。
、。 SP	、 ▶ 。 ▶ ー ▶ 、 ▶

■ カタカナ

ア	ア ▶ イ ▶ ウ ▶ エ ▶ オ ▶ ア ▶ イ ▶ ウ ▶ エ ▶ オ ▶ ア ▶
カ	カ ▶ キ ▶ ク ▶ ケ ▶ コ ▶ カ ▶
サ	サ ▶ シ ▶ ス ▶ セ ▶ ソ ▶ サ ▶
タ	タ ▶ チ ▶ ツ ▶ テ ▶ ト ▶ ッ ▶ タ ▶
ナ	ナ ▶ ニ ▶ ヌ ▶ ネ ▶ ノ ▶ ナ ▶
ハ	ハ ▶ ヒ ▶ フ ▶ ヘ ▶ ホ ▶ ハ ▶
マ	マ ▶ ミ ▶ ム ▶ メ ▶ モ ▶ マ ▶
ヤ	ヤ ▶ コ ▶ ヨ ▶ ヤ ▶ ヅ ▶ デ ▶ ヤ ▶
ラ	ラ ▶ リ ▶ ル ▶ レ ▶ ロ ▶ ラ ▶
ワ	ワ ▶ ラ ▶ ン ▶ ヲ ▶ ー ▶ ワ ▶
。。	。 ▶ 。 ▶ 。
、。 SP	、 ▶ 。 ▶ ー ▶ 、 ▶

■ アルファベット

ABC	A ▶ B ▶ C ▶ a ▶ b ▶ c ▶ A ▶
DEF	D ▶ E ▶ F ▶ d ▶ e ▶ f ▶ D ▶
GHI	G ▶ H ▶ I ▶ g ▶ h ▶ i ▶ G ▶
JKL	J ▶ K ▶ L ▶ j ▶ k ▶ l ▶ J ▶
MNO	M ▶ N ▶ O ▶ m ▶ n ▶ o ▶ M ▶
PQRS	P ▶ Q ▶ R ▶ S ▶ p ▶ q ▶ r ▶ s ▶ P ▶
TUV	T ▶ U ▶ V ▶ t ▶ u ▶ v ▶ T ▶
WXYZ	W ▶ X ▶ Y ▶ Z ▶ w ▶ x ▶ y ▶ z ▶ W ▶
—	—
SP	—
. /@	. ▶ / ▶ @ ▶ . ▶

目的地の設定

自宅・よく行く地点を目的地に設定する

あらかじめ登録しておいた自宅(P139)やよく行く地点(P140)を目的地に設定します。

1 現在地画面で **NAVIメニュー** にタッチする

「NAVIメニュー」を表示します。

2 行き先 → **自宅** にタッチする

アドバイス

- 自宅を登録していない場合は登録をうながす画面が表示され設定画面を表示します。→「自宅を登録する」(P139)
- [自宅]を長押しすることで自宅を目的地に設定することもできます。→手順4に進む

3 目的地にしたい“マーク”にタッチする



探索条件設定画面(P127)を表示します。

アドバイス

- 検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を[回避する]または[回避しない]をうながすテロップが表示されます。
- 長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。



4 **案内開始** にタッチする



自宅またはよく行く地点を目的地としたルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

探した場所を目的地に設定する

「NAVIメニュー」(P100)から探した場所を目的地に設定する一連の操作を説明します。

1 現在地画面で **NAVIメニュー** にタッチする



2 **行き先** にタッチする

3 いずれかの「検索方法」にタッチし、場所を探す

検索方法選択画面



→「検索方法選択画面について」(P117)

4 探した場所が表示されたら **決定** にタッチする



アドバイス

- 検索方法の種類によって、施設名や電話番号が表示されない場合があります。

5 **ここへ行く** にタッチする



アドバイス

- 検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を[回避する]または[回避しない]をうながすテロップが表示されます。
- 長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。



6 **案内開始** にタッチする



探した場所を目的地としたルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

■ 検索方法選択画面について



ジャンル	ジャンル別に施設を探します。 →「施設ジャンルから探す」 (P118)
よく行く地点	自宅やよく行く地点を呼び出します。 →「自宅・よく行く地点を呼び出す」 (P124)
住所	住所から場所を探します。 →「住所から探す」 (P121)
施設名称	施設の名称を入力し場所を探します。 →「施設名称を入力して探す」 (P122)
周辺検索	現在地や目的地、ルート周辺の施設を探することができます。 →「周辺の施設を探す」 (P123)
電話番号	探している場所の電話番号が分かっている場合に使用します。 →「電話番号から探す」 (P124)
登録地	登録地を呼び出します。 →「登録地を呼び出す」 (P125)
検索履歴	検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがある地点などは、検索履歴として残り、再度周辺の地図を表示させることができます。 →「検索履歴を利用する」 (P125)

場所を探す

本機では、さまざまな方法で場所を探すことができます。

ここで探した場所は、目的地 (P115) や経由地 (P133)、登録地 (P139) を設定するときには使用します。

ここでは、「NAVIメニュー」(P100)からの検索方法を説明します。

施設ジャンルから探す

ジャンル別に施設を探します。

ここでは、例としてガソリンスタンドを探します。

1 検索方法選択画面 (P117) で

ジャンル にタッチする

2 “ジャンル” の **自動車**

にタッチする



3 “分類” の **ガソリンスタンド**

にタッチする



リストに [詳細] と表示されていない分類を選んだ場合は、手順5に進みます。

4 いずれかの“詳細な分類” にタッチする



5 いずれかの“都道府県” にタッチする



6 探している“施設”にタッチする



選んだ施設周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- **P** マークのある施設では駐車場周辺の地図を表示します。
→「駐車場のある施設について」(P120)
- 周辺の地図が表示されているとき、[決定]にタッチすると「設定/検索メニュー」が表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「設定/検索メニューからの操作」(P110)

■ 検索結果を並び換える

検索結果を並び換えることができます。

1 「施設ジャンルから探す」(P118)の手順5まで操作する

2 にタッチし、いずれかにタッチする



50 音順	施設を 50 音順に並び換えます。
距離順	施設を距離順に並び換えます。
地域順	施設を地域順に並び換えます。
ジャンル順	施設をジャンル順に並び換えます。ただし、施設名称で検索している場合は使用できません。
距離順基準位置	検索結果を [距離順] で並び換えたときの基準を変更することができます。 → 「距離順並び換え時の基準位置を変える」(P119)
絞り込み設定	検索結果を更に条件を設定して絞り込むことができます。 → 「検索結果を絞り込む」(P120)

距離順並び換え時の基準位置を変える

検索結果を [距離順] で並び換えたときの基準を変更することができます。

アドバイス

- 距離順に並び換えていない場合は選べません。

1 「検索結果を並び換える」(P119)の手順2で **距離順基準位置** にタッチする

2 いずれかにタッチする



自車位置	自車位置を基準に施設が距離順に表示されます。
地図位置指定	現在地周辺の地図が表示されますので、地図をスクロールし [決定] にタッチします。その決めた地点を基準に、施設が距離順に表示されます。

■ 検索結果を絞り込む

検索結果を更に条件を設定して絞り込むことができます。

1 「施設ジャンルから探す」(P118)の手順5まで操作する

2 にタッチし、「絞り込み設定」にタッチする

3 いずれかにタッチする



地域で絞り込む	5つの地域まで選択して絞り込むことができます。
ジャンルで絞り込む	5つのジャンルまで選択して絞り込むことができます。
キーワードで絞り込む	キーワード3語まで指定して絞り込むことができます。
○絞り込みを解除する	選んだ絞り込み条件の設定を解除します。
絞り込みを解除する	すべての絞り込み条件の設定を解除します。

■ 駐車場のある施設について

施設を検索する際に、**P** マークのある施設を選択するとその施設の駐車場周辺の地図を表示します。



1 「施設ジャンルから探す」(P118)の手順6まで操作する

2 **P** マークの施設にタッチする



選んだ施設の駐車場周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

-  にタッチし、[次の駐車場]または[前の駐車場]にタッチすることで他の駐車場を探すことができます。(駐車場が1件の場合は選択することはできません。)
-  にタッチし、[施設地図]にタッチすると施設周辺の地図が表示され、[駐車場地図]は駐車場周辺の地図を表示します。
- 周辺の地図が表示されているとき、[決定]にタッチすると「設定/検索メニュー」が表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「設定/検索メニューからの操作」(P110)

住所から探す

住所から場所を探します。

- 1 検索方法選択画面 (P117) で **住所** にタッチする
- 2 いずれかの“都道府県”にタッチする



- 3 探している“住所”にタッチしていく



周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- [〇〇主要部] で主要部を表示することもできます。
- 周辺の地図が表示されているとき、[決定] にタッチすると「設定 / 検索メニュー」が表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→ 「設定 / 検索メニューからの操作」(P110)

■ 番地を直接入力する

番地を直接入力することができます。

- 1 「住所から探す」(P121) の手順 3 まで操作する
- 2 番地のリストが表示されたら **↑** にタッチする



- 3 **数字入力** にタッチする
- 4 探している“番地”や“号”をタッチして入力する



周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- 主要部を表示することもできます。
- 地図データに収録されている番地情報の整備状況により番地・号を入力しても、その地域の代表地点が表示される場合があります。
- 周辺の地図が表示されているとき、[決定] にタッチすると「設定 / 検索メニュー」が表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→ 「設定 / 検索メニューからの操作」(P110)

施設名称を入力して探す

施設の名称を入力し場所を探します。

1 検索方法選択画面 (P117) で

施設名称 にタッチする

2 探している“施設名称”を入力する



→「文字入力のしかた」(P112)

施設名称はすべて入力しなくても検索は行えます。

3 にタッチする

4 いずれかの“検索方法”にタッチする



キーワード	単語で検索します。施設名称のどこかに入力した単語が該当すればリストを表示します。
前方一致	施設名称の先頭の文字が入力した文字に該当すればリストを表示します。
完全一致	施設名称が完全に該当すればリストを表示します。

5 **検索** にタッチする

6 探している“施設”にタッチする



▼
選んだ施設周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- 検索結果が複数の場合は、「検索結果を並び換える」(P119)と同様の方法で並び換えや絞り込みが行えます。
- 入力した施設名称によっては、検索による該当件数が多くなり、「検索」にタッチしてもリストを表示できない場合があります。
- 周辺の地図が表示されているとき、「決定」にタッチすると「設定/検索メニュー」が表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「設定/検索メニューからの操作」(P110)

周辺の施設を探す

現在地や目的地、ルート周辺の施設を探すことができます。

ここでは、例としてガソリンスタンドを探します。

アドバイス

- 目的地を設定している場合は現在地周辺・目的地周辺・ルート周辺の施設（ガソリンスタンドやコンビニなど）を探します。
- 目的地を設定していない場合は現在地周辺の施設を探します。

1 検索方法選択画面 (P117) で

「周辺検索」にタッチする

目的地を設定していない場合は、手順4に進みます。

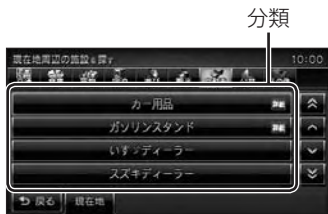
2 検索したい“エリア”にタッチする



3 “ジャンル”の「自動車」にタッチする



4 “分類”の「ガソリンスタンド」にタッチする



リストに[詳細]と表示されていない分類を選んだ場合は、手順6に進みます。

5 いずれかの“詳細な分類”にタッチする



6 探している“施設”にタッチする



選んだ施設周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- 地図スクロールからの「設定 / 検索メニュー」でも周辺検索を行うことができます。→「設定 / 検索メニューを表示する」(P102)
- 周辺の地図が表示されているとき、[決定]にタッチすると「設定 / 検索メニュー」が表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。→「設定 / 検索メニューからの操作」(P110)

電話番号から探す

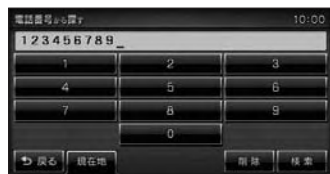
探している場所の電話番号が分かっている場合に使用します。

1 検索方法選択画面 (P117) で 「電話番号」にタッチする

2 “電話番号”を入力する

→ 「文字入力のしかた」(P112)

市外局番のみや途中まで入力する場合は
[検索]にタッチします。



電話番号をすべて入力すると該当する周辺地図を表示します。

アドバイス

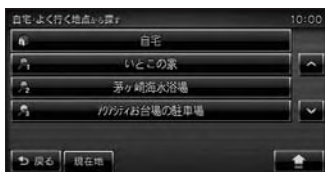
- 電話番号は市外局番から入力する必要があります。
- 個人宅の検索はできません。
- タウンページに掲載の電話番号に一致した場合は、その施設周辺の地図を表示します。
- 市外局番だけ入力した場合や、途中までしか該当する電話番号がなかった場合は、代表地点の1kmスケールの地図を表示します。
- 周辺の地図が表示されているとき、[決定]にタッチすると「設定 / 検索メニュー」が表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→ 「設定 / 検索メニューからの操作」(P110)

自宅・よく行く地点を呼び出す

自宅やよく行く地点を呼び出します。

1 検索方法選択画面 (P117) で 「よく行く地点」にタッチする

2 呼び出したい“地点”にタッチする



呼び出した地点周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、[決定]にタッチすると「設定 / 検索メニュー」が表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→ 「設定 / 検索メニューからの操作」(P110)
- [未登録]にタッチすると自宅やよく行く地点を登録することができます。
→ 「自宅を登録する」(P139)の手順4以降
→ 「よく行く地点を登録する」(P140)の手順4以降

登録地を呼び出す

登録地を呼び出します。

1 検索方法選択画面 (P117) で

登録地 にタッチする

登録地のリストを表示します。

2 呼び出したい“地点”にタッチする



呼び出した地点周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、[決定]にタッチすると「設定 / 検索メニュー」が表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→ 「設定 / 検索メニューからの操作」(P110)

検索履歴を利用する

検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがある地点や地図スクロール操作から設定した目的地、登録した地点であれば、検索履歴として残り、再度周辺の地図を表示させることができます。

アドバイス

- 過去に検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがない場合はリスト表示されません。
- 検索履歴は新しいものから最大 30 件記録されます。

1 検索方法選択画面 (P117) で

検索履歴 にタッチする

2 探している“場所”にタッチする



選んだ場所周辺の地図と情報を表示します。

■ 検索履歴を消去する

登録されている検索履歴を消去することができます。

1 「検索履歴を利用する」(P125)の手順 1 まで操作する

2 消去したい“場所”を選び、にタッチする



3 いずれかの“消去方法”にタッチする



1 件消去	現在選ばれている場所を履歴から消去します。
選択消去	複数の場所を選んで[消去]にタッチすると履歴から消去します。
全消去	登録されているすべての履歴を消去します。

4 にタッチする

▼
検索履歴の消去が完了します。

探索条件設定画面について

目的地にする場所が決まったときに表示される画面です。
この画面でできる操作について説明します。



① ルートの情報

現在探索されているルートの総距離、料金、所要時間を表示します。

② 利用するインターチェンジ

最初に利用する高速道路の入口と出口のインターチェンジを表示します。

③ ルート表示

現在探索されているルートの概略を表示します。

④ 現在地

タッチで現在地画面 (P98) を表示します。

⑤ 探索条件表示

現在探索されているルートの探索条件を表示します。

⑥ 案内開始

タッチで現在探索されているルートの案内を開始します。

⑦ 探索条件

タッチで目的地までのルートの探索条件を変更することができます。

→ 「探索条件を変更する」 (P131)

⑧ 経由地

タッチで経由地の追加や変更が行えます。

→ 「経由地の設定・変更」 (P133)

⑨ 5ルート

タッチで異なる条件で探索する5つのルートから好みのルートを選ぶことができます。

→ 「5つのルートから選ぶ」 (P136)

⑩ 戻る

タッチで1つ前に戻ります。

ルートの確認・変更

ルートの確認

ルートを設定している場合に、設定したルートについて確認します。

次に曲がる交差点を確認する

走行中のルートで前方に右左折する必要がある交差点がある場合は、前もって音声案内と交差点案内図を表示させることができます。

アドバイス

- ルートを走行している必要があります。
- 地図の種類によっては音声のみの案内となります。
- 直進を示すアイコンの場合は、タッチしても案内図を表示しません。

1 現在地画面で“交差点案内アイコン”にタッチする



交差点案内アイコン



次に曲がる交差点の拡大図を表示します。

ルートを確認する

確認するルート上をなぞるようにスクロールさせ周辺の地図を確認することができます。

アドバイス

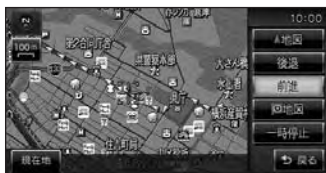
- 地図画面の種類がスタンダードのときのみこの操作が行えます。

1 現在地画面で にタッチする






2 **ルート確認** にタッチする

3 ルートの“確認方法”にタッチする



選んだ確認方法によって地図が切り替わります。

確認方法の種類

 地図	現在地周辺の地図を表示します。
後退	目的地→現在地に向けてスクロールします。
前進	現在地→目的地に向けてスクロールします。
 地図	目的地周辺の地図を表示します。
 地図	経由地周辺の地図を表示します。設定した経由地の数だけ選択することができます。経由地がない場合は表示されません。
一時停止	後退または前進時のスクロールを停止します。
戻る	スクロールが終了します。

全ルートを確認する

現在地から目的地までのルートを画面上で確認できるスケールの地図を表示します。

1 現在地画面で にタッチする








2 **全ルート** にタッチする



ルート全体を表示した地図画面を表示します。

■ 地図上のアイコン種類

	出発地を表します。
	目的地を表します。
	設定された経由地を表します。
	高速道路の入口を表します。
	高速道路の出口を表します。

■ 目的地・経由地の位置を確認する

全ルート表示中に、目的地や経由地の周辺の地図を確認することができます。

1 全ルート表示中、 にタッチする




2 **目的地** または **経由地** にタッチする



選んだ地点周辺の地図を表示します。

アドバイス

- 経由地を複数設定している場合、経由地 1 → 経由地 2 と押すたびに切り換わります。
- 経由地を設定している場合は、[目的地] にタッチした後、[経由地 ] を表示します。経由地がない場合は表示されません。
- [戻る] にタッチすると、全ルート表示に戻ります。

■ 詳細情報を確認する

全ルート表示中に、現在地から目的地までの距離や所要時間、料金や使用する高速道路の情報を確認することができます。

お知らせ

- 一部の有料道路では、料金が計算に加わらない場合があります。また、新設された有料道路などの料金は対応しておりません。
- 装着車両に応じて車両区分を設定してください。普通車と軽自動車の料金データを収録しています。「ナビの設定」(P185)で「探索設定」の「車種」で変更できます。
- 高速料金の表示は状況（乗り継ぎ経路が異なる場合など）により正しく表示されない場合があります。

1 全ルート表示中、にタッチする



2 詳細情報 にタッチする



詳細情報を表示します。

アドバイス

- 「戻る」にタッチすると、全ルート表示に戻ります。

デモ走行を見る

作成したルートを仮想的に走行させ確認することができます。

アドバイス

- 実際の走行時において1つ目の経由地を過ぎていた場合はデモ走行を行うことはできません。

1 現在地画面で **NAVIメニュー** にタッチする

「NAVIメニュー」を表示します。

2 **ルート編集** → **デモ開始** にタッチする



「デモ中」と表示され、デモ走行を開始します。

■ 終了するには

1 デモ走行中、現在地画面で **NAVIメニュー** にタッチする

「NAVIメニュー」を表示します。

2 **ルート編集** → **デモ終了** にタッチする

デモ走行を終了します。

アドバイス

この操作以外にも次のいずれかの条件が満たされるとデモ走行は終了します。

- 実際に走行を開始した。
- 目的地や経由地の位置を変更した。または、消去した。
- イグニッションキーを“OFF”にした。
- 探索条件を変更した。

ルートの変更

設定したルートは迂回ルートや別ルートを設定することができます。また、ルートの探索方法を変更することができます。

1 現在地画面で **NAVIメニュー** にタッチする



2 **ルート編集** → **ルート編集** にタッチする



探索条件設定画面 (P127) を表示します。

探索条件を変更する

ルートの探索条件を変更することができます。

■ 経由地がない場合

現在地から目的地までのルートで探索条件を変更することができます。

1 探索条件設定画面で **探索条件** にタッチする

2 設定したい“探索条件”にタッチする



設定した条件の探索が完了し、探索条件設定画面 (P127) を表示します。

■ 経由地がある場合

現在地から目的地までのルート全区間や現在地から経由地、経由地から経由地、経由地から目的地などの区間ごとに探索条件を設定することができます。

1 探索条件設定画面で **探索条件** にタッチする

2 **全区間** または **区間毎** にタッチする

[全区間] を選んだ場合は、手順 4 に進みます。

3 変更したい「区間」にタッチする



4 設定したい「探索条件」にタッチする



手順 2 で [区間毎] を選んだ場合は、手順 3 ~ 4 を繰り返し、すべての区間の条件を設定します。

5 **決定** にタッチする



設定した条件の探索が完了し、探索条件設定画面 (P127) を表示します。

■ 探索条件の種類について

探索条件は以下の中から選ぶことができます。

推奨ルート	目的地（経由地）まで一般的と思われるルートを探します。
有料優先	目的地（経由地）の近くまでなるべく有料道路を使用するルートを探します。
一般優先	目的地（経由地）までなるべく有料道路を使用しないルートを探します。
距離優先	目的地（経由地）までできるだけ距離が短くなるルートを探します。
料金節約	目的地（経由地）まで料金を節約したルートを探します。

経路地の設定・変更

アドバイス

- 目的地が設定されている状態で操作してください。
- 経路地は、最大5ヶ所まで設定できます。

■ 経路地を設定する

現在、経路地が設定されていない状態での経路地の設定方法を説明します。

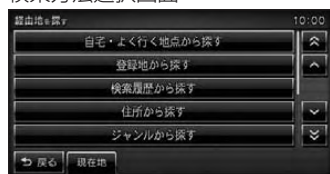
アドバイス

- 「設定 / 検索メニュー」(P102) からでも経路地を設定することができます。

1 探索条件設定画面で **経路地** にタッチする

2 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す

検索方法選択画面



→ 「検索方法選択画面について」(P117)

3 探した場所が表示されたら **決定** にタッチする



経路地が設定され、探索条件設定画面 (P127) を表示します。

■ 経路地を追加する

すでに1つ以上の経路地が設定されている状態での経路地の追加方法を説明します。

1 探索条件設定画面で **経路地** にタッチする

2 **追加** にタッチする

3 追加したい“区間”にタッチする



4 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す

検索方法選択画面



→ 「検索方法選択画面について」(P117)

5 探した場所が表示されたら **決定** にタッチする



経路地が追加され、探索条件設定画面 (P127) を表示します。

■ 経路地を変更する

設定済みの経路地の場所を変更します。

1 探索条件設定画面で **経路地** にタッチする

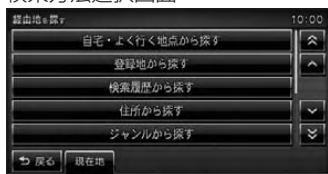
2 **変更** にタッチする

3 変更したい“経路地”にタッチする



4 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す

検索方法選択画面

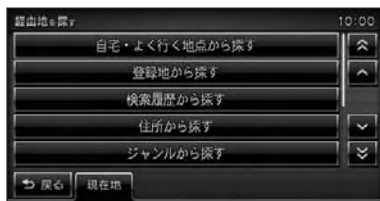


5 探した場所が表示されたら **決定** にタッチする



経路地が変更され、探索条件設定画面 (P127) を表示します。

■ 検索方法選択画面について



自宅・よく行く地点から探す	自宅やよく行く地点を呼び出します。「自宅・よく行く地点を呼び出す」(P124)と同様の操作となります。
登録地から探す	登録地を呼び出します。「登録地を呼び出す」(P125)と同様の操作となります。
検索履歴から探す	検索履歴を利用します。「検索履歴を利用する」(P125)と同様の操作となります。
住所から探す	住所から場所を探します。「住所から探す」(P121)と同様の操作となります。
ジャンルから探す	ジャンル別に施設を探します。「施設ジャンルから探す」(P118)と同様の操作となります。
名称から探す	施設の名称を入力し場所を探します。「施設名称を入力して探す」(P122)と同様の操作となります。
周辺施設から探す	現在地や目的地、ルート周辺の施設を探することができます。「周辺の施設を探す」(P123)と同様の操作となります。
電話番号から探す	探している場所の電話番号が分かっている場合に使用します。「電話番号から探す」(P124)と同様の操作となります。
地図から探す	地図スクロール(P108)した地点を設定することができます。

■ 経由地を消去する

設定済みの経由地を消去します。

アドバイス

- すでに通過した経由地は消去できません。

1 探索条件設定画面で **経由地** にタッチする

2 **消去** にタッチする

3 消去したい“**経由地**”にタッチする



4 **消去する** にタッチする

経路地が消去され、探索条件設定画面 (P127) を表示します。

サブメニューからの操作

次に通過する予定の経由地を消去することができます。

1 現在地画面で **📍** にタッチする

2 **ルート変更** にタッチする

3 **経由地削除** にタッチする



次に通過する予定の経由地を消去し、ルート探索を開始します。

アドバイス

- すべての経由地を通過すると [経由地削除] はグレー表示となり選択できません。

■ 経由地を並び替える

目的地や経由地の通過順を変更できます。

アドバイス

- すでに通過した経由地は並び替えできません。

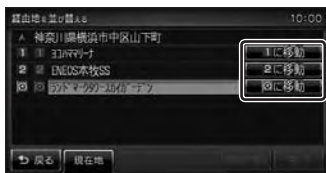
1 探索条件設定画面で **経由地** にタッチする

2 **並び替え** にタッチする

3 移動したい“**地点**”にタッチする



4 移動する“**地点**”にタッチする



5 **完了** にタッチする



経由地の並び替えが完了し、探索条件設定画面 (P127) を表示します。

経由地を自動で並び替える

経由地間の直線距離合計が短くなる順に自動で並び替えます。

アドバイス

- 目的地やすでに通過した経由地は並び替えできません。

1 「**経由地を並び替える**」(P135)の手順**2**まで操作する

2 **自動並び替え** にタッチする

3 **完了** にタッチする



経由地の並び替えが完了し、探索条件設定画面(P127)を表示します。

5つのルートから選ぶ

5つの探索条件のルートを一度に探索し、選ぶことができます。

アドバイス

- 道路の状況により5つのルートすべてを探索できない場合があります。

1 探索条件設定画面で **5ルート** にタッチする

2 設定したい「探索条件」にタッチする



→ 「探索条件の種類について」(P132)

3 **決定** にタッチする



探索条件が変更された探索条件設定画面(P127)を表示します。

迂回ルートを探索する

距離を指定して前方を迂回するルートを探索することができます。

アドバイス

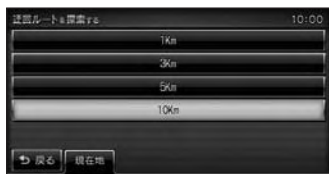
- 現在地から目的地までの距離が 1km 未満の場合は操作できません。

1 現在地画面で **NAVIメニュー** にタッチする

「NAVIメニュー」を表示します。

2 **ルート編集** → **迂回ルート** にタッチする

3 迂回したい“距離”にタッチする



設定した距離を迂回するルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

■ サブメニューからの操作

前方のある一定の距離を迂回するルートを探索することができます。

1 現在地画面で **🏠** にタッチする

2 **ルート変更** にタッチする

3 **迂回ルート** にタッチする

前方を迂回するルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

別ルートを探索する

現在のルートとは別のルートを探索します。

1 現在地画面で **NAVIメニュー** にタッチする

「NAVIメニュー」を表示します。

2 **ルート編集** → **別ルート** にタッチする

別ルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

■ サブメニューからの操作

1 現在地画面で **🏠** にタッチする

2 **ルート変更** にタッチする

3 **別ルート** にタッチする

別ルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

ルートを消去する

作成した目的地や経由地を削除し、ルートを消します。

1 現在地画面で **NAVIメニュー** にタッチする

「NAVIメニュー」を表示します。

2 **ルート編集** → **ルート消去** にタッチする

ルートの消去が完了し、現在地画面 (P98) を表示します。

VICS 規制を回避する

前方の VICS 規制（オンランプ規制やオフランプ規制、通行止め）を回避するルートを探索することができます。

- 1 ルート走行中、前方に VICS 規制があると「○○先、ルート上に○○がありません。・・・」のメッセージを表示します。



- 2  にタッチする

- 3 **ルート変更** にタッチする

- 4 **VICS 考慮** にタッチする



VICS 規制を考慮したルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

登録地の設定

自宅を登録する

自宅を登録しておく、出かけた場所から自宅に帰るルートを簡単に設定できます。

アドバイス

- 自宅に帰るルートを設定するときには、「自宅・よく行く地点を目的地に設定する」(P115)を参照してください。
- 自宅を消去するときには、「登録地を消去する」(P146)を参照してください。
- 自宅は1件のみ登録できます。

1 現在地画面で **NAVIメニュー** にタッチする



2 **行き先** → **自宅** にタッチする

このとき [自宅] をタッチし続けると、手順4に進めます。

3 **マーク** にタッチする

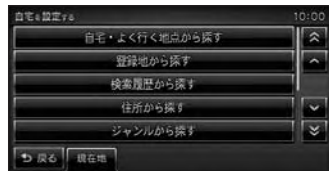


アドバイス

- マーク (よく行く地点) が未登録だった場合、タッチするとよく行く地点の登録を行います。

4 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す

検索方法選択画面



→ 「検索方法選択画面について」(P117)

アドバイス

- 現在地が自宅の場合、[地図から探す] にタッチすると簡単に自宅を登録できます。

5 探した場所が表示されたら **決定** にタッチする



探した場所に マークが表示された自宅の登録地情報 (P143) を表示します。

6 **終了** にタッチする

自宅の登録が完了します。

アドバイス

- ここで表示される登録地情報を変更することができます。
→ 「登録地情報を変更する」(P143)

よく行く地点を登録する

頻繁に出かける場所などは、よく行く地点に登録しておくことでルート設定が簡単に行えます。

アドバイス

- よく行く地点を目的地にするときは、「自宅・よく行く地点を目的地に設定する」(P115)を参照してください。
- よく行く地点を消去するときは、「登録地を消去する」(P146)を参照してください。
- よく行く地点は3件まで登録できます。

1 現在地画面で **NAVIメニュー** にタッチする



2 行き先 → **よく行く地点** にタッチする

3 未登録の マークいずれかにタッチする

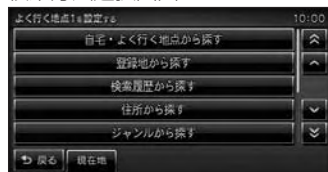


アドバイス

- ここで未登録の  マークにタッチすると自宅の登録を行います。

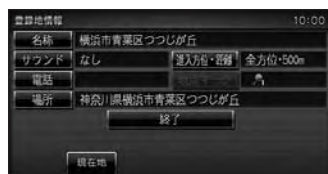
4 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す


検索方法選択画面



→ 「検索方法選択画面について」(P117)

5 探した場所が表示されたら **決定** にタッチする



探した場所に  マークが表示されたよく行く地点の登録地情報画面 (P143) を表示します。

6 **終了** にタッチする

よく行く地点の登録が完了します。

アドバイス

- ここで表示される登録地情報を変更することができます。
- 「登録地情報を変更する」(P143)

登録地を設定する

出かけた場所や行ってみたい場所などを登録地に設定しておく、ルート設定が簡単に行えます。

アドバイス

- 登録地は最大 100 件まで登録できます。

現在地を登録する

現在地画面から、今いる場所（自車位置）を登録します。

1 現在地画面で  にタッチする

2 **現在地登録** にタッチする



現在地の登録が完了します。

アドバイス

- 登録地情報の画面は表示されず、名称を空白とした登録地が設定されます。
- 登録地情報の空欄は目的に応じて入力してください。
→「登録地情報を変更する」(P143)

探した場所を登録する

「NAVI メニュー」(P100) から探した場所を登録地に設定する一連の操作を説明します。

1 現在地画面で **NAVI メニュー** にタッチする



2 **行き先** にタッチする

3 いずれかの「検索方法」にタッチし、場所を探す

検索方法選択画面



→「検索方法選択画面について」(P117)

4 探した場所が表示されたら **決定** にタッチする




「設定 / 検索メニュー」(P102) を表示します。

アドバイス

- 検索方法の種類によって、施設名や電話番号が表示されない場合があります。

5 「登録する」にタッチする



探した場所に  マークが表示され、登録地情報画面 (P143) を表示します。

6 「終了」にタッチする

探した場所の登録が完了します。

アドバイス

- ここで表示される登録地情報を変更することができます。
→ 「登録地情報を変更する」 (P143)

登録地を変更する

自宅やよく行く地点、登録地の変更および消去が行えます。

アドバイス

- あらかじめ場所を登録しておく必要があります。

登録地情報を変更する

自宅やよく行く地点、登録地の各情報を変更することができます。

1 現在地画面で **NAVIメニュー** にタッチする



2 **行き先** にタッチする

3 **よく行く地点** または **登録地** にタッチする



自宅を変更したい場合は、[よく行く地点] にタッチします。

4 **▼**, **▲** で変更したい“登録地”にカーソルを合わせる



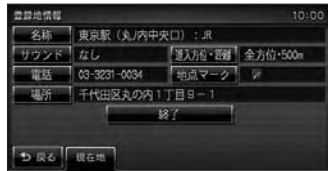
カーソル (オレンジ)

5 **▲** にタッチする

6 **詳細情報** にタッチする

7 変更したい“情報”にタッチし、変更する

登録地情報画面



登録地情報画面について

変更できる登録地情報について説明します。

■ 名称

地図画面で表示される登録地の地点マークの名称を変更することができます。

アドバイス

- 地図上に登録地の名称を表示するには [表示の設定] で「登録地名称」を [表示する] にしておく必要があります。
→「ナビの設定」(P185)

1 登録地情報画面で、**名称** にタッチする

2 変更したい“名称”を入力する



→「文字入力のしかた」(P112)

3 **入力完了** にタッチする

名称の変更が完了します。

■ サウンド

設定したサウンドは自車が登録地に近づいたときに鳴ります。

1 登録地情報画面で、**サウンド**にタッチする

2 変更したい“サウンド”にタッチする



サウンドの変更が完了します。

アドバイス

- 手順2で[視聴]にタッチすると、サウンドの確認ができます。
- サウンドは8種類から選べます。
- [なし]にタッチすると無音になります。

■ 進入方位・距離

自車が登録地に近づいた場合にサウンドを鳴らす距離・方位を設定します。

1 登録地情報画面で、**進入方位・距離**にタッチする

2 変更したい“距離”にタッチする



3 **全方位** または **方位指定**にタッチする



[全方位]にタッチした場合は、以降の操作は必要ありません。

4 **☾** または **☽** にタッチし、方位を指定する



5 **決定** にタッチする

進入方位・距離の変更が完了します。

進入方位について

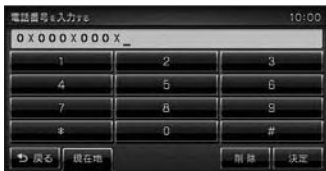
全方位	登録地を中心とする指定距離円状の外周を外から内へ自車が越えるとサウンドを鳴らします。
方位指定	登録地を中心とする指定距離、指定方位扇状の外周を外から内へ自車が越えるとサウンドを鳴らします。

■ 電話

登録地に電話番号を登録しておくことができます。

1 登録地情報画面で、**電話** にタッチする

2 “番号” にタッチして電話番号を入力する



3 **決定** にタッチする

電話番号の変更が完了します。

アドバイス

- 電話番号は 24 桁まで入力できます。
- “-” (ハイフン) は入力できません。

■ 場所

自宅やよく行く地点、登録地の場所を変更することができます。

1 登録地情報画面で、**場所** にタッチする

2 地図をスクロール (P108) し、変更したい“場所”に+マークを合わせる



3 **決定** にタッチする

場所の変更が完了します。

■ 地点マーク

地図画面に表示される登録地のマークを変更することができます。

アドバイス

- 自宅とよく行く地点の地点マークは変更することができません。

1 登録地情報画面で、**地点マーク** にタッチする

2 変更したい“マーク”にタッチする



地点マークの変更が完了します。

アドバイス

- 地点マークは 49 種類から選べます。
- [マークなし] にタッチすると、地図画面にマークが表示されなくなります。

リストの順序を変更する

登録地のリストの並びを変更することができます。

1 「登録地情報を変更する」(P143)の手順3まで操作する

登録地のリストを表示します。

2 にタッチする

3 **並べ替え** にタッチする

4 変更したい“順序”にタッチする



選んだ順序にリストが切り替わります。

■ 順序の種類について

登録順	新規登録された順に表示されます。
マーク順	マーク一覧の左上からの順に並び替えます。
使用順	登録地を使っての検索やルート探索で最近使われたマークの順に並び替えます。

登録地を消去する

設定した登録地を消去します。

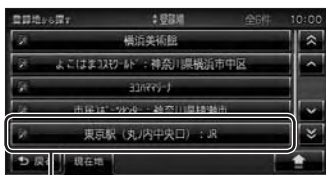
■ 1件消去する

選んだ登録地を1件消去します。

1 「登録地情報を変更する」(P143)の手順3まで操作する

自宅/よく行く地点のリストまたは登録地のリストを表示します。

2 , で消去したい“登録地”にカーソルを合わせる



カーソル(オレンジ)

3 にタッチする

4 **消去** にタッチする

5 **1件消去** にタッチする

選んだ登録地周辺の地図を表示します。

6 **消去する** にタッチする

選んだ登録地の消去が完了します。

■ 選択して消去する

複数の登録地を選び、消去します。

1 「登録地情報を変更する」(P143)の手順3まで操作する

自宅 / よく行く地点のリストまたは登録地のリストを表示します。

2 にタッチする

3 **消去** にタッチする


4 **選択消去** にタッチする

5 消去したい「登録地」をタッチしていく



消去される登録地のチェックボックスが に変わります。

アドバイス

- ここで  にタッチすると、すべてチェックする [全選択] とすべてのチェックを解除する [全解除] が選べます。

6 **消去** にタッチする

7 **消去する** にタッチする

▼
選んだ登録地の消去が完了します。

■ 全件消去する

リスト内のすべての登録地を消去します。

1 「登録地情報を変更する」(P143)の手順3まで操作する

自宅 / よく行く地点のリストまたは登録地のリストを表示します。

2 にタッチする

3 **消去** にタッチする

4 **全消去** にタッチする

5 **消去する** にタッチする



すべての登録地の消去が完了します。

各種情報を調べる

高速道路情報について

高速道路を走行すると「高速略図」を表示します。サービスエリアやパーキングエリアの施設情報、ジャンクションの情報やインターチェンジまでの料金を確認することができます。

アドバイス

本書で使用している高速道路の略語は以下の通りです。

- SA：サービスエリア
- PA：パーキングエリア
- IC：インターチェンジ
- JCT：ジャンクション

表示内容について



① 施設情報

入口情報や料金情報、到着予想時刻、施設の情報を表示します。

SA,PA の場合

この場所にある施設のマークを表示します。

IC の場合

この場所までの料金を表示します。(走行状況によっては表示しない場合もあります。)

JCT の場合

この場所より分岐している路線を選択することができます。

② 到着予想時刻

施設に到着する予想時刻を表示します。

③ 路線名

現在、高速略図に表示されている高速道路の路線名を表示します。

④ VICS 記号表示

IC, JCT などの施設を拠点とした規制は左側に表示します。

各区間中にある規制は右側に表示します。

→「VICS 記号について」(P162)

⑤ 施設名と残距離表示

SA, PA, IC, JCT の名称と自車位置からの距離を表示します。

降りることのできない IC は色が変わります。

1km 未満は「---」と表示し、最大 999km まで表示します。

⑥ 自車表示

現在地から最も近い施設がリストに表示しているときに表示します。

■ IC 料金表示について

- 高速道路に入った IC が分からない場合など、状況によって料金が表示されない場合があります。
- 料金は高速道路に入った IC を起点に計算されます。
- 料金は本機データの作成時をもとに同一道路内の範囲で計算しています。
- 装着車両に応じて車両区分を設定してください。普通車と軽自動車の料金データを収録しています。[探索の設定]で「車種」を[普通車]または[軽自動車]にします。
→「ナビの設定」(P185)
- 高速料金の表示は状況(乗り継ぎ経路が異なる場合など)により正しく表示されない場合があります。
- 各種割り引き料金は計算されません。

表示するには

工場出荷時の設定では高速道路を走行すると自動で高速略図を表示するのでこの操作は必要ありません。

アドバイス

- [表示の設定]で「高速略図自動表示」を[自動表示しない]にしていた場合にこの操作を行います。
→「ナビの設定」(P185)
- 高速道路上に自車がない場合、高速略図を表示することはできません。

1 “方位アイコン” にタッチする 方位アイコン



2 高速略図 にタッチする



高速略図を表示します。

各エリアの情報を確認する

SA,PA,IC,JCTの各エリアの情報および周辺の地図を確認することができます。

1 ▾ または ▲ にタッチする



高速路図を前に進めたり戻したりできます。また、施設情報を表示します。

アドバイス

- ▾ または ▲ にタッチすると、SAやPAごとに進めたり戻したりできます。

2 “確認したい施設” にタッチする



選んだ施設周辺の地図を表示します。

アドバイス

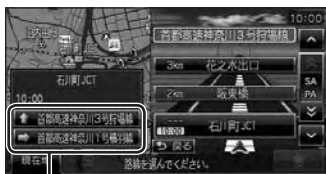
- [決定] にタッチすると「設定 / 検索メニュー」を表示し、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→ 「設定 / 検索メニューからの操作」(P110)

■ JCT を選択した場合

1 ▾ または ▲ にタッチし、“JCT” を選ぶ



2 “確認したい路線” にタッチする



路線

選んだ路線の高速路図を表示します。

車両位置情報を確認する

標高や方位、GPS 衛星の受信数、緯度 / 経度を確認することができます。

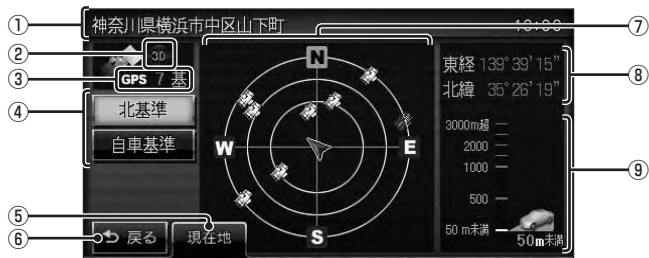
表示内容について

天空図上には受信衛星が表示されます。

このうち、青色の衛星は測位計算に使用している状態にあるものです。

灰色の衛星は現在追尾中のもや受信は行っていますが測位計算には使用していない状態にあるものです。

基数は青色の衛星のみの数です。これが 4 基以上のとき通常 3 次元測位が可能です。



① 現在地の住所

② GPS の測位状態

- **3D** : 緯度、経度、標高の位置が計算できる 3 次元測位 (P96) が可能な状態。
- **2D** : 緯度、経度の位置が計算できる 2 次元測位 (P96) が可能な状態。
- : GPS 衛星からの位置精度が期待できる有効な電波を受信できない非測位 (P96) の状態。

③ GPS 衛星の基数

測位計算に使用している GPS 衛星の基数を表示します。

④ 表示切替ボタン

[北基準] にタッチすると、上が北となる天空図に切り換わります。[自車基準] にタッチすると、前方が上となる天空図に切り換わります。

→ 「天空図の表示を切り換える」 (P152)

⑤ 現在地

タッチで現在地画面 (P98) を表示します。

⑥ 戻る

タッチで 1 つ前に戻ります。

⑦ 天空図

自車の進行方向と GPS 衛星の受信方位を表示します。

⑧ 経度 / 緯度

現在地の東経・北緯を表示します。

⑨ 標高

現在地の標高の目安を表示します。(単位:m) 50m 単位 (標高 1000m 以上は 100m 単位) で表示されるので目安としてご使用ください。

表示するには

- 1 現在地画面で **NAVIメニュー** にタッチする



- 2 **情報・設定** → **車両位置情報** にタッチする



車両位置情報を表示します。

天空図の表示を切り換える

天空図の表示する基準を切り換えます。

- 1 **自転車基準** にタッチする

北基準



自転車基準



前方が上となる天空図に切り換わります。

- 2 **北基準** にタッチする

北基準



上が北となる天空図に切り換わります。

FM 文字情報を見る

FM 多重放送による文字情報 (FM 文字多重放送) を確認することができます。

FM 文字多重放送とは

FM 放送電波のすき間を利用して音声と一緒に文字情報を送信するサービスです。

FM 文字多重放送は、本機に接続している FM アンテナから受信して以下の情報を見ることができます。

番組情報 FM	ラジオ番組と連携した今流れている曲のタイトルやアーティスト名、リクエストの宛先などの情報。
独立情報	ラジオ番組とは関係なく、いつでも見られるニュースや天気、交通などの情報。
緊急情報	放送局が「緊急情報番組」を放送したときのみ表示させる情報。 →「緊急情報の受信について」(P155)

表示するには

初期の状態では、放送局は登録されていないので、マニュアル操作による放送局の選局が必要になります。

1 現在地画面で **NAVI** メニューにタッチする



2 **情報・設定** → **FM 文字情報** にタッチする

▼
マニュアル選局画面を表示します。

アドバイス

- すでに放送局がプリセット (P157) されている場合は、プリセット選局画面を表示します。
→「プリセット済の場合」(P154)

3 “周波数” の ▼ または ▲ にタッチし、“受信したい放送局の周波数” を選ぶ



4 **受信** にタッチする



受信できた放送局のジャンル一覧を表示します。以降の操作は「番組を表示する」(P154) と同じです。

■ プリセット済の場合

「表示するには」(P153)の手順2でプリセット済の場合は、プリセット選局画面を表示します。その場合は、以下の操作を行います。

1 “受信したい放送局の番号” にタッチする



選んだ放送局のジャンル一覧を表示します。以降の操作は「番組を表示する」(P154)と同じです。

番組を表示する

選んだ放送局の番組情報を見ます。

1 ジャンル一覧を表示する

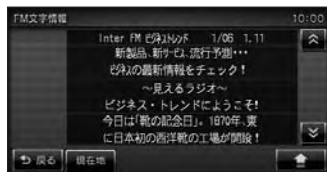
→ 「表示するには」(P153)

2 “見たいジャンルの番号” にタッチする



番組一覧を表示します。

3 “見たい番組の番号” にタッチする



番組を表示します。

緊急情報の受信について

番組表示中などに緊急情報を受けると受信音とともに文字情報を自動的に表示します。



放送局を変更する

番組表示中やジャンル一覧、番組一覧、プリセット選局画面から、別の放送局に変更することができます。

ここでは、番組表示中 (P154) からの操作を説明します。

アドバイス

- 変更した放送局を登録 (プリセット) することができます。登録した放送局はプリセット選局画面で表示されます。
→ 「放送局を登録する」 (P157)

■ プリセット選局で変更する

あらかじめ登録された放送局の中から選ぶことができます。

アドバイス

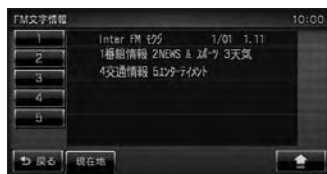
- あらかじめ放送局を登録しておく必要があります。
→ 「放送局を登録する」 (P157)

1 番組表示中、 にタッチする

2 **プリセット選局** にタッチする

▼
プリセット選局画面を表示します。

3 “受信したい放送局の番号” にタッチする



選んだ放送局のジャンル一覧を表示します。以降の操作は「番組を表示する」 (P154) と同じです。

■ サーチで変更する

電波の強い受信可能な放送局を自動で探し、一覧表示します。

1 番組表示中、 にタッチする

2 **サーチ** にタッチする


受信可能な放送局の一覧を表示します。

3 “受信したい放送局の番号” にタッチする



選んだ放送局のジャンル一覧を表示します。以降の操作は「番組を表示する」(P154)と同じです。

アドバイス

- 再度、サーチを行う場合は  → [再サーチ] にタッチします。



■ マニュアルで変更する

直接周波数を指定して放送局を変更します。

1 番組表示中、 にタッチする

2 **マニュアル選局** にタッチする

マニュアル選局画面を表示します。

3 “周波数” の  または  にタッチし、“受信したい放送局の周波数” を選ぶ



4 **受信** にタッチする



受信できた放送局のジャンル一覧を表示します。以降の操作は「番組を表示する」(P154)と同じです。

シークによる選局

マニュアル選局中でも、シークを行うことで、放送局のある周波数をはやく探し出すことができます。

1 番組表示中、 にタッチする

2 **マニュアル選局** にタッチする

▼
マニュアル選局画面を表示します。

3 “周波数”の または  にタッチし続ける



▼
受信可能な放送局が見つければシークが止まります。
この操作を繰り返し、受信したい放送局を探します。

4 **受信** にタッチする



受信した放送局のジャンル一覧を表示します。
以降の操作は「番組を表示する」(P154)と同じです。

放送局を登録する

受信中の放送局を登録（プリセット）します。
放送局を登録しておくことで、プリセット選局画面から放送局を選択できるようになります。

1 放送局（周波数）を選ぶ

→「放送局を変更する」(P155)

2  にタッチする

3 **プリセット登録** にタッチする

4 “登録したい番号” にタッチする



放送局（周波数）を選んだ番号に登録します。

バージョンを確認する

地図データバージョンの確認ができます。
また、バージョンアップ方法についても説明します。

表示するには

- 1 現在地画面で **NAVIメニュー** にタッチする



- 2 **情報・設定** → **バージョン情報** にタッチする



地図データバージョンを表示します。

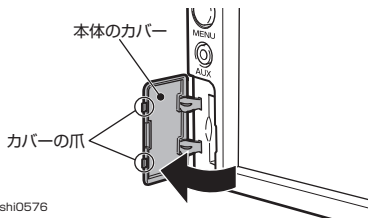
バージョンアップ方法

別売の上位バージョンのSDカードと本体のSDカードを交換することでナビ機能のバージョンアップが行えます。

注意

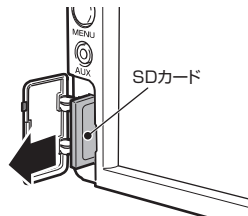
- ・ 駐車禁止外の安全な場所に停車して、イグニッションキーを“OFF”にしてから行ってください。

- 1 本体のカバーを外す



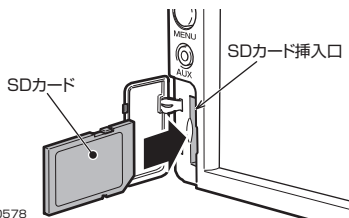
車両側のパネルに傷が付かないように、またカバーの爪が折れないように注意してください。

- 2 SDカードを「カチッ」と音がるまで押す



SDカードが飛び出し、抜き取れる状態になります。ゆっくりと抜いてください。

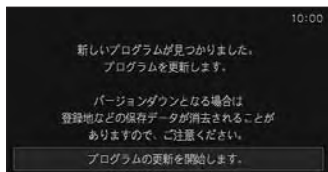
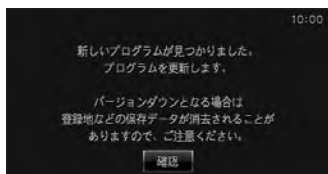
- 3 別売の上位バージョンのSDカードを本体に差し込む



- 4 本体のカバーを戻す

5 イグニッションキーを“ACC” または“ON”にする

6 **確認** にタッチする



自動的に読み込みを開始します。
読み込み完了後、バージョンアップが完了します。

アドバイス

- 手順 6 で記載の画面が表示されない場合は、[MENU] キーを押し、[NAVI] にタッチしてください。
- バージョンアップ完了後、バージョンの確認を行ってください。

VICS 機能

VICS について

VICS センターに集められた交通情報を利用することができます。

VICS とは

VICS(Vehicle Information & Communication System(財団法人道路交通情報通信システム))とは渋滞の情報や事故、規制などの交通情報や駐車場情報などを、リアルタイムで提供する交通情報システムです。

VICS のメディアと特徴

- VICS のメディアには、FM 多重放送、光ビーコン、電波ビーコンがありますが、本機は FM 多重放送にのみ対応しています。
- FM 多重放送は FM 放送波を利用して、広いエリアに道路交通情報を提供するもので、各地の FM 放送局から放送されています。

VICS 情報のレベル

VICS 情報にはレベル 1～レベル 3 までの 3 種類の表示レベルがあります。

■ レベル 1(文字)

文字による交通情報を表示します。



■ レベル 2(簡易図形)

簡略化された図形・地図などで交通情報を表示します。



■ レベル 3(地図)

地図上に渋滞情報や規制情報などの交通情報を直接表示します。



アドバイス

- 50m～1km スケールのときに表示します。

表示内容について

地図上に表示される VICS 情報について説明します。



① VICS 提供時刻

VICS 情報の提供時刻を表示します。
(受信した時刻ではありません。)

② 駐車場情報

VICS 情報で表示される駐車場情報では、
空車または満車などの状況を VICS 記号で
確認することができます。

③ 渋滞情報

渋滞・混雑の状況を線で表示し確認するこ
とができます。

④ 規制情報

通行止めや車線規制などの交通規制を
VICS 記号で確認することができます。

アドバイス

- 本機の VICS 機能では、VICS 記号を見やすく強調するための機能が用意されています。一部の地図色を変更し、VICS 記号が強調されます。
- 工場出荷時は [VICS の設定] の [VICS 受信時地図色] が [変えない] に設定されていますので、VICS 記号が見にくい場合は [変える] に設定してください。→[ナビの設定](P185)

■ VICS 記号について

地図上に以下のマークで各交通情報を案内します。

駐車場情報

- 空車 (青色)
- 満車 (赤色)
- 混雑 (オレンジ色)
- 不明 (黒色)
- 閉鎖

渋滞情報

黒色 (実線)	通行止め
赤色 (実線)	一般道路渋滞
赤色 (点線)	高速道路渋滞
橙色 (実線)	一般道路混雑
橙色 (点線)	高速道路混雑

アドバイス

- ・ 通行止めは高速略図 (P104) で表示します。

規制情報

- 事故
- 故障車
- 路上障害
- 工事
- 作業
- 通行止め
- 進入禁止
- 速度規制 (例 60km)
- 徐行
- 車線規制
- 片側交互通行
- 対面通行
- チェーン規制
- 入口閉鎖
- 入口制限
- その他の規制情報

VICS センターへのお問い合わせ

以下のような内容などのお問い合わせは、下記 VICS センターまでご連絡ください。

- ・ 地図表示 (レベル 3) の内容に関して
- ・ VICS 情報の受信エリアや内容の概略に関して
- ・ 文字表示 (レベル 1) の内容に関して
- ・ 簡易図形表示 (レベル 2) の内容に関して
- ・ VICS の概念、サービス提供エリアに関して

■ (財) VICS センター

窓口：サービスサポートセンター

受付番号	0570-00-8831 ※ 全国から市内通話料金でご利用になれます ※ PHS からはご利用できません
電話受付時間	9:30 ~ 17:45 (土曜、日曜、祝祭日を除く)
受付 FAX 番号	03-3592-5494
FAX 受付時間	24 時間
ホームページアドレス	http://www.vics.or.jp/ VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などをご覧いただけます。

なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めの販売店または、別紙に記載の「三菱電機カーインフォメーションセンター」にご連絡いただくことをお勧めします。

交通情報を調べる

VICS を利用することで、さまざまな放送で交通情報を確認することができます。

アドバイス

- ・ 駐車場情報は 200m スケールまでの地図で表示することができます。但し、200m スケールより広域の場合は該当する駐車場マーク 1 件のみを表示します。
- ・ 規制情報は 1km スケールまでの地図で表示することができます。

現在地周辺を調べる

現在地周辺の駐車場情報や規制情報を調べます。

1 現在地画面で  にタッチする

2 **VICS** にタッチする

3 **駐車場情報** または **規制情報** にタッチする



VICS 記号の枠が点滅するとともに文字情報を表示します。

アドバイス

- ・ [駐車場情報] は周辺の駐車場情報が表示され、[規制情報] または [高速規制 / SA 情報] は周辺の交通規制や道路工事の情報を表示します。
- ・ [FM 多重情報] にタッチすると、文字または図形による VICS 情報を確認することができます。
→ 「文字・図形情報を見る」(P164)

4  または  にタッチする

5 “位置確認アイコン” にタッチする



選ばれた交通情報周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- ・ “位置確認アイコン” は、駐車場情報のときのみ表示します。規制情報のときは表示しません。
- ・ [決定] にタッチすると「設定 / 検索メニュー」を表示し、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→ 「設定 / 検索メニューからの操作」(P110)

スクロール地点周辺を調べる

地図をスクロールして、**+** 地点周辺の駐車場情報や規制情報を調べることができます。

1 地図をスクロール (P108) し、調べたい地点に **+** を合わせる



2 **↑** にタッチする

以降の操作は、「**現在地周辺を調べる**」(P163)の手順2以降と同じです。

高速道路を調べる

走行中の高速道路 (高速略図表示中) の駐車場情報や規制情報を調べることができます。

1 高速略図 (P104) 表示中で **↑** にタッチする

2 **VICS** にタッチする

3 **高速規制/SA情報** にタッチする



以降の操作は、「**現在地周辺を調べる**」(P163)の手順3以降と同じです。

アドバイス

- 高速道路を走行している必要があります。
- 高速略図の規制情報を探する場合、選択するメニューは [規制情報] ではなく [高速規制/SA] になります。
- 位置確認を行った場合、高速略図中の位置を表示します。
- [FM多重情報] にタッチすると、文字または図形による VICS 情報を確認することができます。
→ 「**文字・図形情報を見る**」(P164)

文字・図形情報を見る

文字または図形による VICS 情報を確認することができます。

アドバイス

- ここでは、現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面 (P108) や高速略図 (P104) から同じ操作となります。

1 現在地画面で **↑** にタッチする

2 **VICS** にタッチする

3 **FM多重情報** にタッチする

4 知りたい情報の“番号”にタッチする



5 知りたい情報の“番号”にタッチする



選ばれた情報を表示します。

VICS による自動処理

VICS には、安全で快適な運転をしていたくため、自動で処理される機能があります。

ルート自動更新

ルート走行中、ルート前方に通行止めやその他の規制が発生した場合、回避するためのルートが自動的に再探索され、新しいルート案内を開始します。



アドバイス

- [探索の設定]の「ルート自動更新」を[自動更新する]に設定しておく必要があります。→「ナビの設定」(P185)

緊急情報の割り込み表示

走行中、緊急情報を受信すると、受信音とともに自動的に表示します。



[戻る]にタッチすると元の画面に戻ります。

アドバイス

- 表示できる情報が複数ページある場合は または にタッチしてページを送ることができます。

■ 再表示するには

割り込んできた緊急情報を再度表示して、確認することができます。

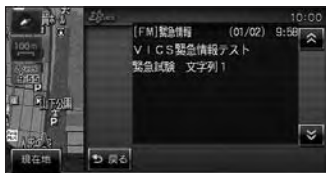
アドバイス

- ここでは、現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面 (P108) や高速略図 (P104) から同じ操作となります。

1 現在地画面で にタッチする

2 **VICS** にタッチする

3 **緊急情報** にタッチする

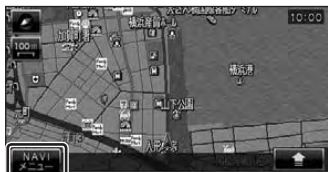


緊急情報を表示します。

VICS 局を選ぶ

工場出荷時は、自車位置の都道府県の放送局を優先的に選局する [自動選局] に設定されていますが、都道府県を指定する方法、周波数を入力して指定する方法を選択することもできます。

- 1 現在地画面で **NAVIメニュー** にタッチする



- 2 **情報・設定** → **NAVI設定** にタッチする

- 3 **VICSの設定** にタッチする

- 4 「VICS受信局周波数設定」の項目にタッチする



VICS 受信局周波数設定画面を表示します。

自動選局

自車位置の都道府県の VICS 局を優先的に選局します。

- 1 **VICS 受信局周波数設定画面で** **自動選局** にタッチする

VICS 局を自動選局に変更します。

県指定

選択した都道府県を VICS 局に指定することができます。

- 1 **VICS 受信局周波数設定画面で** **県指定** にタッチする

- 2 変更したい“都道府県”にタッチする



選んだ都道府県に VICS 局を変更します。

周波数指定

入力した周波数を VICS 局に指定することができます。

- 1 **VICS 受信局周波数設定画面で** **周波数指定** にタッチする

- 2 変更したい“周波数”を入力する



- 3 **決定** にタッチする

入力した周波数に VICS 局を変更します。

CAMERA / AUX

別売のバックカメラ機能や AUX 機能に関する操作の説明を行います。

※バックカメラは、一部同梱機種があります。

CAMERA 168

バックカメラを使う	168
表示内容について	168
表示するには	169
カメラの表示を切り換える	169

AUX 170

AUX を使う	170
ケーブルを接続する	170
表示するには	170

CAMERA

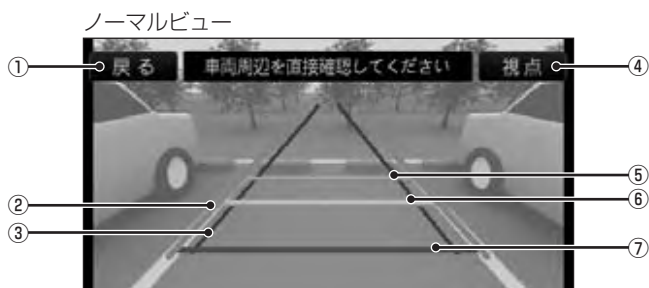
バックカメラを使う

バックカメラが接続されている場合、ディスプレイにバックカメラの映像を表示することができます。

お知らせ

- 本書は、三菱電機製バックカメラユニットBC-20を取り付けた場合を想定して記載しています。
- 他のバックカメラを取り付けた場合は、ガイド線を表示しません。また、本書で記載する内容で動作しない機能がありますのでご注意ください。他のバックカメラを取り付けた場合はあらかじめ「カメラ接続設定」を行う必要があります。→「カメラの接続設定を行う」(P176)

表示内容について



- ① **戻る**
タッチすると、直前の画面に戻ります。
(シフトレバーが「R」(リバース)のときは表示しません。)
- ② **駐車スペースのガイド線**
オレンジの実線で表示します。
駐車スペースの幅を示します。
- ③ **車体幅のガイド線**
うすいオレンジの実線で表示します。
車体の幅を示します。
- ④ **視点**
タッチするとカメラ映像の表示を切り換えることができます。
→「カメラの表示を切り換える」(P169)
- ⑤ **安全距離のガイド線**
緑の実線で表示します。
車体から約 1m 離れた位置になります。
- ⑥ **停止準備のガイド線**
黄色の実線で表示します。
車体から約 50cm 離れた位置になります。
- ⑦ **車体のガイド線**
赤の実線で表示します。
車体位置を示します。

アドバイス

- 各ガイド線の表示は、[カメラ設定]の「ガイド表示」を[ON]に設定しておく必要があります。
→「本機の設定」(P172)
- [カメラ設定]の「ガイド線設定」でガイド線を調整することができます。
→「ガイド線を調整する」(P177)

⚠ 注意

バックカメラの映像およびガイド線は、注意義務を免除するものではありません。
バックカメラが装着されていない場合と同様に周囲の安全を自分の目で確認しながら運転してください。

表示するには

通常は、車のシフトポジションを「R」にすると自動的に表示します。
手動で表示する場合は、以下の方法で表示します。

お知らせ

- 三菱電機製バックカメラユニット BC-20 以外のバックカメラを接続している場合、バックカメラの電源が車両のバック信号で制御されるタイプについては、[CAMERA] にタッチしても、カメラ映像は表示されません。

1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 CAMERA にタッチする



バックカメラの映像を表示します。

カメラの表示を切り換える

用途に応じてバックカメラの映像を切り換えることができます。

お知らせ

- 三菱電機製バックカメラユニット BC-20 以外のバックカメラを接続している場合は本機能はご利用になれません。
([視点] が表示されません。)

1 バックカメラの映像を表示する

ノーマルビュー



駐車スペース進入のときに便利です。

2 視点 にタッチする

トップビュー



停車位置を確認するときに便利です。

3 視点 にタッチする

ワイドビュー



ノーマルビューよりも広い範囲を確認するときに便利です。

4 視点 にタッチする

ノーマルビューを表示します。
[視点] にタッチするたびに映像を切り換えます。

AUX

AUX を使う

別売のケーブルを本機に接続することで、他の機器の映像や音声を本機に入力し、再生することができます。

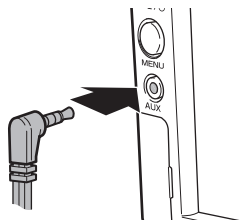
お知らせ

- 別売のケーブルは、当社製の映像、音声入力ケーブルおよび音声入力ケーブルが対応しております。詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

ケーブルを接続する

本機に別売のケーブルを接続します。

1 AUX ジャックにケーブルを接続する

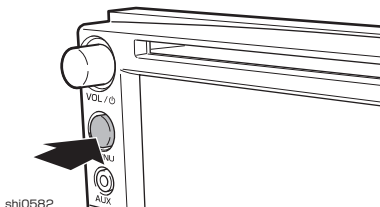


shi0587

2 ケーブルに他の機器を接続する

表示するには

1 MENU キーを押す



shi0582

2 AUX にタッチする



他の機器の映像を表示します。

アドバイス

- 接続した他の機器が音声のみ出力していた場合は、映像を表示しません。
- 接続したケーブルが映像入力に対応していない場合は、映像を表示しません。お確かめの上ご購入ください。

設定

本機の設定 172

設定を変更する.....	172
設定できる項目について.....	172
システム設定.....	173
音質設定.....	174
映像設定.....	175
RGB 画面の調整.....	175
映像画面の調整.....	175
カメラ映像の調整.....	176
バックカメラを設定する.....	176
カメラの接続設定を行う.....	176
ガイド表示を消す.....	176
ガイド線を調整する.....	177
日時を変更する.....	177
情報を確認する.....	178
車両信号チェック.....	178
外部機器接続確認.....	178
バージョン情報.....	178
画面の表示を消す.....	178
メニューのデザインを変更する.....	179
カンタン設定.....	179
こだわり設定.....	179
背景にできる画像について.....	180

TV の設定 181

設定を変更する.....	181
設定項目について.....	181
視聴設定.....	182
字幕 / 音声.....	182
音量設定.....	182
受信機設定.....	183
自動選局.....	183
表示設定.....	183
初期設定を行う.....	184
ホーム CH スキャンを行う.....	184
データ放送地域を設定する.....	184
設定情報を初期化する.....	184

ナビの設定 185

設定を変更する.....	185
設定できる項目について.....	185
表示の設定.....	186
音声の設定.....	187
探索の設定.....	188
センシングルートとは.....	188
スマート IC とは.....	188
VICS の設定.....	189
ランドマークの表示を個別に設定する....	190
システム補正.....	191
センサー学習情報を消去する.....	191
自車位置精度と自動補正について... 191	
現在地を補正する.....	192
メモリを初期化する.....	193
各設定を初期化する.....	193
ナビゲーションユニットを初期化する....	193
車両取付確認.....	194
車両信号チェック.....	194
センサチェック.....	194
外部機器接続確認.....	195

本機の設定

設定を変更する

本機（マルチメディアディスプレイ）の設定を変更します。

1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 設定 にタッチする



各設定のメニューを表示します。

3 変更したい“項目”にタッチする

4 設定を変更する



設定の変更が完了します。

設定できる項目について

システム設定	本機の操作音やオーディオ OFF 時の表示状態、パワーアンテナの設定が行えます。 →「システム設定」(P173)
音質設定	オーディオの音質に関する設定が行えます。 →「音質設定」(P174)
映像設定	本機のメニュー画面やテレビ、バックカメラ映像の色合いや明るさなどの調整が行えます。 →「映像設定」(P175)
カメラ設定	バックカメラに関する設定が行えます。→「バックカメラを設定する」(P176)
日時設定	日時の変更が行えます。 →「日時を変更する」(P177) 本機にナビゲーションユニットが装着されている場合は、設定不要です。
情報確認	車両の信号チェックや外部機器の接続確認、本機のバージョンの確認が行えます。 →「情報を確認する」(P178)
MENU 設定	本機の操作で使用するメニュー画面の色合いや背景を変更できます。→「メニューのデザインを変更する」(P179)
画面 OFF	画面の表示を消します。 →「画面の表示を消す」(P178)

システム設定

本機の操作音やオーディオ OFF 時の表示状態、パワーアンテナの設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
操作音量	消	本機の操作音量を設定できます。(工場出荷時は [2])
	1 ~ 3	数字が大きくなるほど音量が大きくなり、[消] で無音になります。
オーディオ OFF 設定	時計表示	オーディオ OFF 時に時計を表示します。
	時計表示+背景	「MENU 設定」(P179) で設定している背景画像と時計を表示します。
	表示なし	オーディオ OFF 時に何も表示しません。
パワーアンテナ設定	ON	“ACC ON” 時にアンテナ電源端子から電源を供給します。
	OFF	アンテナ電源端子から電源の供給をしません。通常は [ON] にしておくことをお勧めします。ただし、パワーアンテナ装着車でアンテナを格納したいとき(車庫入れ時など)に、[OFF] にするとアンテナを格納します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

音質設定

オーディオの音質に関する設定が行えます。

AUDIO OFF 時と走行中は設定操作は行えません。



設定名	設定値	設定内容
バランス	L9 ~ L1	[設定] にタッチすると、下記の画面を表示し、各スピーカーから出力するレベルをカーソルで調節することができます。
	0	
	R1 ~ R9	
フェーダー	F9 ~ F1	[設定] にタッチすると、下記の画面を表示し、フェーダーのレベルを調節することができます。
	0	
	R1 ~ R9	
バス	-6 ~ +6	[設定] にタッチすると、下記の画面を表示し、バス(低音)、トレブル(高音)のレベルを調節することができます。 (工場出荷時はいずれも [0])
トレブル	-6 ~ +6	[設定] にタッチすると、下記の画面を表示し、バス(低音)、トレブル(高音)のレベルを調節することができます。
サウンド	フラット	[設定] にタッチすると、下記の画面を表示し、サウンドの種類を選ぶことができます。
	ポップス	[設定] にタッチすると、下記の画面を表示し、サウンドの種類を選ぶことができます。
	ロック	
	ボーカル	
ラウドネス	ON	[ON] に設定すると、小音量時に不足しがちな低音・高音を増幅します。
	OFF	
広帯域補正 soundia HD	ON	[ON] に設定すると、音楽データの圧縮時に欠落した音声の高域情報や位相情報などを予測補間しオリジナル音声を持つ立体感、奥行き感を再現します。 ※ CD、iPod、USB のときのみ有効です。
	OFF	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

映像設定

本機のメニュー画面やテレビ、バックカメラ映像の色合いや明るさなどの調整が行えます。



■ RGB 画面の調整

「映像設定」で「RGB 画面の調整」にタッチすると表示します。

メニュー画面やナビ画面などの明るさや、コントラストなどを調整します。



設定名	設定内容
明るさ	明るさの調整を行います。 [+]にタッチすると明るくなり、[-]にタッチすると、暗くなります。 タッチし続けると、連続で調整できます。
コントラスト	コントラスト(メリハリ)の調整を行います。 [+]にタッチするとコントラストが強くなり、[-]にタッチすると、弱くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
黒の濃さ	黒の濃さの調整を行います。 [灰]にタッチすると黒の濃さが弱くなり、[黒]にタッチすると濃くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。

■ 映像画面の調整

「映像設定」で「映像画面の調整」にタッチすると表示します。

テレビ画面や AUX 画面、iPod ビデオ画面の明るさや色合いなどを調整します。

お知らせ

- 選択している映像ソースに対して調整を行います。
- 映像ソースごとに設定ができます。
- 映像ソースを選択していないときや走行中は設定操作ができません。



設定名	設定内容
明るさ	明るさの調整を行います。 [+]にタッチすると明るくなり、[-]にタッチすると、暗くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
コントラスト	コントラスト(メリハリ)の調整を行います。 [+]にタッチするとコントラストが強くなり、[-]にタッチすると、弱くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
黒の濃さ	黒の濃さの調整を行います。 [灰]にタッチすると黒の濃さが弱くなり、[黒]にタッチすると濃くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
色合い	色合いの調整を行います。 [緑]にタッチすると緑っぽくなり、[赤]にタッチすると赤っぽくなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
色の濃さ	色の濃さの調整を行います。 [+]にタッチすると色が濃くなり、[-]にタッチすると薄くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。

■ カメラ映像の調整

「映像設定」で[カメラ映像の調整]にタッチすると表示します。

バックカメラ映像の色合いや明るさを調整します。



設定内容は、「映像画面の調整」(P175)と同じです。

バックカメラを設定する

バックカメラに関する設定が行えます。

■ カメラの接続設定を行う

三菱電機製バックカメラユニット BC-20 以外のバックカメラを取り付けた場合は、以下の操作を行う必要があります。

1 各設定のメニュー (P172) で
[カメラ設定] にタッチする

2 [接続あり] にタッチする



バックカメラの使用が可能となりました。

■ ガイド表示を消す

バックカメラ使用時に表示するガイド線を消すことができます。

(三菱電機製バックカメラユニット BC-20 装着車のみ)

1 各設定のメニュー (P172) で
[カメラ設定] にタッチする

2 「ガイド表示」の [OFF]
にタッチする



バックカメラ映像からガイド線が消えます。
再度表示する場合は、[ON] にタッチします。

■ ガイド線を調整する

バックカメラ使用時に表示するガイド線の位置を調整することができます。(三菱電機製バックカメラユニット BC-20 装着車のみ)

アドバイス

- 調整する際は、駐停車禁止区域外の安全な場所で行ってください。
- できるだけ、水平な場所で行ってください。

1 各設定のメニュー (P172) で
「カメラ設定」にタッチする

2 「ガイド線設定」の「調整」
にタッチする



取り付け高さや中心とのズレを調整できます。

ガイド線設定について

取り付け高さ	地面からカメラレンズの中央までの高さを設定します。 420～2000mmの範囲で調整できます。(工場出荷時は800mm) [+]にタッチするごとに5mm高くなり、[-]にタッチするたびに5mm低くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
中心とのズレ	車両幅の中心を0としたカメラの中心までの距離(ズレ)を設定します。 -300～+300mmの範囲で調整できます。(工場出荷時は0mm) [+]にタッチするごとに5mm右に移動し、[-]にタッチするたびに5mm左に移動します。タッチし続けると、連続で調整できます。

お知らせ

- 「取り付け高さ」や「中心とのズレ」の設定値によっては、一部のガイド線が画面上に描画できない場合があります。

日時を変更する

日時の変更が行えます。
本機にナビゲーションユニットが装着されている場合は、設定不要です。

1 各設定のメニュー (P172) で
「日時設定」にタッチする

2 それぞれの ▲ または ▼
にタッチし、日時を変更する



3 「決定」にタッチする

日時の変更が完了します。

情報を確認する

取付作業者様用の機能です。
車両の信号チェックや外部機器の接続確認、
本機のバージョンの確認が行えます。

1 各設定のメニュー (P172) で 「情報確認」にタッチする



情報確認のメニューを表示します。

■ 車両信号チェック

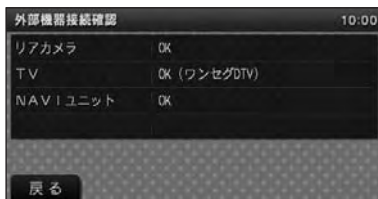
車両に取り付けた後の信号チェックが行えます。
車両を操作して各信号のチェックを行います。



ILL	車の車幅灯を点灯させたとき、「ON」と表示すれば正常です。
シフト ポジション R	車のシフトポジションを「R」にしたとき、「ON」と表示すれば正常です。
サイドブレーキ	車のサイドブレーキを降ろしたとき、「OFF」と表示すれば正常です。
車速	車を走行させたとき、「ON」と表示すれば正常です。

■ 外部機器接続確認

本機に接続されている外部機器を確認することができます。



「NG」と表示されたときは、「NG コード」にタッチして NG コードを確認してください。

■ バージョン情報

本機のシリアルナンバー、部番、ハードウェアバージョンが確認できます。



画面の表示を消す

画面の表示を消します。

1 各設定のメニュー (P172) で 「画面 OFF」にタッチする



画面の表示を消します。

アドバイス

- 再度表示するときは、画面にタッチするか [MENU] キーを押します。

メニューのデザインを変更する

本機の操作で使用するメニュー画面の色合いや背景を変更できます。

変更方法にはあらかじめ用意されているデザインから選ぶ「カンタン設定」と、細かい設定が行える「こだわり設定」があります。

カンタン設定

あらかじめ用意されているデザインから選び、メニューのデザインを変更します。

1 MENU キーを押す

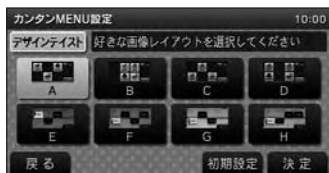
トップメニューを表示します。

2 設定 にタッチする

各設定のメニューを表示します。

3 MENU 設定 にタッチする

4 カンタン にタッチする



カンタン MENU 設定画面を表示します。

5 好みの“デザイン”にタッチする

6 決定 にタッチする

デザインの変更が完了します。

こだわり設定

テキスト、カラー、ボタンレイアウト、背景を選び、メニューのデザインを変更します。

1 MENU キーを押す

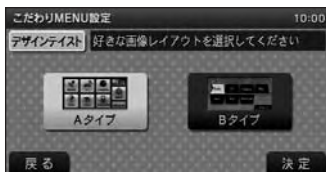
トップメニューを表示します。

2 設定 にタッチする

各設定のメニューを表示します。

3 MENU 設定 にタッチする

4 こだわり にタッチする



こだわり MENU 設定画面を表示します。

5 好みの“テキスト”にタッチする

6 好みの“カラー”にタッチする



7 変更したい“ボタン”にタッチする



次のページにつづく

8 入れ換えたい“ボタン”または移動したい“場所”にタッチする



手順 7～8 の操作を繰り返し、ボタンレイアウトを変更します。

9 「決定」にタッチする

10 背景にしたい“画像”にタッチする



11 「決定」にタッチする

メニューデザインの変更が完了し、各設定メニューの画面に戻ります。

アドバイス

- 別売の iPod/USB 接続ケーブルを接続することで USB メモリーに保存された画像を背景にすることができます。
→「背景にできる画像について」(P180)
- USB メモリーから読み込まれた画像は、背景選択画面のリストにファイル名を表示します。
- 背景選択画面の [取り込み済み画像] は、すでに本機に取り込まれた画像です。

■ 背景にできる画像について

メニューの背景にできる画像は以下のとおりです。

以下の画像を USB メモリーのルート (フォルダなどに格納せず) に直接保存して、本機と接続してください。

アドバイス

- USB メモリーを本機に接続するには、別売の iPod/USB 接続ケーブルが必要です。

画像サイズ	480 × 240pixel 以下
保存形式	JPGまたはBMP(24ビット形式)
容量	340KB 以下

TV の設定

設定を変更する

テレビ機能に関する各種設定を変更します。

お知らせ

- 「ワンセグチューナー内蔵ナビゲーションユニット」のワンセグ設定項目はありません。

ここでは、「専用地上デジタルTVチューナー」のみの設定が行えます。

→「テレビ機能について」(P59)

1 MENU キーを押し、TV にタッチする

テレビ機能の画面を表示します。

2 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

3 設定 にタッチする

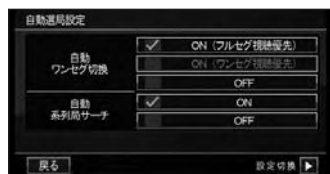
4 設定したい“項目”にタッチする



5 設定したい“内容”にタッチする



6 “設定”にタッチする



設定内容を変更します。

設定項目について

視聴設定	字幕や音声、音声ボリュームの設定が行えます。 →「視聴設定」(P182)
情報確認	専用地上デジタルTVチューナーに関する各種情報を確認することができます。 →「情報を確認する」(P81)
受信機設定	自動ワンセグ切り換えの設定のほか、表示に関する設定が行えます。 →「受信機設定」(P183)
初期設定	はじめてお使いになったときの設定(P65)をやり直すときにを行います。 →「初期設定を行う」(P184)

視聴設定

字幕や音声、音量に関する設定ができます。

■ 字幕 / 音声

字幕放送や複数の音声放送がある場合に設定できます。

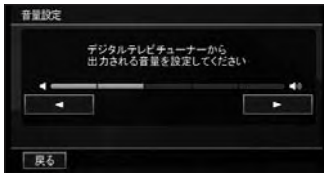


設定名	設定値	設定内容
字幕設定	字幕なし	字幕言語の選択や OFF の設定ができます。 ※ワンセグ放送の字幕には対応しておりません。
	第 1 言語	
	第 2 言語	
二重音声設定	主音声	音声を主音声または副音声に設定できます。
	副音声	
	主 / 副	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 音量設定

チューナー本体から出力される音量を設定できます。◀ または ▶ にタッチして変更できます。



設定名	設定値	設定内容
音量設定	1 段階～ 5 段階	音量を 5 段階まで設定できます。 工場出荷時は 2 段階目 に設定されています。

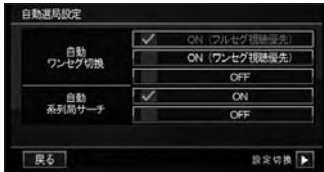
受信機設定

受信に関する各種設定ができます。

■ 自動選局

電波が弱くなったとき、自動でワンセグに切り換えることや自動で系列局を探す設定ができます。

◀ または ▶ にタッチしてページの送り / 戻しができます。

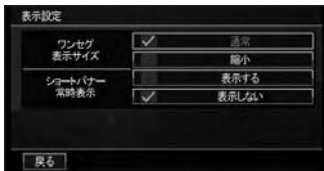


設定名	設定値	設定内容
自動ワンセグ切換	ON (フルセグ視聴優先)	フルセグからワンセグへの自動切り換えの設定ができます。 →「フルセグとワンセグを切り換える」(P83)
	ON (ワンセグ視聴優先)	
	OFF	
自動系列局サーチ	ON	受信ができなくなったとき、自動で同じ系列局の放送局を探すかどうかの ON/OFF 設定ができます。
	OFF	
緊急放送自動選局	ON	緊急放送を受信すると自動で緊急放送の画面に切り換わるかどうかの ON/OFF 設定ができます。
	OFF	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 表示設定

画面サイズなどの設定ができます。



設定名	設定値	設定内容
ワンセグ表示サイズ	通常	ワンセグを見ているときの画面サイズを通常または縮小の設定ができます。
	縮小	
ショートバナー常時表示	表示する	画面右上にチャンネル番号や放送局名などの情報(ショートバナー)の表示有無を設定できます。
	表示しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

初期設定を行う

ホーム CH のやり直しや専用地上デジタル TV チューナーを初期化することができます。

■ ホーム CH スキャンを行う

ホーム CH のやり直しや更新を行います。詳しくは「ホーム CH スキャンを行う」(P78)をご覧ください。

■ データ放送地域を設定する

お住まいの地域情報(天気予報など)を受信するために設定します。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [設定] にタッチする

3 [初期設定] にタッチする

4 [データ放送地域] にタッチする

5 [郵便番号] にタッチする

6 “郵便番号” を入力する



7 [入力完了] にタッチする

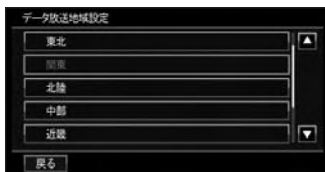
通常は、郵便番号に対応した都道府県名が自動入力されます。

アドバイス

- 入力ミスなどで一文字戻す場合は[後退]にタッチします。

8 [居住地域] にタッチする

9 設定したい“地方”にタッチする



10 設定したい“都道府県”にタッチする



設定が完了します。

■ 設定情報を初期化する

専用地上デジタル TV チューナーの設定情報を初期化します。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [設定] にタッチする

3 [初期設定] にタッチする

4 [設定情報初期化] にタッチする

5 [初期化開始] にタッチする

6 [はい] にタッチする

アドバイス

- 初期化が完了すると自動的に再起動します。再起動が完了するまでイグニッションキーの“ACC”を“OFF”にしないでください。

ナビの設定

設定を変更する

ナビゲーション機能に関する各設定を変更します。
本機にナビゲーションユニットが装着されている場合に行えます。

1 MENU キーを押し、NAVI にタッチする

ナビゲーション機能の現在地画面を表示します。

アドバイス

- 現在地画面が表示されていない場合は [現在地] にタッチしてください。

2 NAVI メニュー にタッチする



3 情報・設定 → NAVI 設定 にタッチする

4 変更したい“項目”にタッチする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

表示の設定	表示に関する設定の変更ができません。 →「表示の設定」(P186)
音声の設定	音声案内に関する設定の変更ができません。 →「音声の設定」(P187)
探索の設定	ルート探索に関する設定の変更ができません。 →「探索の設定」(P188)
VICS の設定	VICSに関する設定の変更ができません。 →「VICS の設定」(P189)
NAVI の補正	センサー学習情報の消去や現在地の補正が行えます。 →「システム補正」(P191)
メモリ初期化	本機の各設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。また、登録した自宅やよく行く地点や登録地などを一括で消すことができます。 →「メモリを初期化する」(P193)
車両取付確認	取付作業者様用の機能です。本機を車両に取り付けた後の信号チェックが行えます。 →「車両取付確認」(P194)

表示の設定

表示に関する設定を変更することができます。



設定名	設定値	設定内容
季節マーク	表示する	地図上に表示する季節マークの表示有無を設定できます。
	表示しない	
走行軌跡	表示する	地図上に表示する走行軌跡の表示有無を設定できます。 (表示しないに設定している場合でも蓄積は行われています。)
	表示しない	
走行軌跡データ消去	走行軌跡を消去する	蓄積されている自車の走行軌跡情報をクリアします。
登録地名	表示する	地図上に表示する登録地名称の表示有無を設定できます。
	表示しない	
道路線取り	幅付き	地図の道路線の線取り表示を変更できます。
	しない	
レーン情報	表示する	地図画面で表示するレーン情報の表示有無を設定できます。
	表示しない	
ランドマーク	表示する	地図上に表示するランドマークの表示有無を設定できます。
	表示しない	
ランドマーク選択	ランドマークを選択する	ランドマークの種類ごとに表示有無を設定できます。 →「ランドマークの表示を個別に設定する」(P190)
2画面スクロール	2画面のまま	高速略図(P104)のときに地図側をタッチした際、高速略図を残したまま(2画面のまま)スクロールするか1画面に切り換えてスクロールするかを設定できます。
	1画面に切り換える	
スクロール方面名称	表示する	スクロール中に表示する方面名称の表示有無を設定できます。 →「スクロール方面名称表示について」(P109)
	表示しない	
昼夜色	自動切換	地図画面の色を車両のILL(ヘッドランプおよびポジションランプ)点灯に連動して変更します。 ILL ON時：暗い色になります。 ILL OFF時：明るい色になります。
	昼固定	常に明るい色になります。
	夜固定	常に暗い色になります。
地図色	地図色 1	地図を通常の色合いにします。
	地図色 2	地図をユニバーサルデザインの色合いにします。
	地図色 3	地図をパステル調の色合いにします。
	地図色 4	地図を道路優先の色合いにします。

次のページにつづく

「表示の設定」のつづき

設定名	設定値	設定内容
高速略図自動表示	自動表示する	高速道路走行時、高速略図を自動で表示するかしないかを設定できます。
	自動表示しない	
ルート残距離	目的地まで	ルート設定時の現在地画面 (P98) で表示される“目的地 / 経路地情報”での距離の基準を変更できます。
	次の経由地まで	
探索ルート	矢印	ルート案内マーク (P98) の表示方法を変更できます。
	線	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

音声の設定

音声案内に関する設定を変更できます。



設定名	設定値	設定内容
ナビ音量	消	ナビのシステム音の音量を設定できます。(工場出荷時は [4]) 数字が大きくなるほど音量が大きくなり、[消]で無音になります。
	1～7	
レーン案内	案内する	レーン案内の音声案内の有無を設定できます。
	案内しない	
交差点名称読み上げ	読み上げる	交差点名称の読み上げ有無を設定できます。
	読み上げない	
方面名称読み上げ	読み上げる	方面名称の読み上げ有無を設定できます。
	読み上げない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

探索の設定

ルート探索に関する設定を変更できます。



設定名	設定値	設定内容
車種	軽自動車	高速道路などでの料金計算時に使用する車種を設定できます。
	普通車	
ルート探索条件	推奨	ルート探索時の初期値を“推奨ルート”に変更します。目的地（経由地）まで一般的と思われるルートを探します。
	有料	ルート探索時の初期値を“有料優先”に変更します。目的地（経由地）の近くまでなるべく有料道路を使用するルートを探します。
	一般	ルート探索時の初期値を“一般優先”に変更します。目的地（経由地）までなるべく有料道路を使用しないルートを探します。
	距離	ルート探索時の初期値を“距離優先”に変更します。目的地（経由地）までできるだけ距離が短くなるルートを探します。
	料金節約	ルート探索時の初期値を“料金節約”に変更します。目的地（経由地）まで料金を節約したルートを探します。
ルート自動更新	自動更新する	[自動更新する]に設定されていると、ルート走行中、ルート前方に通行止めやその他の規制が発生した場合、回避するためのルートが自動的に再探索され、新しいルート案内を開始します。
	自動更新しない	
スマートIC	使う	スマートICの使用有無を設定できます。
	使わない	
センシングルート	使う	センシングルートの使用有無を設定できます。
	使わない	
到着予想時刻学習リセット	学習データをリセットする	到着予想時刻の計算で使用する学習データを消去します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ センシングルートとは

ルート案内時、故意にルートを外れたとナビが判断した場合に元のルートに戻るルートではなく、その時点での最適と思われるルートを案内する機能です。

■ スマートICとは

スマートIC(スマートインターチェンジ)は、ETC 車載器装着車に限定したインターチェンジで、高速道路の本線・サービスエリア・パーキングエリアなどに設置されたインターチェンジです。

VICS の設定

VICS に関する設定の変更ができます。



設定名	設定値	設定内容
VICS 受信局 周波数設定	自動選局	VICS 局の指定方法を選択することができます。 → 「VICS 局を選ぶ」(P166)
	県指定	
	周波数指定	
VICS 受信時地図色	変える	[変える]に設定すると、VICS 情報(レベル3)受信時、VICS 情報を見やすくするために地図色を変更します。
	変えない	
VICS 情報 (一般道)	表示する	地図上に表示する VICS 情報(一般道)の有無を設定できます。
	表示しない	
VICS 情報 (高速道)	表示する	地図上に表示する VICS 情報(高速道)の有無を設定できます。
	表示しない	
VICS 駐車場情報	表示する	地図上に表示する VICS 駐車場情報の有無を設定できます。
	表示しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

ランドマークの表示を個別に設定する

ランドマークの種類ごとに表示有無を設定できます。

1 現在地画面で **NAVIメニュー** にタッチする



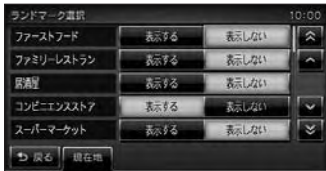
2 **情報・設定** → **NAVI設定** にタッチする

3 **表示設定** にタッチする

4 「ランドマーク選択」の **ランドマークを選択する** にタッチする



5 種類ごとに **表示する** または **表示しない** をタッチしていく



表示するランドマークの選択が完了します。

システム補正

センサー学習情報の消去や現在地の補正が行えます。

センサー学習情報を消去する

車速センサー・ジャイロセンサーは自動学習によりレベルがあがります。タイヤを交換したときなどは車速の学習データを消去し、学習をやり直す必要があります。

1 現在地画面で **NAVIメニュー** にタッチする



2 **情報・設定** → **NAVI設定** にタッチする

3 **NAVIの補正** にタッチする

4 **センサー学習情報** にタッチする



センサー学習情報の画面を表示します。

5 “車速” または “ジャイロ” の **消去** にタッチする



6 **消去する** にタッチする

センサー学習データの消去が完了します。

注意

- 消去したデータの復旧はできません。

■ 自転車位置精度と自動補正について

- センサー学習情報を消去した場合は、見晴らしの良い場所をしばらく一定速度で走行し、交差点で右左折を行うことで車速やジャイロの自動学習を早めることができます。
- GPSの受信状態の良いときに直線道を一定速度で走行すると車速自動補正が働き、交差点の右左折を繰り返すことでジャイロの自動補正が働きます。車速とジャイロの自動補正が働くことで、自転車位置精度は徐々に向上していきます。

アドバイス

- 自転車位置精度が安定するまで、場合によっては数時間の走行が必要な場合があります。見晴らしの良い高速道路のような場所を走行しますと自動補正が働きやすくなります。

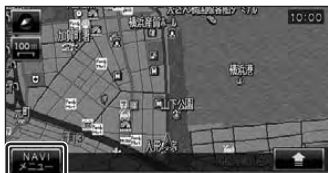
現在地を補正する

実際の車の位置と地図画面上に表示されている自車の位置がずれていた場合などに、この操作を行い補正することができます。

アドバイス

- 通常は GPS 衛星からの情報を元に自動補正しています。

1 現在地画面で **NAVIメニュー** にタッチする



2 **情報・設定** → **NAVI設定** にタッチする

3 **NAVIの補正** にタッチする

4 **現在地補正** にタッチする

5 地図スクロールして“実際の車の位置”に **+** マークを合わせる



6 **決定** にタッチする

7 **←** または **→** にタッチして自車の向きを合わせる



8 **決定** にタッチする

▼
現在地の補正が完了します。

アドバイス

- 高速道路付近に合わせた場合、以下の画面を表示しますので、いずれかにタッチしてください。



メモリを初期化する

ナビゲーションユニットの各設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。
また、登録した自宅やよく行く地点、登録地などを一括で消すことができます。

各設定を初期化する

ナビゲーションユニットの各設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。
登録した自宅やよく行く地点、登録地は消えません。

1 現在地画面で **NAVIメニュー** にタッチする



2 **情報・設定** → **NAVI設定** にタッチする

3 **メモリ初期化** にタッチする

4 **設定の初期化** にタッチする

5 **初期化する** にタッチする

▼
設定の初期化が完了します。

ナビゲーションユニットを初期化する

ナビゲーションユニットの各設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。
また、登録した自宅やよく行く地点や登録地などを一括で消すことができます。

1 現在地画面で **NAVIメニュー** にタッチする



2 **情報・設定** → **NAVI設定** にタッチする

3 **メモリ初期化** にタッチする

4 **本機の初期化** にタッチする

5 **初期化する** にタッチする

▼
ナビゲーションユニットの初期化が完了します。

車両取付確認

取付作業者様用の機能です。車両に取り付けた後の信号チェックが行えます。

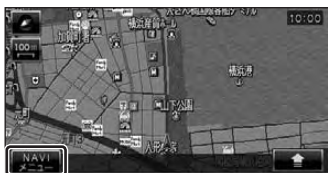
注意

- 手順通りに確認していない場合は、正しい判定結果がでない場合があります。

車両信号チェック

車両信号が正しく入力されているかをチェックできます。

1 現在地画面で NAVIメニューにタッチする



2 情報・設定 → NAVI設定にタッチする

3 車両取付確認 にタッチする

4 車両信号チェック にタッチする

5 車両を操作して各信号のチェックを行う

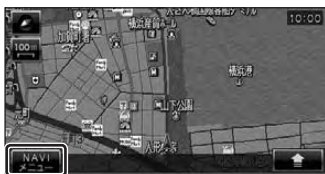


車速	車を走行させたとき、「ON」と表示すれば正常です。
ILL	車の車幅灯を点灯させたとき、「ON」と表示すれば正常です。
シフトポジションR	車のシフトポジションを「R」にしたとき、「ON」と表示すれば正常です。
サイドブレーキ	車のサイドブレーキを降ろしたとき、「OFF」と表示すれば正常です。

センサチェック

車速パルスやジャイロセンサーの状態をチェックできます。

1 現在地画面で NAVIメニューにタッチする



2 情報・設定 → NAVI設定にタッチする

3 車両取付確認 にタッチする

4 センサチェック にタッチする

5 開始 にタッチする

センサチェックを開始します。
以降は、画面の指示にしたがって車両を操作してください。

注意

- 表示された手順通りチェックを行わないと正常な結果が得られません。

外部機器接続確認

GPS アンテナと FM アンテナの接続状態を確認できます。

1 現在地画面で **NAVI メニュー** にタッチする



2 **情報・設定** → **NAVI 設定** にタッチする

3 **車両取付確認** にタッチする

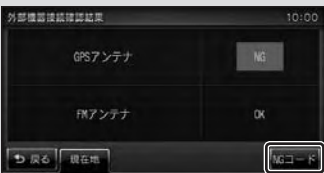
4 **外部機器接続確認** にタッチする



GPS アンテナと FM アンテナ (VICS 中継ケーブル) の接続状態を表示します。
いずれも「OK」と表示されていれば正常です。

アドバイス

- 「NG」と表示されているときは、[NGコード] にタッチして NG コードを確認してください。



その他

困ったときは

画面にメッセージや「故障かな?」と思ったときに確認してください。

こんなメッセージがでたら

本機では、状況に合わせ画面にメッセージを表示します。

■ オーディオ機能

メッセージ	原因	処置
メカエラーのため再生できません。	何らかの原因でドライブに異常が発生した。	ディスクに異常がないことを確認して再度挿入してください。それでもダメなときは販売店にご相談ください。
	ディスクに傷やそりがある。	傷やそりがあるディスクを挿入しないでください。
バッテリー電圧が低いため再生できません。	車のバッテリー電圧が低くなっている。	バッテリーを確認してください。
再生できません。ディスクをご確認ください。	8cm ディスクのアダプターのみを挿入している。	アダプターのみを挿入しないでください。
	再生できないディスクを挿入している。	再生できるディスクを挿入してください。 →「再生できるディスクの種類」(P25)
	ディスクを裏面にして挿入している。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクの表面が結露している。	しばらくしてから再度、挿入してください。
高温のため再生できません。	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
	本機の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
iPod と通信できません。接続しなおして下さい。	認証に失敗した。	iPod を接続しなおしてください。
	認識できない未対応フォーマットの iPod が接続されている。	本機に対応している iPod を使用してください。 →「iPod の曲を聴く」(P47)
	iPod のソフトウェアバージョンが正しくない。	最新のソフトウェアバージョンを使用してください。
USB メモリーと通信できません。接続しなおしてください。	認証に失敗した。	USB デバイスを接続しなおしてください。
	本機に対応していない USB デバイスを接続している。	本機に対応している USB デバイスを使用してください。 →「USB デバイスの曲を聴く」(P53)

「オーディオ機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
この USB メモリーは再生できません。	認識できない未対応フォーマットの USB メモリーが接続されている。	USB メモリーのファイルシステムを確認してください。 →「音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) について」(P26)
再生可能なデータがありません。	再生可能な音楽ファイルが入っていない。	再生できる音楽ファイルを入れてください。 →「音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) について」(P26)
再生できませんでした	対応していない音楽ファイルを再生した。	再生できる音楽ファイルを確認してください。
	著作権保護のファイルを再生した。	著作権保護付きのファイルは再生できません。 著作権保護が付いていないものにしてください。
	音楽ファイルが破損している。	正しい音楽ファイルを入れてください。

■ テレビ機能

ここで記載する内容は、「専用地上デジタル TV チューナー」のものです。

→「テレビ機能について」(P59)

メッセージ	原因	処置
受信機内部が高温になったため、電源を OFF します。	デジタルテレビチューナーの本体の内部温度が高くなっている。	内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
デジタルテレビチューナーの温度が高くなっています。しばらくお待ちください。		
この IC カードには必要な情報がありません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください		カスタマーセンターにお問い合わせください。
この IC カードは使用できません	使用できないカードが挿入されている。	正しいカードを挿入してください。 カードの抜き差しは必ずイグニッションキーを“OFF”にし本機の電源を切った状態で行ってください。 →「miniB-CAS カードを入れる」(P63)
IC カードに正しくアクセスできません。IC カードを入れ直してみてください 直らない場合はカスタマーセンターに連絡してください	カードが故障しているか、間違ったカードを挿入している。	カードを正しく挿入してください。 カードの抜き差しは必ずイグニッションキーを“OFF”にし本機の電源を切った状態で行ってください。 →「miniB-CAS カードを入れる」(P63)
IC カードを交換してください	カードが故障している。	
IC カードを挿入口に入れてください	カードが挿入されていない。	カードを正しく挿入してください。 カードの抜き差しは必ずイグニッションキーを“OFF”にし本機の電源を切った状態で行ってください。 →「miniB-CAS カードを入れる」(P63)
IC カードがロックされていません	IC カードの挿入口にあるロックが外れている。	ロックをしてください。 →「miniB-CAS カードを入れる」(P63)
放送局が登録されていません。ホーム CH スキャンを実行してください	ホーム CH に放送局が登録されていない。	ホーム CH スキャンを実行して放送局を登録してください。 →「ホーム CH スキャンを行う」(P78)
放送局が登録されていません ドライブ CH スキャンを実行してください	ドライブ CH に放送局が登録されていない。	ドライブ CH スキャンを実行して放送局を登録してください。 →「ドライブ CH スキャンを行う」(P79)

■ ナビゲーション機能

メッセージ	原因	処置
走行中は操作できません。	走行中、操作してはいけないボタンを操作した。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて操作してください。
地図データがありません。	地図データがないエリアに地図スクロールした。	地図スクロール先を変更してください。
縮尺を変更します。	自車、カーソルの中心が設定中のスケールがあるところからないところに移動した。 または、再びあるところに移動した。	—
該当する施設の情報がありません。	施設ジャンル検索で都道府県を指定したが当該都道府県の施設情報が本機に登録されていない。	別の都道府県を選択するか、ジャンルを変更してください。
候補施設が多いため、リスト表示できません。 名称または検索方法を変更してください。	施設名称検索で入力した名称に該当する候補施設が1000件を超えたため、リスト表示ができません。	入力する名称または検索方法を変更して再度検索してください。
周辺に情報がありません。	周辺施設の情報が本機に登録されていない。	位置を移動して検索してみてください。
入力された局番はデータがありません。	電話番号検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	住所、施設など別の検索手段で検索してください。
入力された番号はデータがありません。 代表地点を表示します。	電話番号検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	
該当するデータがありません。 周辺の地図を表示します。	住所検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	電話番号、施設など別の検索手段で検索してください。
キーワードに該当する施設がありません。	キーワード絞り込みで入力したキーワードに該当する施設が本機に登録されていない。	キーワードを変更し、再度絞り込みを実施してください。
現在の検索結果に、この絞り込み方法は選択できません。	何らかの原因で絞り込みが実行できません。	絞り込み方法を変更するか、設定済みの絞り込み条件を解除してから再度絞り込みを実行してください。
上限に達したため、これ以上指定できません。	地域またはジャンルで絞り込む際に上限の数を超える絞り込み候補を指定しようとした。	絞り込み候補の件数は5件以内で指定してください。
これ以上の絞り込み条件は設定できません。	キーワード絞り込みを3回実行した後で、さらにキーワード絞り込みを実行しようとした。	キーワード絞り込みは3回以内となるように実行してください。
ルートを探索できませんでした。	何らかの原因で、探索に失敗した。	探索条件などを再度確認し探索してください。
経由地を設定できません。	目的地に到着している状態で、経由地を設定した。	目的地を再度設定してから、経由地を再度設定してください。

「ナビゲーション機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
経由地を消去できません。	通過済みの経由地を消去しようとした。	通過した経由地は再度案内することはありませんので、そのままご使用いただいても問題ありません。 それでも経由地を消去したい場合は、目的地を再度設定してから、立ち寄らない経由地を除いた経由地を再度設定してください。 (経由地の消去は、当該経由地を通過する前に行ってください。)
SD カードを確認してください。	SD カードから地図データが読み込めない。	数分たっても復旧しない場合は、お車を安全な場所に停車し、SD カードの挿入状態を確認してください。 →「SD カードについて」(P14) それでも復旧しない場合は、販売店にご相談ください。
地図 SD カードが読めません。 地図 SD カードを挿入してください。	地図 SD カードを挿入していない。	地図 SD カードを挿入してください。 →「SD カードを挿入する」(P14)
地図 SD カードが読めません。	何らかの原因で地図 SD カードに異常が発生した。	販売店にご相談ください。
ナビゲーションが動作していません。接続を確認してください。	ナビゲーションユニットに接続されている電源ケーブルが断線している。	ナビゲーションユニットに接続されている電源ケーブルを確認してください。
	ナビゲーションユニットに接続されている電源ケーブルのヒューズが切れている。	

故障かな？と思ったら

「故障かな？」と思ったときの症状や原因、処置を説明します。

■ 共通

症状	原因	処置
操作できない。	走行中は、安全のため一部の操作が制限されます。	走行中は運転者の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。 なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。
操作音が鳴らない。	操作音が [消] になっている。	[システム設定] の「操作音量」を [1 ~ 3] に設定してください。 → 「本機の設定」(P172)
画面が表示されない。	画面消し状態になっている。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて画面表示の操作をしてください。
	車のバッテリー電圧が低下している。	バッテリーを充電または交換してください。
	本機内部が高温になっている。	温度が下がるまでしばらくお待ちください。
モニターの画面が暗い。	モニターの明るさ調整が適切でない。	モニターの明るさの調整をしてください。
	車のライトが ON になっている。	工場出荷時は車のライトを ON に設定すると画面が暗くなる仕様です。[表示の設定] で「昼夜色」を [昼固定] に設定すると、常時明るい設定になります。 → 「ナビの設定」(P185)
	昼夜色の設定が [夜固定] になっている。	[表示の設定] で「昼夜色」を [自動切換] または [昼固定] に設定してください。 → 「ナビの設定」(P185)

■ オーディオ機能

症状	原因	処置
オーディオの音がでない / 音が小さい。	音量が最小になっている。	音量を調節してください。
	バランス / フェーダーが片寄っている。	バランス / フェーダーを調整してください。
ラジオの受信感が悪い。	アンテナが伸びていない。	アンテナを伸ばしてください。
	アンテナ電源端子が接続されていない。	パワーアンテナ車の場合は接続してください。
	パワーアンテナ設定が [OFF] になっている。	[システム設定] の「パワーアンテナ設定」を [ON] にしてください。 → 「本機の設定」(P172)
ディスク再生ができない。	ディスクが裏向きに挿入されている。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクが結露している。	しばらくたってから挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
画面が表示されない。	画面消し状態になっている。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて画面表示の操作をしてください。
	車のバッテリー電圧が低下している。	バッテリーを充電または交換してください。
広帯域補正の設定ができない。	CD、iPod、USB 以外のソースを再生している。	ソースを CD か iPod か USB にして設定してください。

■ テレビ機能

共通

症状	原因	処置
電源が入らない。	電源コードの接触不良。	取付要領書に従い正しく配線してください。
	車のバッテリー電圧が低くなっている。	バッテリーを確認してください。
受信できない。	アンテナケーブルの接続不良。	取付要領書に従い正しく配線してください。
地上デジタル TV 放送が映らない。 映像が乱れる。	地上デジタル TV 放送の放送エリア内ではない。	地上デジタル TV 放送は、ある程度受信エリアが限られます。また受信障害のある環境では、放送エリア内でも受信できない場合もあります。
	専用アンテナを使用していない。	専用アンテナをご使用ください。
番組表が表示されない。	番組表が取得できていない。	本機の電源を入れて最初に番組表を表示するときは、番組データ受信に時間がかかることがあります。
色や色合いが悪い。	明るさの調整が不適当。	ディスプレイの設定を見やすい画質に調整してください。
	色合いの調整が不適当。	

専用地上デジタル TV チューナー

症状	原因	処置
地上デジタル TV 放送が映らない。	miniB-CAS カードが正しく挿入されていない。	miniB-CAS カードの抜き差しは必ずイグニッションキーを“OFF”にし本機の電源を切った状態で行ってください。 →「miniB-CAS カードを入れる」(P63)
番組表が表示されない。	番組表が取得できていない。	地上デジタル TV 放送の場合、視聴していない放送局は番組表に情報が表示されません。番組データ取得 (P75) をすると、番組情報を取得します。
放送局のロゴマークが表示されない。	ロゴマークが取得できていない。	地上デジタル TV 放送の各放送局を一定時間受信していると、放送局のロゴマークが表示されます。
字幕や文字スーパーがでない。	「字幕設定」が[字幕なし]に設定されている。	「視聴設定」の「字幕設定」で[第 1 言語]または[第 2 言語]に設定してください。 →「TV の設定」(P181)
	見ている番組が字幕や文字スーパーがない番組である。	字幕や文字スーパーのある番組を見てください。字幕や文字スーパーのある番組はソースプレートにアイコンが表示されます。 →「記号について」(P71)
番組内容が変更される。	ワンセグとフルセグで番組内容が異なる放送を受信している。	「自動ワンセグ切換」を OFF に設定してください。 →「フルセグとワンセグを切り換える」(P83)

■ ナビゲーション機能

症状	原因	処置
ナビゲーション機能が起動しない。	ナビゲーションユニットが正しく装着されていない。	付属の取付要領書を確認し、正しく装着してください。
	SDカードが挿入されていない。	SDカードを挿入してください。 →「SDカードを挿入する」(P14)
	違うSDカードが挿入されている。	専用の地図データ用SDカードを挿入してください。
自車マークの表示位置が正しく表示されない。	GPS衛星からでている電波信号に問題がある。	GPS受信状態でしばらく走行してください。
	フェリーなどで移動した。	
	駐車場などの方向転換用ターンテーブルにて方向転換した。	
	車速の学習のレベルが低い。	高速道路のような場所で加減速せずに一定速度でしばらく走行してください。
自車マークに点線囲み表示される。	車速信号が取れていない。	車速信号取り直し作業が必要です。詳しくは販売店にお問い合わせください。
GPSが受信できない。	取り付け直後で自車位置計算に時間がかかる。	見晴らしのいい場所で最大20分位待ってください。
	GPSアンテナ付近のウィンドガラスに鏡面タイプのフィルムやカーボン含有の遮光フィルムを貼っている。	GPSアンテナを移設、またはフィルムをはがしてください。
	他のアンテナが近くにある。	GPSアンテナまたは他のアンテナを移設してください。
	GPSアンテナ上にものをのせている。	GPSアンテナ上にあるものを取り除いてください。
	GPSアンテナを上下逆に設置している。	付属の取付要領書を確認し、正しく設置してください。
	GPSアンテナを周囲が板金で覆われた場所に設置している。	周囲が板金で覆われていない場所にGPSアンテナを設置してください。
	GPSアンテナのコネクターを本機に接続していない。または、正しく接続されていない。	付属の取付要領書を確認し、正しく接続してください。
メニューの操作ができない。	安全のため、走行中はメニュー操作ができない場合がある。	安全なところに停車しパーキングブレーキを引いて操作してください。
	エンジンスイッチをACCまたはONにした直後は、データ読み込みのため、地図画面表示後すぐに使えない機能がある。	読み込み完了までしばらくお待ちください。

次のページにつづく

「ナビゲーション機能」のつづき

症状	原因	処置
音声による案内がない。	ナビ音量が[消]になっている。	[音声の設定]の「ナビ音量」を[1～7]に設定してください。 →「ナビの設定」(P185)
VICS 情報が受信できない。	VICS 情報がまだ受信できていない。	見晴らしのいい場所で、しばらくお待ちください。
	本機に VICS 中継ケーブルが正しく接続されていない。	付属の取付要領書を確認し、正しく接続してください。
	パワーアンテナ設定が [OFF] になっている。	[システム設定]の「パワーアンテナ設定」を [ON] にしてください。 →「本機の設定」(P172)

車両のバッテリー交換を行ったら

車両のバッテリーを交換すると一部メモリが消去されます。

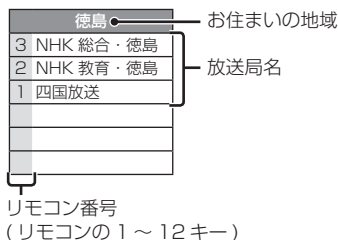
例：時計や音質調整

(ラジオのプリセットや検索履歴は保持されます。)

地上デジタル TV 放送のチャンネル一覧表

- ホーム CH スキャン (P65,P78) で登録された地域の放送局とリモコン番号の組み合わせは、以下ようになります。(2009年10月現在)
他の地域の放送を受信されたときは、以下のようにならない場合があります。
- 割り当てられた放送が実際に開始される時期は、地域によって異なります。また、放送の開始時は、地上アナログ TV 放送との混信を避けるために、非常に小さな出力で放送されるので、受信エリアが限定されます。
- この表の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。

表の見かた



お住まいの地域	北海道 (札幌)	北海道 (函館)	北海道 (旭川)	北海道 (帯広)
チャンネル名	3 NHK 総合・札幌	3 NHK 総合・函館	3 NHK 総合・旭川	3 NHK 総合・帯広
	2 NHK 教育・札幌	2 NHK 教育・函館	2 NHK 教育・旭川	2 NHK 教育・帯広
	1 HBC 札幌	1 HBC 函館	1 HBC 旭川	1 HBC 帯広
	5 STV 札幌	5 STV 函館	5 STV 旭川	5 STV 帯広
	6 HTB 札幌	6 HTB 函館	6 HTB 旭川	6 HTB 帯広
	8 UHB 札幌	8 UHB 函館	8 UHB 旭川	8 UHB 帯広
	7 TVH 札幌	7 TVH 函館	7 TVH 旭川	7 TVH 帯広

お住まいの地域	北海道 (釧路)	北海道 (北見)	北海道 (室蘭)	青森
チャンネル名	3 NHK 総合・釧路	3 NHK 総合・北見	3 NHK 総合・室蘭	3 NHK 総合・青森
	2 NHK 教育・釧路	2 NHK 教育・北見	2 NHK 教育・室蘭	2 NHK 教育・青森
	1 HBC 釧路	1 HBC 北見	1 HBC 室蘭	1 RAB 青森放送
	5 STV 釧路	5 STV 北見	5 STV 室蘭	6 ATV 青森テレビ
	6 HTB 釧路	6 HTB 北見	6 HTB 室蘭	5 青森朝日放送
	8 UHB 釧路	8 UHB 北見	8 UHB 室蘭	
	7 TVH 釧路	7 TVH 北見	7 TVH 室蘭	

お住まいの地域	岩手	秋田	宮城	山形
チャンネル名	1 NHK 総合・盛岡	1 NHK 総合・秋田	3 NHK 総合・仙台	1 NHK 総合・山形
	2 NHK 教育・盛岡	2 NHK 教育・秋田	2 NHK 教育・仙台	2 NHK 教育・山形
	6 IBC テレビ	4 ABS 秋田放送	1 TBC テレビ	4 YBC 山形放送
	4 テレビ岩手	8 AKT 秋田テレビ	8 仙台放送	5 YTS 山形テレビ
	8 めんこいテレビ	5 AAB 秋田朝日放送	4 ミヤギテレビ	6 テレビユー山形
5 岩手朝日テレビ		5 KHB 東日本放送	8 さくらんぼテレビ	

お住まいの地域	福島	茨城	東京	千葉
チャンネル名	1 NHK 総合・福島	1 NHK 総合・水戸	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・東京
	2 NHK 教育・福島	2 NHK 教育・東京	2 NHK 教育・東京	2 NHK 教育・東京
	8 福島テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ
	4 福島中央テレビ	6 TBS	6 TBS	6 TBS
	5 KFB 福島放送	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン
	6 テレビユー福島	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日
		7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京
		12 放送大学	9 TOKYO MX	3 チバテレビ
			12 放送大学	12 放送大学

その他

お住まいの地域	埼玉	群馬	栃木	神奈川
チャンネル名	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・東京
	2 NHK 教育・東京	2 NHK 教育・東京	2 NHK 教育・東京	2 NHK 教育・東京
	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ
	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS
	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン
	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日
	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京
	3 テレ玉	3 群馬テレビ	3 とちぎテレビ	3 tvk
	12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学

お住まいの地域	山梨	新潟	富山	石川
チャンネル名	1 NHK 総合・甲府	1 NHK 総合・新潟	3 NHK 総合・富山	1 NHK 総合・金沢
	2 NHK 教育・甲府	2 NHK 教育・新潟	2 NHK 教育・富山	2 NHK 教育・金沢
	4 YBS 山梨放送	6 BSN	1 KNB 北日本放送	4 テレビ金沢
	6 UTY	8 NST	8 BBT 富山テレビ	5 北陸朝日放送
		4 TeNY テレビ新潟	6 チューリップテレビ	6 MRO
		5 新潟テレビ21		8 石川テレビ

お住まいの地域	福井	長野	静岡	愛知
チャンネル名	1 NHK 総合・福井	1 NHK 総合・長野	1 NHK 総合・静岡	3 NHK 総合・名古屋
	2 NHK 教育・福井	2 NHK 教育・長野	2 NHK 教育・静岡	2 NHK 教育・名古屋
	7 FBC テレビ	4 テレビ信州	6 SBS	1 東海テレビ
	8 福井テレビ	5 abn 長野朝日放送	8 テレビ静岡	5 CBC
		6 SBC 信越放送	4 だいいちテレビ	6 メ〜テレ
		8 NBS 長野放送	5 静岡朝日テレビ	4 中京テレビ
				10 テレビ愛知

お住まいの地域	岐阜	三重	大阪	滋賀
チャンネル名	3 NHK 総合・岐阜	3 NHK 総合・津	1 NHK 総合・大阪	1 NHK 総合・大津
	2 NHK 教育・名古屋	2 NHK 教育・名古屋	2 NHK 教育・大阪	2 NHK 教育・大阪
	1 東海テレビ	1 東海テレビ	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送
	5 CBC	5 CBC	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ
	6 メ〜テレ	6 メ〜テレ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
	4 中京テレビ	4 中京テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ
	8 ぎふチャン	7 三重テレビ	7 テレビ大阪	3 BBC びわ湖放送

お住まいの地域	京都	和歌山	奈良	兵庫
チャンネル名	1 NHK 総合・京都	1 NHK 総合・和歌山	1 NHK 総合・奈良	1 NHK 総合・神戸
	2 NHK 教育・大阪	2 NHK 教育・大阪	2 NHK 教育・大阪	2 NHK 教育・大阪
	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送
	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ
	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ
	5 KBS 京都	5 テレビ和歌山	9 奈良テレビ	3 サンテレビ

お住まいの地域	広島	鳥取	島根	山口
チャンネル名	1 NHK 総合・広島	3 NHK 総合・鳥取	3 NHK 総合・松江	1 NHK 総合・山口
	2 NHK 教育・広島	2 NHK 教育・鳥取	2 NHK 教育・松江	2 NHK 教育・山口
	3 RCC テレビ	8 山陰中央テレビ	8 山陰中央テレビ	4 KRY 山口放送
	4 広島テレビ	6 BSS テレビ	6 BSS テレビ	3 TYS テレビ山口
	5 広島ホームテレビ	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	5 YAB 山口朝日
	8 TSS			

お住まいの地域	岡山	香川	徳島	高知
チャンネル名	1 NHK 総合・岡山	1 NHK 総合・高松	3 NHK 総合・徳島	1 NHK 総合・高知
	2 NHK 教育・岡山	2 NHK 教育・高松	2 NHK 教育・徳島	2 NHK 教育・高知
	4 RNC 西日本テレビ	4 RNC 西日本テレビ	1 四国放送	4 高知放送
	5 KSB 瀬戸内海放送	5 KSB 瀬戸内海放送		6 テレビ高知
	6 RSK テレビ	6 RSK テレビ		8 さんさんテレビ
	7 テレビせとうち	7 テレビせとうち		
	8 OHK テレビ	8 OHK テレビ		

お住まいの地域	愛媛	福岡	佐賀	長崎
チャンネル名	1 NHK 総合・松山	3 NHK 総合・福岡	1 NHK 総合・佐賀	1 NHK 総合・長崎
	2 NHK 教育・松山	3 NHK 総合・北九州	2 NHK 教育・佐賀	2 NHK 教育・長崎
	4 南海放送	2 NHK 教育・福岡	3 STS サガテレビ	3 NBC 長崎放送
	5 愛媛朝日	2 NHK 教育・北九州		8 KTN テレビ長崎
	6 あいテレビ	1 KBC 九州朝日放送		5 NCC 長崎文化放送
	8 テレビ愛媛	4 RKB 毎日放送		4 NIB 長崎国際テレビ
		5 FBS 福岡放送		
		7 TVQ 九州放送		
	8 TNC テレビ西日本			

お住まいの地域	熊本	大分	宮崎	鹿児島
チャンネル名	1 NHK 総合・熊本	1 NHK 総合・大分	1 NHK 総合・宮崎	3 NHK 総合・鹿児島
	2 NHK 教育・熊本	2 NHK 教育・大分	2 NHK 教育・宮崎	2 NHK 教育・鹿児島
	3 RKK 熊本放送	3 OBS 大分放送	6 MRT 宮崎放送	1 MBC 南日本放送
	8 TKU テレビ熊本	4 TOS テレビ大分	3 UMK テレビ宮崎	8 KTS 鹿児島テレビ
	4 KKT くまもと県民	5 OAB 大分朝日放送		5 KKB 鹿児島放送
5 KAB 熊本朝日放送			4 KYT 鹿児島讀賣TV	

お住まいの地域	沖縄
チャンネル名	1 NHK 総合・那覇
	2 NHK 教育・那覇
	3 RBC テレビ
	5 QAB 琉球朝日放送
	8 沖縄テレビ (OTV)

地上デジタルテレビ放送の受信に関する相談・お問い合わせは総務省まで

総務省 地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター

TEL 0570 (07) 0101

用語索引

本用語索引では、使用したい機能をすばやく見つけるために、各機能のキーワードのみを記載しています。他のページにも下記の言葉が記載されている場合があります。

ア行

明るさ	175
圧縮 AUDIO	42
案内開始	127
行き先	100
色合い	175
色の濃さ	175
迂回ルート	137
映像	85
映像情報	68
映像設定	172, 175
エリア	67
エリア CH	60
オーディオ OFF 設定	173
オーディオ機能	21
オートセレクト	33
音楽 CD	35, 42
音楽ファイル	26, 38
音質設定	172, 174
音声	85
音声切換	87, 91
音声情報	87
音声の設定	185, 187
音声モード	68
音量設定	182

カ行

ガイド線設定	177
外部機器接続確認	178, 195
カバー	13
カメラ設定	172, 176
画面 OFF	172
規制情報	163
季節マーク	186
北基準	105
距離順基準位置	119

緊急情報	165
緊急放送自動選局	183
繰り返しタッチ	114
黒の濃さ	175
経由地	127, 133
系列局	67, 77
系列局サーチ	69
現在地	98, 103
現在地補正	192
検索履歴	125
交差点案内図	106
交差点名称読み上げ	187
高速道路情報	148
高速略図	104
高速略図自動表示	187
交通情報	34
小文字 / 大文字	112
混在ディスク	42
コントラスト	175

サ行

サーチ	156
再生中	52
再生できるディスクの種類	25
再生モード	35, 41, 51, 57
サウンド	174
サブメニュー	32, 37, 41, 50, 56, 102
シーク	32
自車基準	105
システム設定	172, 173
施設名称	122
自宅	139
視聴設定	181, 182
自動系列局サーチ	183
自動ワンセグ切り換え	84
自動ワンセグ切換	183
絞り込み設定	120
字幕切換	87, 91
字幕情報	68, 87
字幕設定	182
車種	188
車両位置情報	151

車両信号チェック.....	194
車両取付確認.....	185
ジャンル.....	118
住所.....	121
周辺検索.....	123
受信機設定.....	181, 183
受信強度.....	68
情報確認.....	81, 172, 178, 181
情報・設定.....	101
ショートバナー常時表示.....	183
初期設定.....	181, 184
スキャン.....	33
スクロール.....	99, 108
スクロール方面名称.....	186
スケール.....	108
スケールアイコン.....	108
スタンダード.....	104
スマートIC.....	188
設定.....	67
設定一覧.....	82
設定 / 検索メニュー.....	102, 110
センサチェック.....	194
センシングリルート.....	188
全ルート.....	129
走行軌跡.....	186
走行軌跡データ消去.....	186
走行制限.....	69
走行中の操作制限.....	7
操作音量.....	173
ソース.....	18
測位.....	95
ソフトウェアバージョン.....	82

タ

タッチ操作.....	16
探索条件.....	127, 131, 132
探索条件設定画面.....	127
探索の設定.....	185, 188
探索方法.....	96
探索ルート.....	187
地域設定.....	87
地上デジタルTV.....	62
地図色.....	186
チャンネルリスト.....	87, 89
駐車場情報.....	163
チューナー本体.....	62
昼夜色.....	186
ディスク挿入口.....	13
ディスクを取り出す.....	23
ディスプレイ.....	13
データ.....	85
データ放送.....	72
データ放送用操作パネル.....	74
デザイン.....	179
デモ走行.....	130
電源端子.....	62
電波の状態.....	87
電話番号.....	124
到着予想時刻学習リセット.....	188
登録地.....	125, 141
登録地情報.....	143
登録地の設定.....	139
登録地名称.....	186
道路縁取り.....	186
都市高速入口イラストマップ.....	106
トップメニュー.....	17
ドライブ.....	67
ドライブCH.....	60
ドライブCHスキャン.....	69, 79, 80, 86, 87
トラックリスト.....	55
トレブル.....	174

ナ

ナビ音量	187
ナビ画面	98
ナビの設定	185
二重音声設定	182
日時設定	172
ノーマルバナー	67

ハ

バージョン	158
バージョンアップ	158
バージョン情報	178
パス	174
バックカメラ	168
バランス	174
パワーアンテナ設定	173
半角 / 全角	112
番組内容	67, 71, 87, 90
番組表	87, 90
非測位	96
微調整	109
ビデオ再生情報画面	49
表示の設定	185, 186
フェーダー	174
フォルダの構成	26
フォルダリスト	55
物理チャンネル番号	60, 68
フリーズーム	108
プリセットスイッチ	31
プリセット選局	155
プリセット登録	157
フルセグ	60
別ルート	137
変換	112
方位アイコン	104
放送モード	60, 68
方面名称	109
方面名称読み上げ	187
ホーム	67
ホーム CH	60
ホーム CH スキャン	65, 78, 79, 86
本機	13

本機の初期化	193
本機の設定	172

マ

マップマッチング	95
マニュアル選局	157
マルチ編成	60
無変換	112
メール	81
メモリ初期化	185, 193
目的地の設定	115
文字切換	112
文字入力	112
文字の種類	113

ヤ

よく行く地点	124, 140
--------	----------

ラ

ラウドネス	174
ラジオ	30
ランドマーク	186
ランドマーク選択	186
ランドマークを選択する	190
リスト表示	38, 39, 44, 54, 56
リモコン番号	60, 67, 68, 83, 87
料金所案内図	106
ルート残距離	187
ルート自動更新	165, 188
ルート消去	137
ルート探索条件	188
ルートの確認	128
ルートの変更	131
ルート編集	101, 131
レーン案内	187
レーン情報	186
レーン情報表示	107
ロングバナー	68

ワ

ワンセグ	60, 86
ワンセグ表示サイズ	183
ワンセグ/フルセグ	67, 83

A

AAC	29
AM	31
ANT 端子	62
AUX	170
AUX ジャック	13

C

CH 一覧	67
CH モード	60, 67, 68, 70, 87, 88

D

d	67, 72
---------	--------

E

EJECT	36, 39, 43, 44
EPG	60, 67, 75

F

FM1	31
FM2	31
FM 多重情報	164
FM 文字情報	153
Folder	39, 44, 54
Folder List	40, 55
Folder 再生	40, 55

G

GPS	95
-----------	----

I

IC カード	81
IC 料金表示	149
iPod	47
iPod MENU	48, 51
iPod/USB 接続ケーブル	45

M

MENU キー	13
MENU 設定	172, 179
microSD カード挿入口	62
miniB-CAS カード	62
miniB-CAS カード挿入口	62
MP3	27
MUSIC メニュー	49

N

NAVI の補正	185, 191
NAVI メニュー	98, 100

R

RADIO	30
-------------	----

S

SD カード	14
SD カード挿入口	13
S/W バージョン	82

T

Track	36, 43, 44, 48, 54
Track List	40, 55
Tune	30, 31, 67, 77, 87, 89
TV の設定	181

U

USB デバイス	53
----------------	----

V

VICS.....	160
VICS 記号.....	162
VICS 局.....	166
VICS 考慮.....	138
VICS 受信局周波数設定.....	189
VICS 受信時地図色.....	189
VICS 情報 (一般道).....	189
VICS 情報 (高速道).....	189
VICS センター.....	162
VICS 駐車場情報.....	189
VICS の設定.....	185, 189
VIDEO メニュー.....	50
VOL キー.....	13, 21, 22

W

WMA.....	28
----------	----

数字

2 画面スクロール.....	186
2 次元測位.....	96
3D リアルジャンクション.....	107
3 桁チャンネル番号.....	60, 68
3 次元測位.....	96
5 ルート.....	127, 136

保証とアフターサービス

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入 < 販売店印 > < お買い上げ日 > および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 万一故障した場合の無償修理期間は、保証書に記載している期間に基づきます。

■ アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

保証期間中の修理は ▶	保証書の記載内容に基づいて修理いたします。 詳しくは保証書をご覧ください。
-------------	--

保証期間経過後の修理は ▶	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有償修理いたします。
---------------	---

- 当社は各機器の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後6年間保有しています。
- 保証期間中の修理など、アフターサービスについて不明な点は、お買い上げ店もしくは添付サービス店名簿に記載されている最寄りのお店にお申しつけください。

マルチメディアディスプレイ部

品名(形名)	マルチメディアディスプレイ(DH-MZ10)	
使用電源	DC13.2V(マイナスアース)	
最大消費電流	MAX 約 15A	
動作温度	- 10℃~+ 55℃	
画面サイズ	6.1 インチ	
タッチパネル	抵抗感圧式アナログ(フィルム+ガラス)	
外形寸法	幅 178mm・高さ 100mm・奥行き 165mm(突起部を除く)	
質量	約 1800g	
アンプ部	最大出力	45W × 4
	適合スピーカー インピーダンス	4 Ω
CD プレーヤー部	対応ディスク	CD-DA、CD-R/RW(MP3、WMA、AAC フォーマット)
	周波数特性	5Hz ~ 20,000Hz(CD-DA)
	S/N	85dB
	全高調波ひずみ率	0.05%
FM/AM 部	受信周波数範囲	FM:76.0 ~ 90.0MHz AM:522 ~ 1629kHz
	実用感度	FM:12dBf AM:32dB μ
	S/N	FM:60dB IHF-A AM:50dB
	左右分離度	FM:20dB(1kHz)
USB 部	最大供給電流	500mA
AV 入力端子部	外部入力(1 系統)	映像: NTSC 1.0Vp-p (75 Ω) 音声: 2.0Vrms MAX(1kHz)
	カメラ入力(1 系統)	映像: NTSC 1.0Vp-p (75 Ω)

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 使用電源が異常に低い場合や高い場合は内部回路保護のため、動作を停止または中断する場合があります。

ナビゲーションユニット部

品名(形名)	ナビゲーションユニット(CU-MZ10)		ナビゲーションユニット(CU-MZ10L)
使用電源	DC13.2V		DC13.2V
最大消費電流	MAX 1.3A		MAX 1.0A
動作温度	- 10℃~+ 55℃(SD カードを含む)		- 10℃~+ 55℃(SD カードを含む)
外形寸法	幅 164.8mm 高さ 44mm 奥行き 151.5mm(突起部を除く)		幅 164.8mm 高さ 44mm 奥行き 151.5mm(突起部を除く)
質量	約 930g		約 860g
受信周波数	1575.42MHz		1575.42MHz
受信方式	パラレル 12 チャンネル		パラレル 12 チャンネル
受信感度	- 130dBm		- 130dBm
測位更新時間	約 1 秒		約 1 秒
GPS アンテナ部	防水	防噴流仕様	
	方式	マイクロストリップ平面アンテナ	
内蔵ワンセグ TV 部	放送方式	地上デジタル放送方式(日本)	
	受信 チャンネル	13 ~ 62ch	
	アンテナ	専用アンテナ	

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 使用電源が異常に低い場合や高い場合は内部回路保護のため、動作を停止または中断する場合があります。

地上デジタルTVチューナー部

品名(形名)	車載用ワンセグ対応地上デジタルTVチューナー(TU-30D)	
使用電源	DC13.2V	
最大消費電流	MAX 約 600mA	
使用温度範囲	- 5℃~+ 50℃	
保存温度範囲	- 20℃~+ 80℃	
放送方式	地上デジタル放送方式(日本)	
受信チャンネル	UHF13 ~ 62ch	
接続端子	専用アンテナ 入力端子	- 76dBm ~ - 10dBm(50 Ω)
	電源・映像・音声 専用BUS端子 (16Pコネクター)	NTSC 1.0Vp-p(75 Ω) 音声: 250mVrms(標準)
外形寸法	幅 160mm・高さ 30mm・奥行き 127.8mm(突起部を除く)	
質量	約 500g	

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 使用電源が異常に低い場合や高い場合は内部回路保護のため、動作を停止または中断する場合があります。



〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビル